フォト　マッハジェット　カラープリンタ

PHOTO-MACHJET

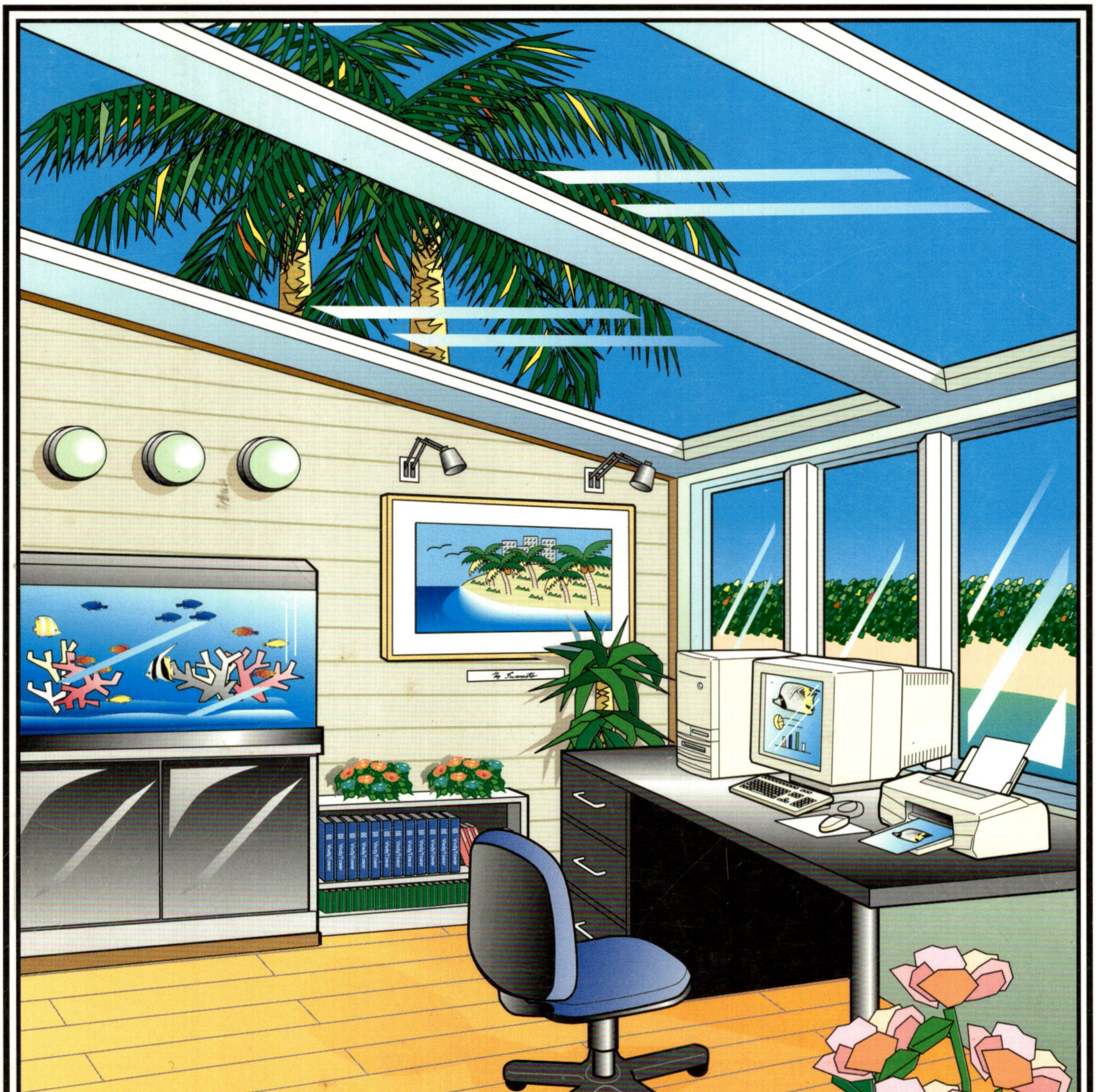
Colorio

カラリオ

PM-700C

EPSON

リファレンスガイド ～必要に応じてお読みください～



ー本書は、プリンタの近くに置いてご活用くださいー

PM700CML2
4006605
K02-01

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書と、CD-ROM マニュアルが付属しています。



開梱時にお読みください

プリンタを梱包箱から取り出したときにお読みになり、同梱物の確認と保護具の取りはずしを行ってください。



はじめにお読みください

必ずお読みください。
プリンタの組み立てから、プリンタドライバのインストールまでの手順が記載されています。



リファレンスガイド～必要に応じてお読みください

機能、操作方法など、本プリンタを使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
お客様の目的や必要に応じて、必要な章をお読みください。





困ったときにお読みください

各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。
「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターにお問い合わせいただく前に、お読みください。



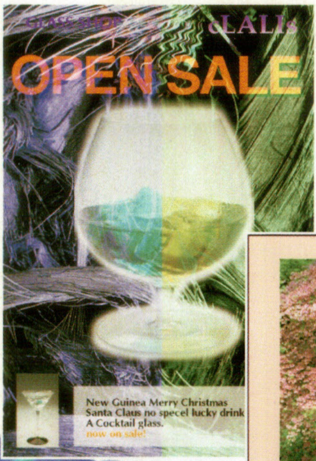
彩ちゃんのカラリオ四姉妹セットアップガールズ

プリンタのセットアップを画面を見ながらできる、CD-ROM マニュアルです。
はじめてプリンタをお使いになるお客様に、かわいいキャラクター（彩ちゃん）が、ステップバイステップで説明します。

カラーイメージングの世界へようこそ!

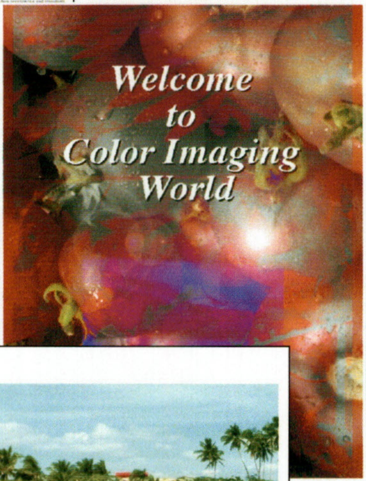
Welcome to Color Imaging World

さまざまな写真データを活用して、フォトマッハジェットプリンタで印刷した例です。写真画質に迫る高品質なカラー印刷により、今までは、表現できなかったような、よりリアルな文書や、デザインなどができあがります。これをヒントに、お客様ご自身のアイデアを盛り込んだ楽しいカラー印刷に挑戦してください。



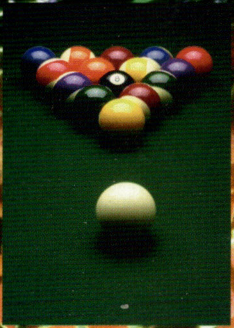












色の概念

A Notion of Color

ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる色の表現方法や、コンピュータでのカラー画像の扱い、プリンタと画像の解像度の関係などを説明しています。



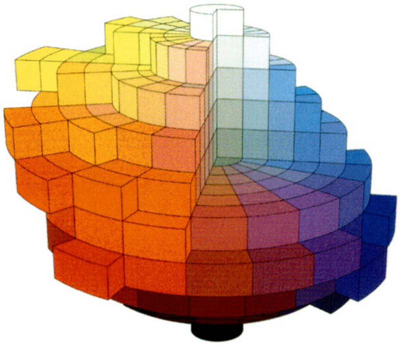
色の要素

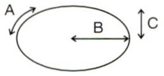
一般に「色」というと赤や青などの色相(色あい)を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に彩度、明度という要素があります。

彩度はあざやかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。

明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。

右の図(色立体と呼びます)は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

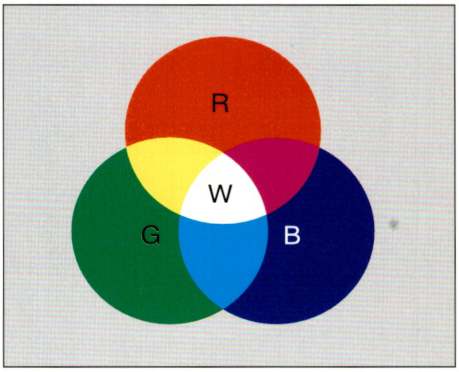




A：色相
B：彩度
C：明度

ディスプレイの発色プロセス－加法混色

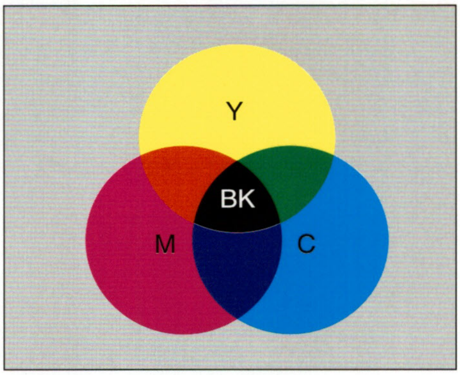
色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤(R)、緑(G)、青(B) の3色の光が見えます。これは光の三原色と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせで様々な色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態(全てが0:黒)を起点に、全ての色が光っている状態(全てが100:白)までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、加法混色(加色法)と呼ばれます。



R：赤　G：緑　B：青　W：白

プリンタ出力の発色プロセスー減法混色

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。
正確には、当たった光のうち一部の色を吸収（減色）し、残りの色を反射することで色を表現します。
このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色のRGBではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン(C)、マゼンタ(M)、黄色(Y) の3色です。この3色を一般に色の三原色として、光の三原色と区別します。

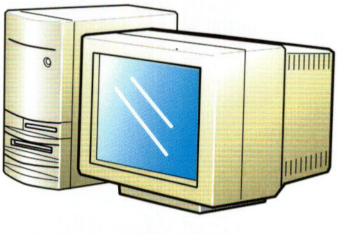


Y：黄　M：マゼンタ　C：シアン　BK：黒

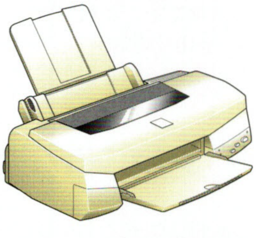
理論的にはCMYの３色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒（BK）インクを使用し、CMYKの４色で印刷します。

出力装置による発色の違い
ーディスプレイとプリンタ出力

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜならば、CRTディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。



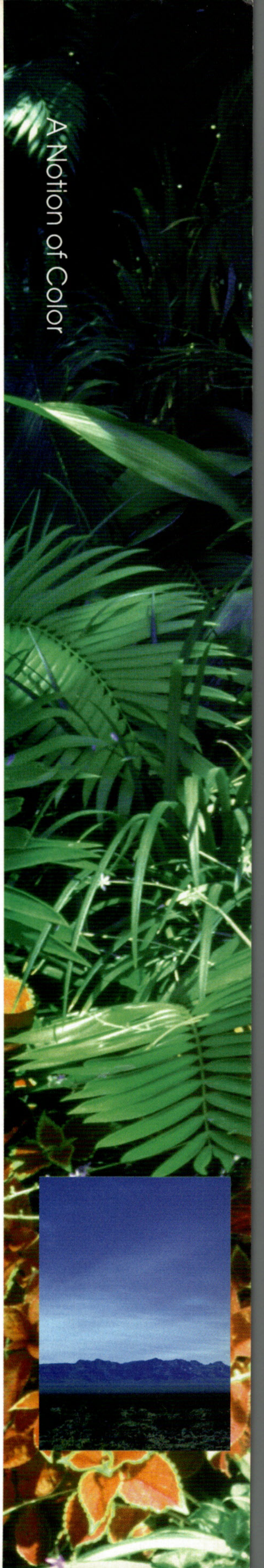
“光”の三原色で表示



“色”の三原色で印刷

このRGB→CMY変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの調整状態によっても変化するため、完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ上と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。この章後半の説明を参照してください。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変換が必要になり、更に一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。



カラー印刷のポイント

The Point of Color Printing

カラー印刷の中でも、文字に色をつけたり、8～16色のイラストを印刷する場合は、「プリンタドライバでカラー印刷を行う指定」や「アプリケーションソフトでカラー印刷を行う指定」さえしておけば、他に特別な準備は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真の様な印刷を行うには、パソコンの環境を整備する必要があります。

高画質のデータがそろっているか

色数や解像度がじゅうぶんかチェックしましょう。PhotoCDのデータなどを読み込む時は、1677万色あるいは24ビットカラーを選択して初めて、フルカラーのデータとなります。
画像の解像度は、高ければ高いほど美しいデータになる可能性はありますが、解像度が高くなるとデータの容量が非常に大きくなりますし、プリンタの能力以上の解像度を指定してもあまり意味をもちません。
次は、実際に画像データの解像度を変えてスーパーファイン印刷にて印刷したサンプルです。



90dpi



180dpi



360dpi



720dpi

（画像データの解像度）

90～360dpiまでは画像データの解像度が高くなるほどきれいになるのが分かりますが、360dpiと720dpiではあまり差が分かりません。画像データの解像度は、出力機器の解像度に応じて決めるのが最良です。PMシリーズのスーパーファイン印刷で出力する場合の最適解像度は、240dpi前後です。これ以上いたずらにデータの解像度を上げても、画質はほとんど変わりません。適切な画像データの解像度を上記を参照して選択してください。

ハードウェアの性能はじゅうぶんか

CPUの性能、メモリやHDDの容量が大きな画像ファイルに見合ったものか、多色表示を行えるグラフィックアクセラレータが装着されているかチェックしてください。
圧縮をかけない360dpiのフルカラー・A4サイズのデータは、単純に計算すれば、40MBほどになります。実際のデータフォーマットでは、このような数字にはなりませんが、メモリやHDDはじゅうぶんな容量を確保してください。

アプリケーションソフトがそろっているか

データを加工したり、思い通りの印刷を行うにはPhotoshopなどのグラフィックソフトが必要です。Windows95に標準の「ペイント」や、Windows3.1に標準の「ペイントブラシ」などでは、フルカラーのデータは扱えません。

カラー調整

Adjusting Color

写真やコンピュータで作成したカラーデータの印刷を行う際に問題となるのが、ディスプレイ上と実際のプリンタ出力の色合いに差異がある事です。これらの差異を完全に一致させることは困難ですが、できる限り合わせこむことも可能です（これをカラーマッチングといいます）。

プリンタドライバの設定

通常、プリンタドライバの設定は、設定モードを「推奨設定」にしておけば、受け取ったデータにあわせて、自動的にコントラストや、カラーバランスを調整して、プリンタ出力の色合いをディスプレイの表示に近づけることができます。

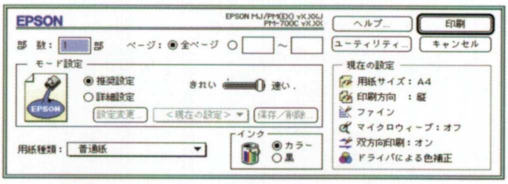
しかし、「推奨設定」では、完全にカラーマッチングさせるのは不可能ですので、「詳細設定」による微調整が必要です。

次に、それぞれの設定項目による効果を印刷サンプルをもちいて説明していますので、カラー印刷の際の参考としてください。

● Windows ドライバ



● Macintosh ドライバ

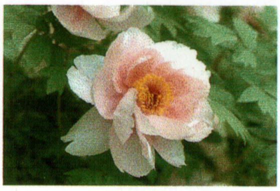


イメージ補正

明度・ブライトネスの調整

プリンタ出力の結果が、ディスプレイ表示に比べて、色が暗い、色が明るくとんでしまうときに調整します。

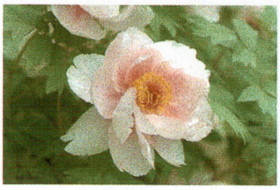

設定－


設定 0


設定＋

コントラストの調整

画像全体の明暗の差がはっきりしない、プリンタ出力の結果が、ディスプレイ表示に比べて、全体的にぼやけているときに調整します。


設定－


設定 0


設定＋



彩度・サチュレーションの調整

プリンタ出力の結果を、もっと鮮やかに、色の深みを増したいときに調整します。


設定－


設定 0


設定＋

カラーコントロールの調整

シアン・マゼンタ・イエローの濃淡を調整して色合いを変えたいときに調整します。

シアンの調整

全体の青みの濃淡を調整します。

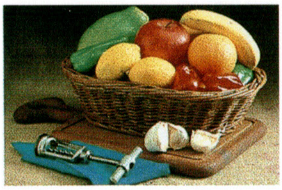

設定－


設定 0


設定＋

マゼンタの調整

全体の赤みの濃淡を調整します。


設定－

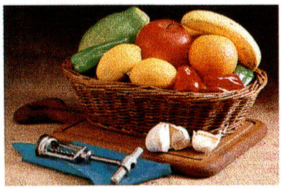

設定 0


設定＋

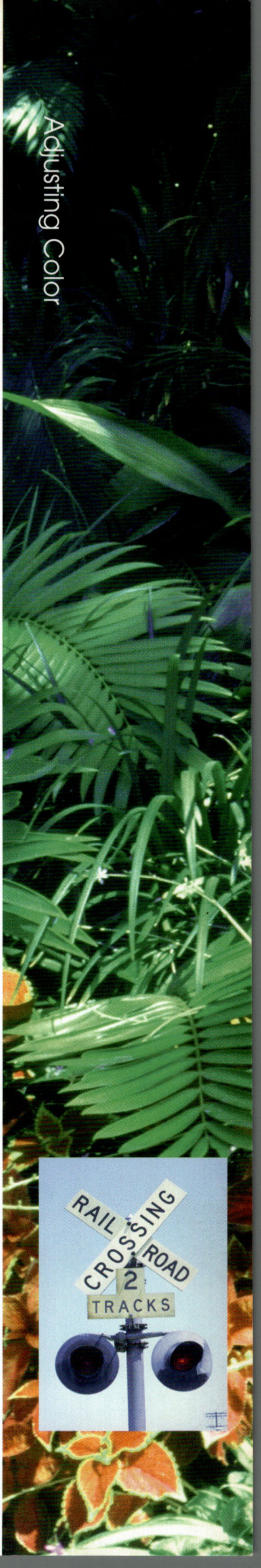
イエローの調整

全体の黄みの濃淡を調整します。


設定－


設定 0


設定＋



カラーマッチングの設定

スキャナで読み込んだ画像などを印刷するときは、原画（CMY）→ ディスプレイ（RGB）→ 印刷(CMY)の変換が必要になり、更に一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。
また、ICM(Windows95)やColerSync™(Macintosh)は、OSとしてこのカラーマッチングをサポートする機能です。
プリンタドライバの設定で、カラーマッチング(M)やColorSync™をクリックすることで、この機能が有効となります。

印刷解像度と用紙種類

印刷解像度や印刷する用紙の違いによっても、プリンタ出力の結果に、大きな違いがあります。スーパーファイン印刷は、もっとも美しく印刷できますが、同時にもっとも時間がかかります。使用目的にあわせて、最適な印刷解像度および用紙を選択してください。下の印刷サンプルでは、印刷解像度の設定による印刷の違いを確認して頂けます。

解像度　：スーパーファイン
用紙種類　：スーパーファイン専用紙



解像度　：ファイン
用紙種類　：ファイン専用紙



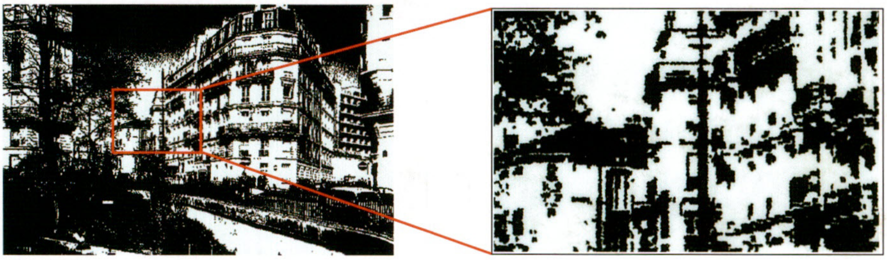
解像度　：ファイン
用紙種類　：普通紙





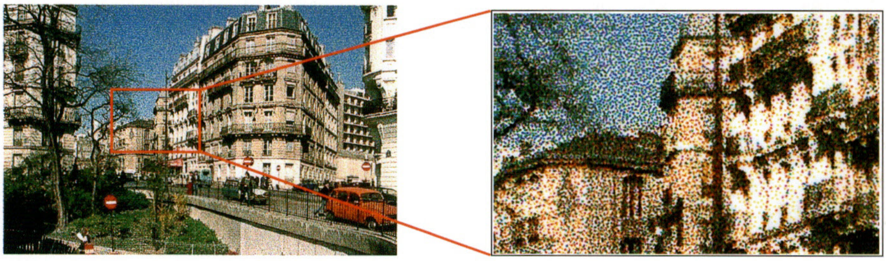
ハーフトーン処理

ハーフトーンを指定すると、グレースケール(グラデーション)や中間色の表現を変更できます。通常、ハーフトーンは、「高画質ハーフトーン」が自動的に選択されますので、ハーフトーンを意図的に変更したい場合のみ、この項目を変更してください。下の印刷サンプルでは、ハーフトーンの設定による印刷の違いを確認して頂けます。



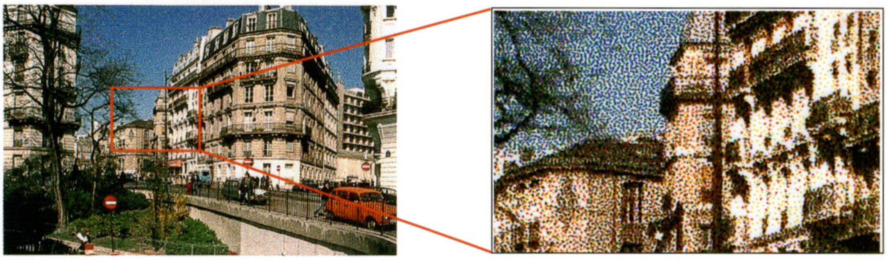
印刷品質　：スーパーファイン
ハーフトーン　：ハーフトーンなし（黒のみ）

拡大



印刷品質　：スーパーファイン
ハーフトーン　：高速ハーフトーン

拡大



印刷品質　：スーパーファイン
ハーフトーン　：高画質ハーフトーン

拡大

本書のご案内

本書は以下のことがらについて詳しく説明しています。
なお、詳しい目次は次ページにあります。

●目次

ハガキへの印刷 61

インクカートリッジの交換 69

オプションと消耗品について 77

付録 83

索引 115

●本書中のタブ、マーク、表記について

Win

このタブの付いているページは、Windowsをお使いの方のみお読みください。

Mac

このタブの付いているページは、Macintoshをお使いの方のみお読みください。

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は、必ずお読みください。
なお、それぞれのマークにはつぎのような意味があります。

注意 **この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。**

ポイント **お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。必ずお読みください。**

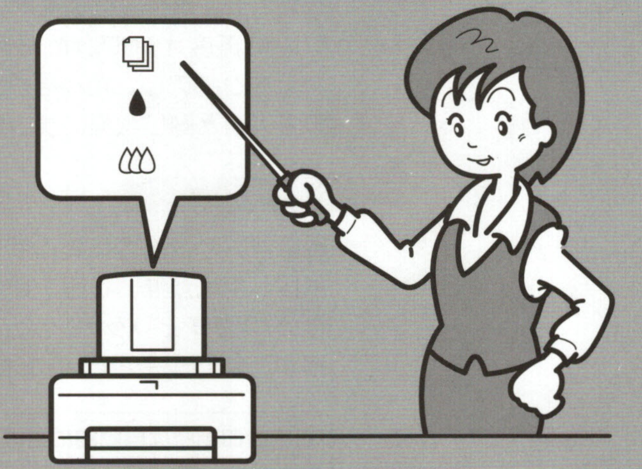
用語 (*1) **分かりにくい用語の説明を、欄外に記載している事を示しています。**

☞ **関連した内容の参照ページを示しています。**

Microsoft® Windows® operating system Version3.1 日本語版
Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
― の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows3.1、Windows95と表記しています。また、Windows3.1、Windows95の総称として「Windows」と表記する場合があります。

スイッチとランプについて



ここでは、

スイッチとランプ

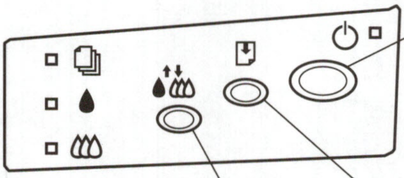
エラー表示

について説明しています。

●スイッチとランプについて

操作パネル上のスイッチ操作により、各種機能の設定や実行ができます。
また、操作パネル上のランプによりプリンタの状態を知ることができます。

スイッチ



電源スイッチ

プリンタの電源をオン / オフします。
また、プリンタの電源をオフにした後、約 10 秒以内に再度オンにした場合、プリンタはバッファをクリアし、色々な設定値をプリンタの電源投入時と同じ状態に戻します。（リセット）

給紙／排紙スイッチ

用紙がプリンタ内にある状態で押すと用紙を排出し、用紙が無い状態で押すと給紙します。
また、用紙チェックランプが点灯している状態で押すと、エラーを解除し給紙します。

> **通常の印刷時は自動的に給紙 / 排紙されますので、このスイッチを押す必要はありません。**

インクメンテナンススイッチ

３秒間押したままにすると、プリントヘッドのクリーニングを行います。
また、インクエンド（黒またはカラー）ランプが点滅または点灯しているときに3秒間押したままにすると、プリントヘッドをインクカートリッジの交換位置（少し左）へ移動します。

セルフテスト（ 給紙 / 排紙 スイッチ＋電源スイッチをオン）

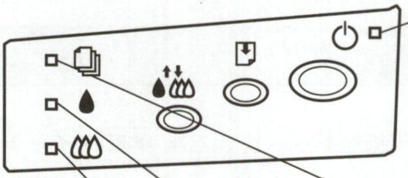
プリンタ内部で持っている目詰まりチェックパターンを印刷する機能です。コンピュータと接続していない状態で印刷できるのでプリンタの動作や印刷機能に問題が無いかを確認できます。

☞はじめにお読みください「動作確認（セルフテスト）をします」15 ページ

ポイント

セルフテストが終了した後は、必ず一度電源をオフにしてください。

ランプ



電源ランプ

印刷可能状態の時に点灯し、データの受信・処理中には点滅します。
また、インクカートリッジの交換作業中、およびクリーニング中にも点滅します。

用紙チェックランプ

給紙動作後、用紙が無いときに点灯し、紙づまり状態のときに点滅します。

インクエンド（黒）ランプ

黒インクが残り少なくなると点滅し、インクが無くなると点灯します。

インクエンド（カラー）ランプ

カラーインクが残り少なくなると点滅し、インクが無くなると点灯します。

ポイント

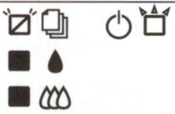
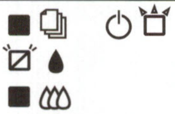
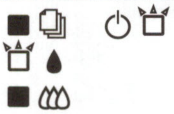
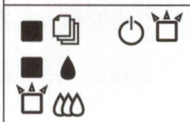
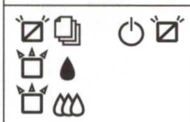
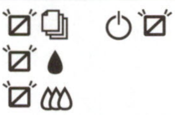
エラーが発生したときは、いくつかのランプが点滅します。

☞本書「エラー表示」4ページ

●エラー表示

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、操作パネルのランプが点滅/点灯して知らせます。

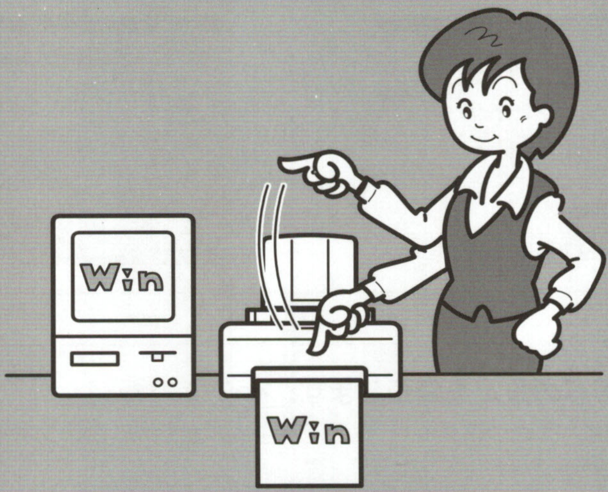
点灯　点滅　■ 消灯

ランプ	エラー内容と処置方法
	内容：用紙がありません。 処置：オートシートフィーダに用紙をセットして［給紙/排紙］スイッチを押して給紙します。
	内容：用紙がプリンタ内部で詰まっています。 処置：プリンタカバーを開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。
	内容：黒インクカートリッジのインクが、残り少なくなりました。 処置：インクが無くなるまで、印刷できます。新しいインクカートリッジを準備してください。
	内容：カラーインクカートリッジのインクが、残り少なくなりました。 処置：インクが無くなるまで、印刷できます。新しいインクカートリッジを準備してください。
	内容：黒インクカートリッジのインクが無くなったか、インクカートリッジがセットされていません。 処置：新しいインクカートリッジに交換してください。 本書「インクカートリッジの交換」69 ページ
	内容：カラーインクカートリッジのインクが無くなったか、インクカートリッジがセットされていません。 処置：新しいインクカートリッジに交換してください。 本書「インクカートリッジの交換」69 ページ
	内容：キャリッジ（プリントヘッドがのっている部分）が正常に動作していません。 処置：いったん電源スイッチをオフにしてください。その後、輸送用の保護具が残っていないか、プリンタ内部に異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べて、異常の原因を取り除き、電源スイッチを入れ直してください。
	内容：プリンタ内部の部品調整が必要です。 処置：いったん電源スイッチをオフにしてください。プリンタケーブルをはずして再度、電源スイッチをオンにしてもエラーが発生する場合は、お買い求めいただいた販売店、またはお近くのエプソンサービスセンターにご相談ください。

処置した後もエラー表示が続く場合は、お買い求めいただいた販売店、またはお近くのエプソンサービスセンターにご相談ください。なお、エプソンサービスセンターのご相談先は裏表紙にあります。

Windowsでの印刷

※ Macintoshで印刷を行う場合は17ページ以降をお読みください。



ここでは、

- 印刷の流れ
- 設定画面を開きます
- 設定を変更します
- 印刷を実行すると...
- ヘルプの使い方
- 印刷設定のポイント
- 印刷の中止方法

について説明しています。

Win

●印刷の流れ

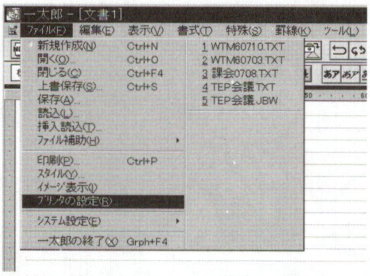
まず、印刷を行う場合の流れを説明します。

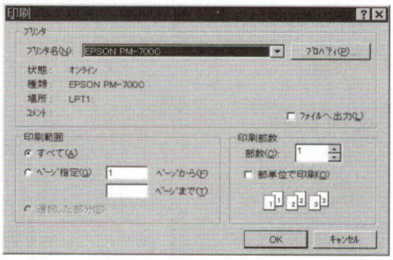
アプリケーションソフトで印刷するデータを作成します。

↓

プリンタドライバの設定画面を開きます。7ページ

設定画面は、〔プリンタの設定〕や印刷（プリント）ダイアログボックスの中の〔プロパティ〕などのコマンドを指定して開きます。

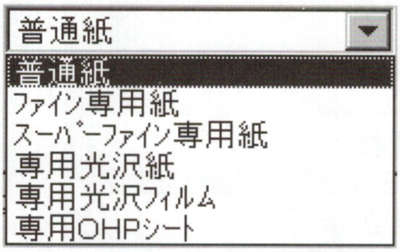


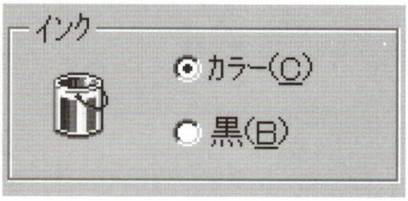


↓

プリンタドライバの設定を変更します。8ページ

設定の変更は、ボックス内の一覧から選択したり、チェックボックスをチェックして変更します。

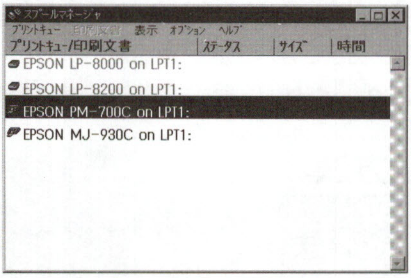




↓

印刷を実行すると...10ページ

印刷を実行すると、エプソンスプールマネージャとディスプーラが表示されます。





＊アイコン状態で表示されます。

印刷の流れ

●設定画面を開きます

設定画面の開きかたは、各アプリケーションソフトによって異なります。詳細は、各ソフトウェアの説明書を参照してください。

多くの場合、ファイル メニューの中の



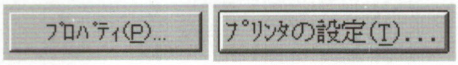
プリンタの設定 や



印刷（プリント）ダイアログボックスの中の



プロパティ や プリンタの設定

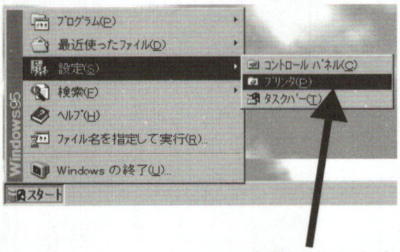


などで、印刷する直前に設定画面を開いて変更します。

また、デフォルト値を変更したい場合は、下記の手順で設定画面を開きます。

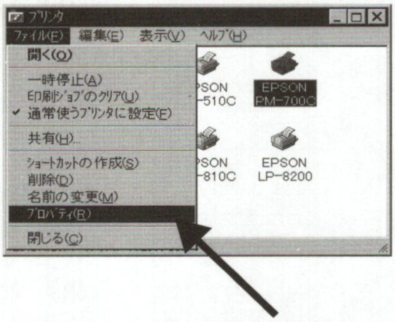
Windows95

① スタート ボタンをクリックし、マウスカーソルを［設定(S)］に移動し、［プリンタ(P)］をクリックします。



クリックします

② EPSON PM-700C アイコンを選択し、［ファイル(F)］メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



クリックします

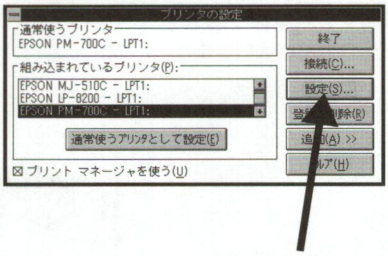
Windows3.1

① コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

② EPSON PM-700C を選択して、設定 ボタンをクリックします。

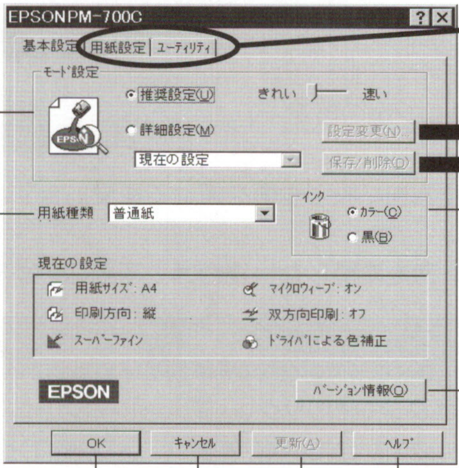


クリックします

●設定を変更します

プリンタドライバの設定項目は、いくつかのメニュー（ダイアログボックス）に分かれています。ここではそれらのメニューの関係と項目の概要を説明しています。設定項目の詳細は、EPSON PM-700Cヘルプを参照してください。
（画面はWindows95を例にしています。）

基本設定



モード設定

印刷するモードを「推奨設定」と「詳細設定」から選択します。通常は、「推奨設定」を選択します。
「詳細設定」では標準プリセットを一覧の中から選択したり、「手動設定」で微調整ができます。

用紙種類

印刷する用紙の種類を、一覧の中から選択します。

OKボタン

設定の内容を保存して、設定メニューを終了します。

キャンセルボタン

設定の変更内容を保存せずに、設定メニューを終了します。

タブをクリックすると、用紙設定・ユーティリティの画面が表示されます。

インク

インクの種類を〔カラー〕と〔黒〕から選択します。

バージョン情報ボタン

著作権、商標およびプリンタドライバのバージョン情報を表示します。

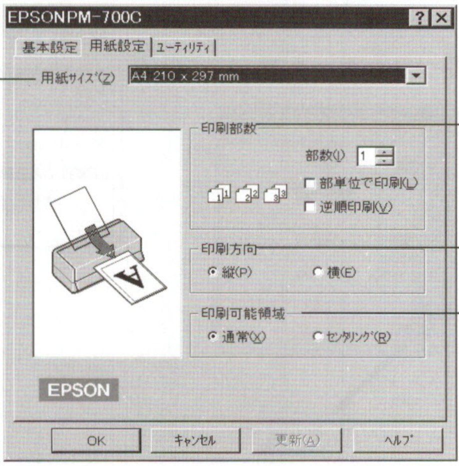
ヘルプボタン

EPSON PMシリーズヘルプを開きます。

更新ボタン

設定メニューを表示したままで、設定の変更内容を保存します。

用紙設定



用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを一覧の中から選択します。

印刷部数

印刷の部数（コピー数）を〔部数〕ボックスで入力します。

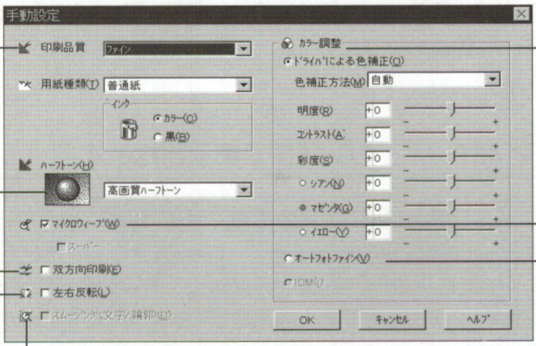
印刷方向

印刷する方向を選択します。

印刷可能領域

印刷する領域（位置）を選択します。
通常：左上に寄せて印刷
センタリング：ページ中央に印刷

手動設定



印刷品質
印刷の品質を「ドラフト」「ファイン」「スーパーファイン」の中から選択します。

ハーフトーン
ハーフトーンの種類を一覧の中から選択して、中間色の印刷方法を指定します。

双方向印刷
プリントヘッドが戻るときにも印刷します。より高速に印刷できますが、印刷品位は多少低下します。

スムージング（文字・輪郭）
［印刷品質］がスーパーファインのとき、文字や輪郭をなめらかに印刷します。

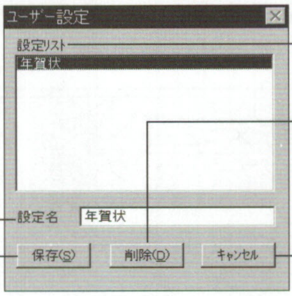
左右反転
左右を反転させて印刷する場合は、このチェックボックスをオンにします。

カラー調整
色の補正方法を「ドライバによる色補正」「オートフォトファイン」「ICM」の中から選択します。

マイクロウィーブ
行ごとのムラを少なくして、より高品質なグラフィックイメージを印刷できます。それでもムラがなくならない時は、スーパーをクリックします。

オートフォトファイン
ビデオ、デジタルカメラ等から取り込んだ画像を自動的に補正して印刷します。

ユーザ設定



設定名
手動設定にて設定した内容を保存する名称を入力します。

保存ボタン
手動設定にて設定した内容を、入力した設定名で保存する場合にクリックします。

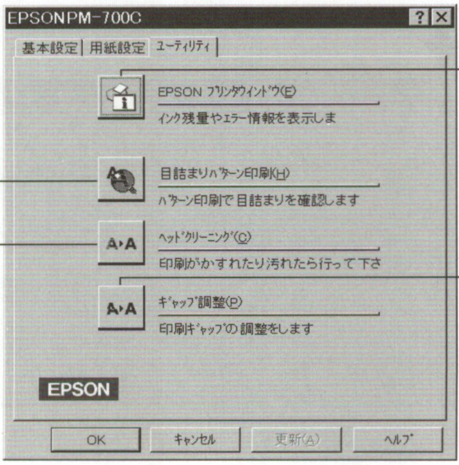
設定リスト
保存したユーザー設定の一覧を表示します。

削除ボタン
設定リストの中から削除したいユーザー設定を選択しクリックします。

キャンセルボタン
ユーザー設定を保存せずに終了します。

ユーティリティ

☞「ユーティリティの使い方」35 ページ



目詰りパターン印刷
目詰まりを確認するパターンを印刷します。プリンタが目詰まりしているかどうかわかります。

ヘッドクリーニング
プリントヘッドのクリーニングをコンピュータ上で行う場合に、クリックします。

EPSONプリンタウインドウ（Windows95 のみ）
プリンタの状態を監視できるユーティリティ「EPSON プリンタウインドウ」が起動します

ギャップ調整
縦の罫線がずれたり、黒色と他の色との間にすき間があくときにクリックします。

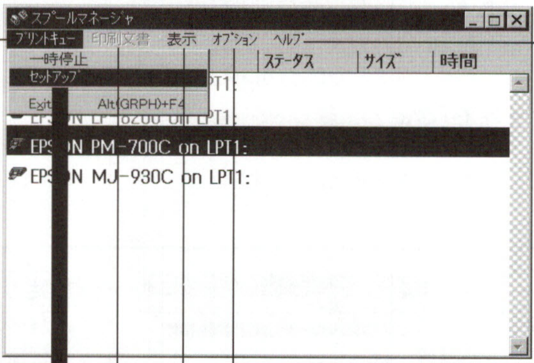
●印刷を実行すると...

印刷を実行するとき､EPSON MJ /PMシリーズのプリンタドライバは､スプールマネージャを使用してデータをいったんコンピュータのハードディスクへ送り、その後プリンタへ送ります。データを印刷するためにディスプーラが使用されます。

スプールマネージャ　アイコン状態で表示されます。

ポイント

エプソンスプールマネージャは直接起動することができます。Windows95 の場合、スタートメニュー内の［プログラム］－［EPSON］－［スプールマネージャ 4］をクリックしてください。Windows3.1 の場合は、［EPSON］グループ内の［スプールマネージャ 4］アイコンをダブルクリックしてください。



プリントキューメニュー
プリントキュー（各プリンタドライバに割り当てられた、印刷データを一時的に保持する領域）を一旦停止したり、プリントキューの条件を設定します。

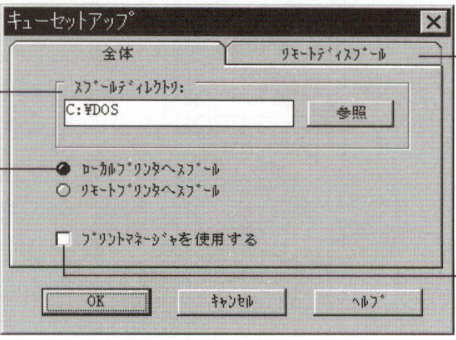
印刷文書メニュー
プリントキューの出力ファイルをコントロールできます｡印刷の停止、後で印刷するためにキューへの再登録､削除､あるいは再印刷用に保存等を行えます。

表示メニュー
スプールマネージャが表示する情報を選択 / 変更します。

ヘルプメニュー
ヘルプ情報を表示します。また、スプールマネージャの詳細は、このボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

オプションメニュー
スプールディレクトリ先の初期値とスプールディレクトリの印刷文書リストを更新するまでの時間を設定します。

キューセットアップ



スプールディレクトリ
印刷文書の出力ファイルの作成ディレクトリを指定します。

スプール先
ファイルの出力先のプリンタを選択します｡PM-700Cでは､ローカルプリンタを選択してください。

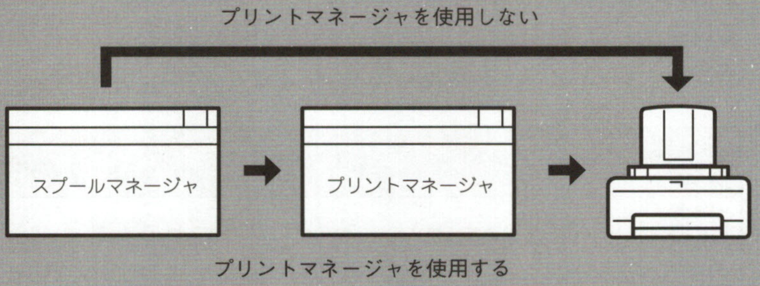
リモートディスプール
ネットワークで使用している場合に､プリンタが接続している端末で設定が必要になる項目です｡通常は､操作の必要がありません。

プリントマネージャを使用する
通常は､プリントマネージャを使用するのチェックボックスに×をつけないでください｡高速に印刷をすることができます。

ポイント

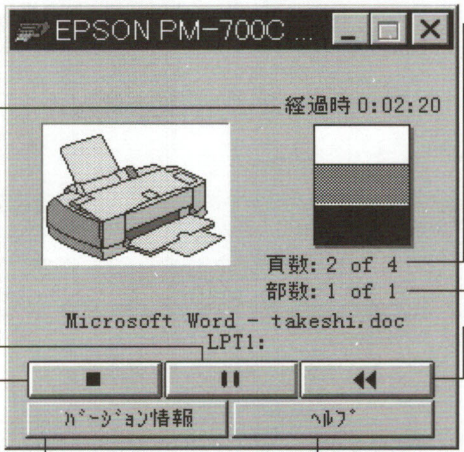
キューセットアップダイアログボックス内の「プリントマネージャを使用する」の設定によって印刷時間に差があります。

通常、EPSON MJ /PMシリーズのプリンタドライバは、スプールマネージャから直接、プリンタ出力を行っています。しかし「プリントマネージャを使用する」の設定にした場合、″スプールマネージャ″にて保持した出力データを、さらに″プリントマネージャ″に転送した後プリントマネージャがプリンタ出力を行っています。



通常は、「プリントマネージャを使用するのチェックボックスに×をつけない」設定で使用してください。

ディスプーラ　印刷を実行すると以下の画面が表示されます。



経過時間

II
一時停止：印刷を中断します。

■
キャンセル：印刷作業を中止します。

バージョン情報ボタン
ディスプーラの情報などを表示します。

頁数
文書の総ページ数のうち何ページ目を処理しているかを示します。

部数
指定した総部数のうち何枚目を印刷しているかを示します。

<<
再印刷：印刷を中止し、次の条件でもう一度印刷します。「現在のページ」「文書全体」「後で印刷」

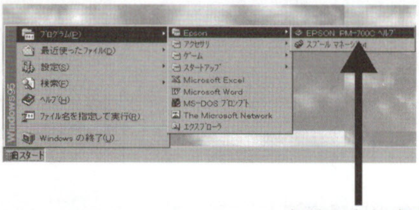
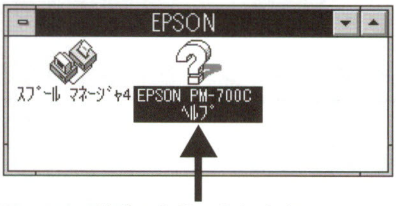
ヘルプボタン
ディスプーラについてのヘルプを表示します。

●ヘルプの使い方

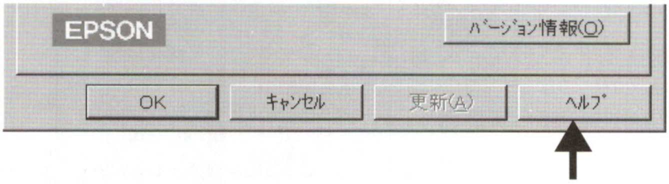
印刷の手順・設定項目の詳細は、次の説明を参考にしてヘルプを参照してください。

ヘルプの起動方法

PM-700C のヘルプは、スタートメニュー（Windows95）、またはEPSON グループ内のヘルプアイコンをダブルクリック（Windows3.1）すると起動します。また、印刷を実行する際に、プリンタドライバの設定画面の［ヘルプ］ボタンをクリックすると、表示している画面に関連したヘルプを表示します。

Windows95	Windows3.1
スタート ボタンをクリックし、［プログラム（P）］－［EPSON］をポイントします。EPSON PM-700C ヘルプ をクリックします。	プログラムマネージャ内の［EPSON］グループの中の EPSON PM-700Cヘルプ をダブルクリックします。
 クリックします	 ダブルクリックします

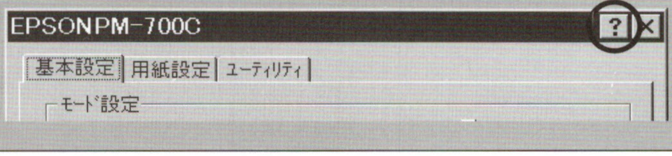
印刷実行前にヘルプを起動する場合は、設定画面右下の ヘルプ ボタンをクリックします。



クリックします

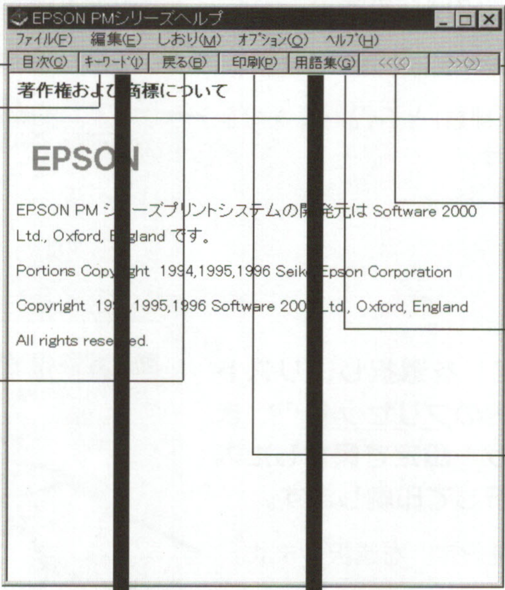
ポイント

Windows95 をご使用の場合のみ、画面右上の ? ボタンをクリックすると、マウス矢印の横に？マークがでます。マウスカーソルを確認したい項目上に移動しクリックすると、その項目に関するヘルプが表示されます。



ヘルプの操作方法

ヘルプファイルには、メニューバーの上のメニューの他に、キーワード(I) ボタンや 用語集 ボタンなどのボタンによる操作方法があります。各種ボタンには以下のような機能があります。



目次ボタン
ヘルプの目次（先頭）へジャンプします。

キーワード(I)ボタン
キーワードによるヘルプの検索が行えます。Widnows3.1の場合は 検索ボタン になります。

戻る(B)ボタン
一つ前に表示したヘルプへ戻ります。

>>(>)ボタン
ヘルプの次ページへジャンプします。

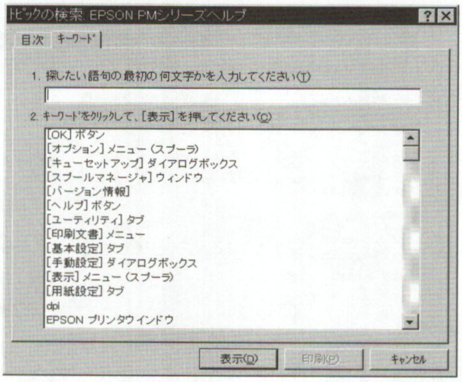
<<(<)ボタン
ヘルプの前ページへジャンプします。

用語集ボタン
各用語の説明をします。

印刷(P)ボタン
現在表示しているヘルプの内容を印刷します。

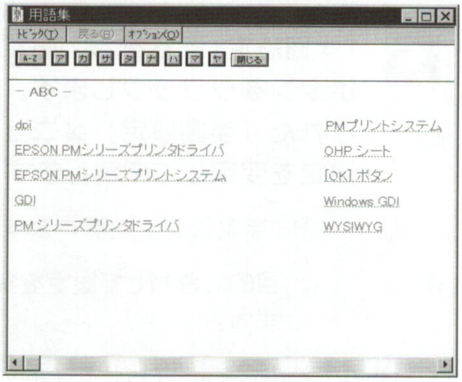
検索ダイアログ

キーワード欄に確認したい内容を入力して 表示 ボタンをクリックしてください。



用語集ダイアログ

知りたい用語をクリックしてください。



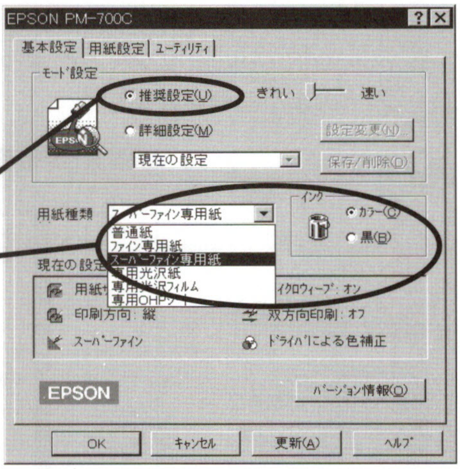
●印刷設定のポイント

印刷設定は、大きく分けて以下の３つの方法に分かれています。

1 **通常は、「基本設定」メニューの［モード設定］を「推奨設定」にし、［用紙種類］と［インク］の設定のみで印刷します。**

①「推奨設定」を選択します。

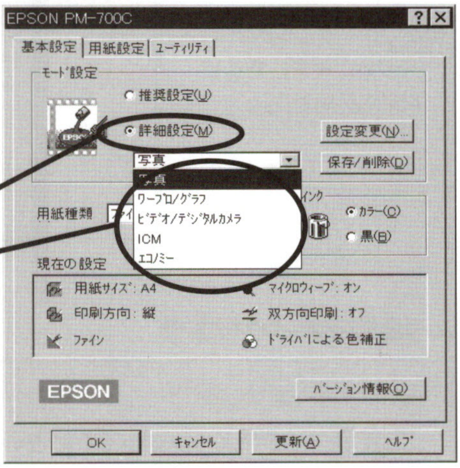
②［用紙種類］と［インク］を設定します。



2 **「詳細設定」を選択し、リストボックス内のプリセット**(*1)**、またはユーザー設定で保存した内容から選択して印刷します。**

①「詳細設定」を選択します。

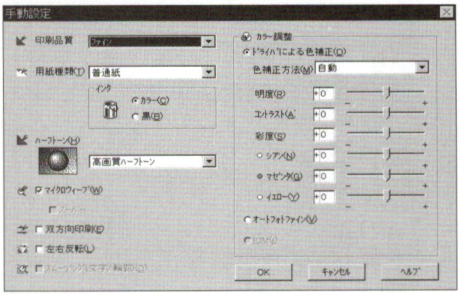
②▼ボタンをクリックし、リストの中からプリセット、またはユーザー設定で保存した内容から選択します。



3 **「詳細設定」を選択し、［設定変更］ボタンをクリックします。表示された「手動設定」メニューの設定を変更して印刷します。**

①「手動設定」を開きます

② 目的に合わせて設定を変更します



それぞれの目的に合わせて、1〜3の印刷方法を選び印刷を行ってください。

---

*1 プリセット ：セイコーエプソンがあらかじめ用意している印刷目的別の設定

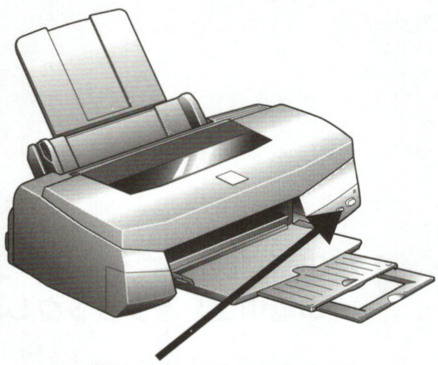
●印刷の中止方法

何らかの理由により、文字化けなどが発生し、印刷を中止する場合の手順について説明します。

ステップ 1 プリンタの電源をオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。

印刷中の用紙は排紙されます。

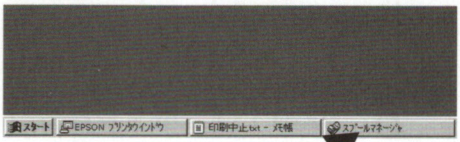


電源スイッチをオフにします。

ステップ 2 アイコン上の「スプールマネージャ」をウィンドウ表示します。

Windows95 の場合

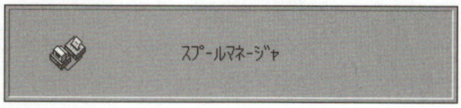
タスクバー上の「スプールマネージャ」をクリックします。



クリックします

Windows3.1 の場合

タスク切り替え機能にて「スプールマネージャ」を表示します。



DOS_V 機　：
[Alt] キーを押しながら [Tab] キーを押します。

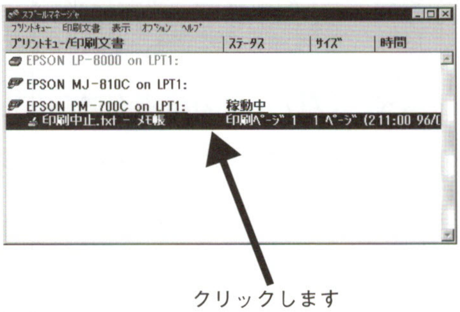
PC-9800 シリーズ：
[GRPH] キーを押しながら [Tab] キーを押します。

または、使用中のアプリケーションを全てアイコン化した後で、「スプールマネージャ」アイコンをダブルクリックします。

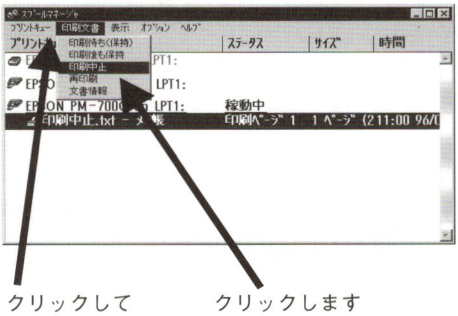


ダブルクリックします

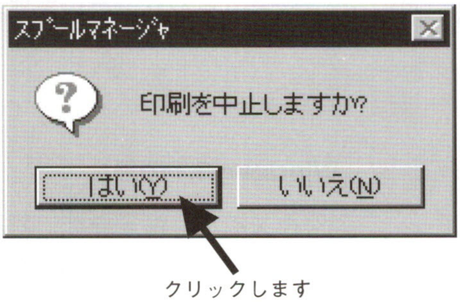
ステップ **3** 印刷を中止する印刷文章をクリックします。



ステップ **4** [印刷文書]メニューをクリックし、「印刷中止」をクリックします。



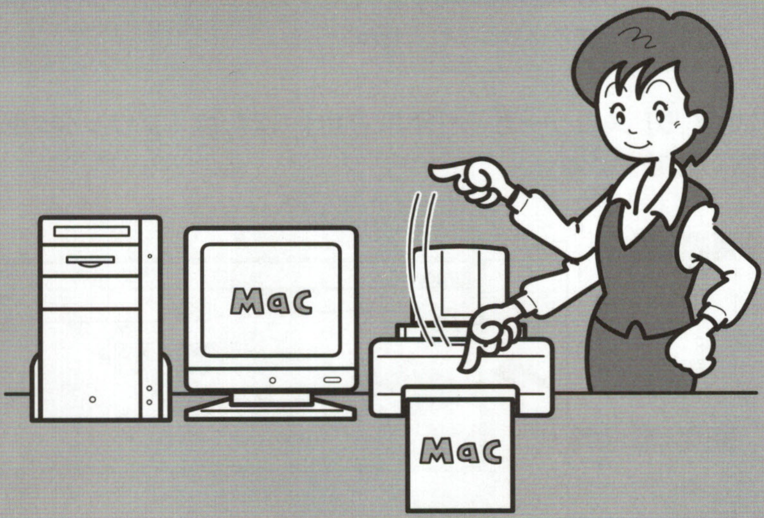
ステップ **5** はい (Y) ボタンをクリックします。



これで印刷が正常に中止されます。文字化けなどの原因を解明した後、再度、印刷を実行してください。

Macintoshでの印刷

※ Windowsで印刷を行う場合は、5ページ以降をお読みください。



ここでは、

- 印刷の設定と実行
- 高度な印刷設定
- ColorSync™2.0
- バックグラウンドプリント
- 印刷の中止方法

について説明しています。

●印刷の設定と実行

ここでは、Macintoshでの印刷の設定方法や実行の手順について説明します。

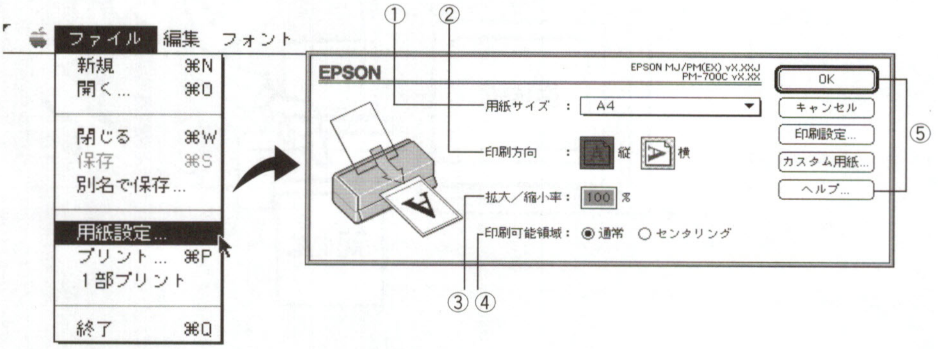
用紙設定の手順

実際に書類を作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。

・アプリケーションソフトウェアによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

・普通紙 / 専用紙などの用紙種類は、印刷する前に印刷ダイアログで指定しますので、ここでは指定する必要はありません。

ステップ **1** **[ファイル] メニューから [用紙設定] (または [プリンタの設定] など) を選択します。**



各項目の内容については、次ページを参照するか、ヘルプボタンをクリックしてください。

ステップ **2** **各項目を設定します。**

通常は、用紙サイズと紙送り方向を設定するだけで構いません。表示されている条件で良ければ、設定する必要はありません。

ステップ **3** **OK ボタンをクリックして終了します。**

用紙設定ダイアログ

① 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをポップアップメニューの中から選択します。
メニュー以外の用紙サイズを使用する場合は、⑤の中の[カスタム用紙...]ボタンをクリックして用紙サイズ登録ダイアログを開き、用紙サイズを登録してください。

② 印刷方向

用紙の挿入方向に対する印刷方向を、縦・横のいずれかで選択します。印刷イメージのアイコンをクリックして選択します。

③ 拡大 / 縮小率

印刷するときの拡大 / 縮小率を 25〜400% まで 1% 単位で設定できます。

拡大/縮小率を指定して印刷した場合、カラーの色合いが変化することがあります。カラー印刷の場合は、等倍（100%）で印刷することをおすすめします。

④ 印刷可能領域

用紙の印刷される範囲を指定します。通常は設定を変更する必要はありませんが、用紙上下のマージン（余白）を均等にしたい場合は「センタリング」を選択してください。ただし、物理的な印刷可能領域は狭くなります。

⑤ 各種ボタン

[OK] ボタン ： 変更した設定を有効にして設定を終了するボタンです。
[キャンセル] ボタン ： 変更した設定を無効にして設定を終了するボタンです。
[印刷設定 ...] ボタン ： 印刷オプションが設定できます。印刷する直前に印刷ダイアログでも同様の項目が設定できますので、通常は設定する必要はありません。設定できる内容については印刷ダイアログを参照してください。

☞本書「印刷ダイアログ」22 ページ

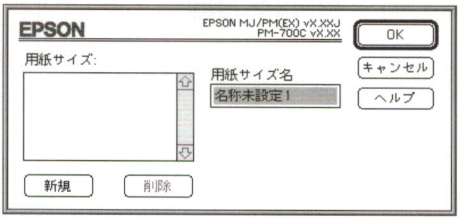
[カスタム用紙...] ボタン ： このボタンをクリックすると、用紙サイズ登録ダイアログが表示され、用紙サイズを登録できます。詳しくは次ページの「用紙サイズの登録 / 変更」を参照してください。
[ヘルプ] ボタン ： ヘルプ情報を表示するボタンです。

用紙サイズの登録/変更

用紙サイズ登録ダイアログでは、新しい用紙サイズを登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

ステップ **1** **用紙設定ダイアログの カスタム用紙... ボタンをクリックします。**

ステップ **2** **用紙サイズ名を指定し、OK ボタンをクリックします。**



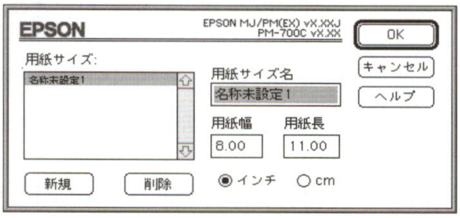
新しい用紙サイズを登録するときは 新規 ボタンをクリックしてから、用紙サイズ名を入力します。以前に登録した用紙サイズを変更するときは、左のリストに表示されている用紙サイズ名をクリックします。

用紙サイズを指定するボックスが現れます。

ポイント

- 登録できる用紙サイズは8つまでです。
- 用紙サイズ名を指定してから 削除 ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。
- 用紙サイズ名には ； ＾ ！ < / （ － の7文字を使用しないでください。

ステップ **3** **サイズを入力します。**



登録する用紙幅と用紙長をインチ単位で入力します。下のラジオボタンでcm単位に変更することもできます。

指定できるサイズの範囲は次のとおりです。

用紙幅　：3.94～22.00 インチ（10.02～55.88cm）

用紙長　：3.94～44 インチ（10.02～111.76cm）

※本プリンタの最大印刷可能領域（印字幅）は210mmですので、216mmを超える幅の用紙サイズを指定する場合は、印刷を実行する前にプリンタドライバの縮小率（19ページ）を設定してください。

ステップ **4** **OK ボタンをクリックして終了します。**

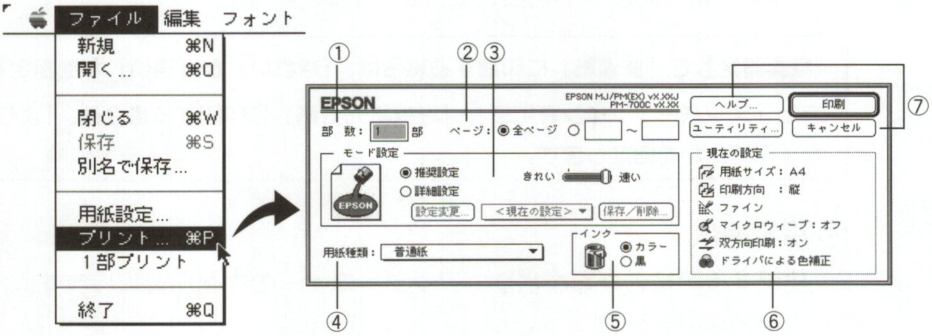
Macintosh での印刷手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は、以下の印刷ダイアログで設定します。

- アプリケーションソフトウェアによっては、独自の印刷ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 通常は簡単な設定だけで印刷を行うことができますが、必要に応じて「高度な設定」を行うこともできます。高度な設定については、「高度な印刷設定について」をお読みください。

☞本書「高度な印刷について」23ページ

ステップ **1** **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**



各項目の内容は次ページを参照するか、ヘルプボタンをクリックしてください。

ステップ **2** **［印刷］ダイアログ内の各項目を設定します。**

表示されている内容で良ければ設定する必要はありません。「用紙種類」の項目は、必ず実際に印刷する用紙種類に設定してください。

ステップ **3** **印刷 ボタンをクリックして、印刷を実行します。**

印刷ダイアログ

① 部数

印刷する部数を直接入力して指定します。

② ページ

印刷ページを指定します。「全ページ」を選択すると、文書の全ページを印刷します。印刷するページを指定するときは、右側のラジオボタンをクリックしてページ指定ボックスに指定ページを入力します。

③ モード設定

印刷の設定を自動的に行う（推奨設定）か、手動で行う（詳細設定）かを選択します。通常は「推奨設定」を選択しますが、「詳細設定」を選択すると、高度な設定を行うことができます。

☞本書「高度な印刷設定について」次ページ

「推奨設定」で「普通紙」に印刷する場合は、「きれい」か「速い」かを指定します。また「スーパーファイン専用紙」、「専用紙光沢紙」に印刷する場合は、「よりきれい」か「標準」かを指定します。

④ 用紙種類

使用する用紙の種類をポップアップメニューの中から選択します。

⑤ インク

カラーインクを使用して印刷する「カラー」か、黒インクだけで印刷する「黒」のどちらかを選択します。

⑥ 現在の設定

現在設定されている詳細な内容が表示されます。

⑦ 各種ボタン

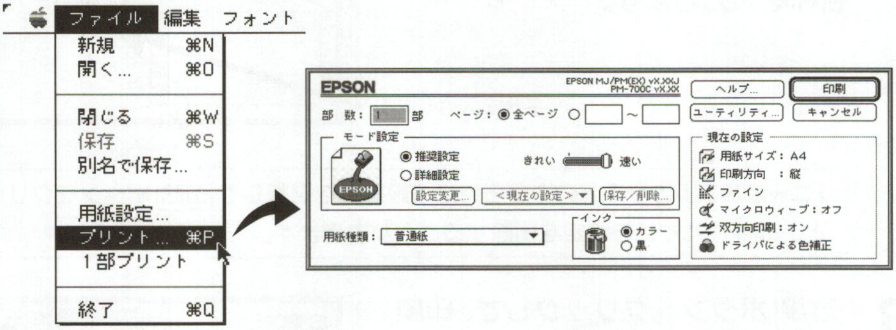
[印刷] ボタン	：設定した内容で印刷を開始します。
[キャンセル] ボタン	：設定した内容を無効にして、印刷を中止するボタンです。
[ヘルプ] ボタン	：ヘルプ情報を表示するボタンです。
[ユーティリティ] ボタン	：「EPSON プリンタウインドウ」や「ヘッドクリーニング」などの各種ユーティリティを実行するためのダイアログを表示するボタンです。 ☞本書「ユーティリティの使い方」35 ページ

●高度な印刷設定について

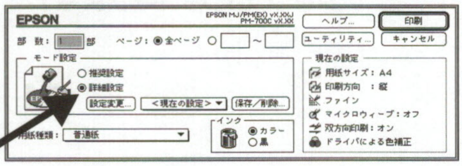
ここでは、高度な印刷設定（詳細設定）の設定方法や設定項目について説明します。

設定の手順

ステップ **1** ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

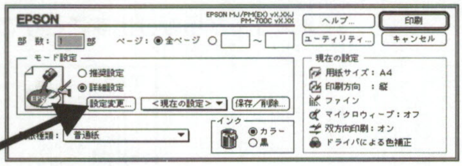


ステップ **2** 「設定モード」で「詳細設定」を選択します。



選択します

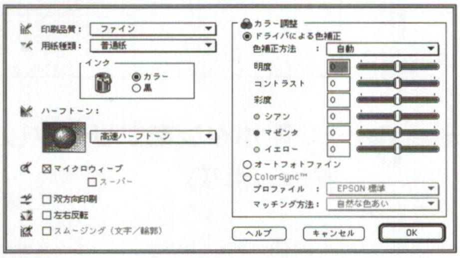
ステップ **3** 設定変更… ボタンをクリックして、詳細設定ダイアログを開きます。



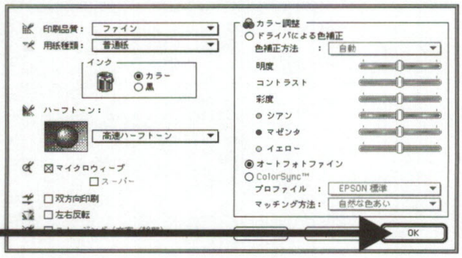
クリックします

ステップ **4** ダイアログ内の各項目を設定します。各項目の内容は「詳細設定ダイアログ」を参照するか、ヘルプ ボタンをクリックしてください。

☞本書「詳細設定ダイアログ」25ページ

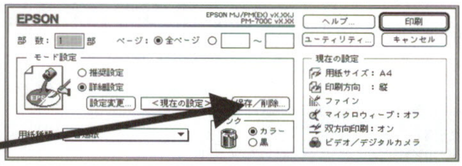


ステップ **5** OK ボタンをクリックして、印刷ダイアログに戻ります。



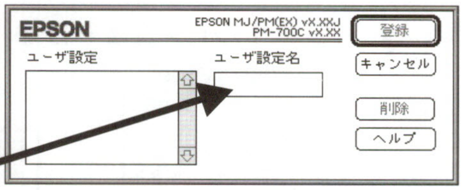
クリックします

ステップ **6** 設定内容を保存する場合は、保存／削除... ボタンをクリックします。



クリックします

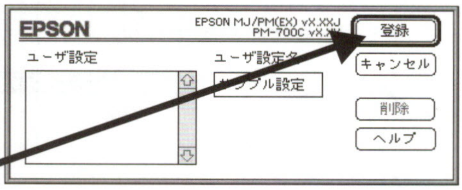
ステップ **7** 表示されたダイアログに、任意の名称を入力します。



名称を入力します

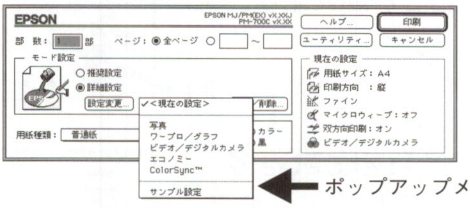
「ユーザ設定」のリストの中から特定の設定名を選択して 削除 ボタンをクリックすると、登録されている設定を削除することができます。

ステップ **8** 登録 ボタンをクリックして、印刷ダイアログに戻ります。



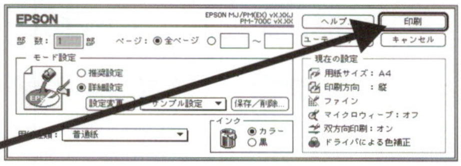
クリックします

ここで保存した内容は、印刷ダイアログで「詳細設定」を指定したときに、ポップアップメニューから呼び出すことができるようになります。



ポップアップメニューのリストに追加されます

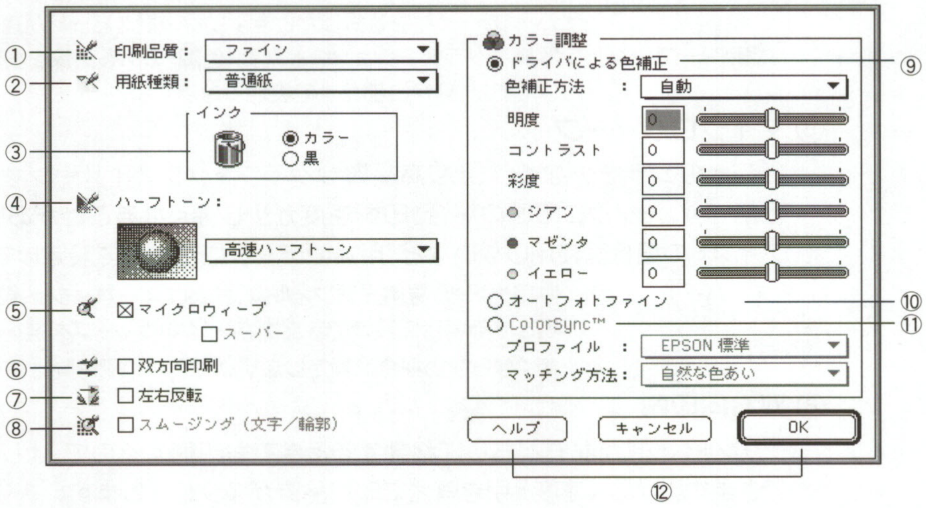
ステップ **9** 印刷 ボタンをクリックして印刷を実行します。



クリックします

詳細設定ダイアログ

ダイアログ内の各項目は、「印刷品質」「用紙種類」「インク」の組み合わせにより、設定変更できない場合があります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。



① 印刷品質

印刷する解像度をポップアップメニューから選択します。

「ドラフト」　：　インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。試し印刷などに向いています。

「ファイン」　：　ファイン（解像度：360dpi）で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良く、日常的に印刷する場合には最も適した印刷です。

「スーパーファイン」
：　スーパーファイン（解像度：スーパーファイン専用紙などで720dpi）で印刷します。印刷時間は多少かかりますが、最も高い品質で印刷できます。

② 用紙種類

使用する用紙の種類を選択します。
［印刷品質］で指定した解像度により、選択可能な用紙種類が異なります。

③ インク

カラーインクを使用して印刷する「カラー」か、黒インクだけで印刷する「黒」のどちらかを選択します。

④ ハーフトーン

ハーフトーン処理の方法をポップアップメニューから選択して、中間色の印刷方法を指定します。[印刷品質]と[インク]の設定により選択可能な項目が異なります。

「なし」　：　ハーフトーン処理をしません。グレースケールや中間調を表現できないので、濃淡や階調のない画像になります。
［インク］で「カラー」を選択した場合は選択できません。

「高速ハーフトーン」：　処理速度を重視したハーフトーン処理を行って印刷します。「高画質ハーフトーン」を選択したときよりも印刷スピードが速くなります。

「高画質ハーフトーン」：　写真やグラデーションなど階調（色調）のある画像を表現するのに適しており、細かい部分まで表現できます。

⑤ マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現できる機能です。モノクロ印刷の場合、印刷速度が少し遅くなることがありますので、テキストの場合は使用しないなど、用途やデータに合わせて設定してください。

「スーパー」　：　専用光沢紙、専用光沢フィルム、およびスーパーファイン専用紙に印刷をする場合に設定できます。マイクロウィーブを選択してもムラが無くならない場合に設定します（ただし、印刷時間は長くなります）。

⑥ 双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、より高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下します。

⑦ 左右反転

鏡で写したように左右を逆にして印刷します。

⑧ スムージング（文字 / 輪郭）

テキストデータや線画の輪郭を、なめらかに印刷します。印刷時間は多少長くなります。

⑨ ドライバによる色補正

「色補正方法」の中から選択した設定内容に従い、印刷する書類の色バランスを整えます。
ポップアップメニューからは、次の4項目が選択できます。
通常は「自動」を選択してください。

「自動」　：　文書内のオブジェクトに対して最適な色処理をします。通常は、この設定でご使用ください。ただし、データを解析しながら印刷しますので、印刷時間が長くなる場合があります。

「自然な色あい」：　より自然な発色状態になるように色処理を行います。

「あざやかな色あい」：　彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。

「色補正なし」　：　ドライバによる色補正を行いません。ColorSync™用プロファイルを作成する際の、基準色を印刷するときに選択します。通常は選択しないでください。

ポップアップメニューの下にある6つのスクロールバーを調整することにより、お好みに合わせて色バランスを変更することが可能です。

明度 : 画像の明るさをスクロールバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として、-25～25%の間で、マイナス(-)方向には暗く、プラス(+)方向には明るくなります。明度は画像全体の明るさを調整しますので、全体的に暗いものや明るいものに対して有効です。

コントラスト : 画像の明暗比をスクロールバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として-25～25%の間です。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。明暗の差をはっきりさせたいときや、逆に明暗の差を無くしたいときに有効です。

彩度 : 画像の彩度(色のあざやかさ)をスクロールバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として-25～25%の間です。
彩度を上げると、色みが強くなります。逆に彩度を落とすと、色みが無くなり、無彩色化されてグレーに近くなります。色をはっきりとさせたいときや、逆に色みを落としたいときに有効です。
[インク] で「黒」を選択した場合は調整できません。

シアン : 青緑(シアン)の強さだけをスクロールバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として-25～25%の間です。プラス(+)方向に上げると、青緑色がかかります。逆にマイナス(—)方向に下げると、赤みが強くなります。青緑(シアン)を強くしたいときや、逆に赤みを強くしたいときに有効です。
[インク] で「黒」を選択した場合は調整できません。

マゼンタ : 赤紫(マゼンタ)の強さだけをスクロールバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として-25～25%の間です。
プラス(+)方向に上げると、赤紫色がかります。逆にマイナス(—)方向に下げると、全体的に緑がかります。赤紫(マゼンタ)を強くしたいときや、逆に緑がかったイメージにしたいときに有効です。
[インク] で「黒」を選択した場合は調整できません。

イエロー : 黄色の強さだけをスクロールバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として-25～25%の間です。プラス(+)方向に上げると、黄色みがより強くなります。逆にマイナス(—)方向に下げると、青みが強くなります。黄色をはっきりとさせたいときや、逆に青みを強くしたいときに有効です。
[インク] で「黒」を選択した場合は調整できません。

⑩ オートフォトファイン

ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナ等から取り込んだ画像を自動的に補正して印刷したい場合に選択します。コントラスト、彩度が適切でないデータに最適な補正を加え、鮮明に印刷します。ただし、画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が長くなります。

「オートフォトファイン」の設定は、カラー印刷の場合のみ選択できます。

⑪ ColorSync™

ColorSync™によるカラーマッチングを行います。

「プロファイル」と「マッチング方法」を各ポップアップメニューから選択します。

「プロファイル」のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。

通常は「EPSON標準」を選択してください。

「EPSON標準」　：　本機からの印刷用に最も最適化されたプロファイルです。

「その他」　：　通常は選択することができません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。しかしながら、通常の印刷では「EPSON標準」以外を選択する必要はありません。

「マッチング方法」のポップアップメニューからは、次の項目が選択できます。

「自然な色あい」　：　より自然な発色状態になるように処理を行います。写真などの印刷に適しています。

「あざやかな色あい」

　：　画面の彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。グラフや図表などの印刷に適しています。

「特定色マッチ」　：　特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色ができる限り正しく印刷されるような色処理を行います。

- **「ColorSync™」の設定は、カラー印刷の場合のみ選択できます。**
- **ColorSync™についての詳細は、「ColorSync™2.0について」を参照してください。**

☞本書「ColorSync2.0™について」次ページ

⑫ 各種ボタン

[OK]ボタン　：　設定した内容を有効にして[印刷]ダイアログに戻ります。

[キャンセル]ボタン：　設定した内容を無効にして[印刷]ダイアログに戻ります。

[ヘルプ]ボタン　：　ヘルプ情報を表示するボタンです。

●ColorSync™2.0について

本機のプリンタドライバは、ColorSync™2.0に対応しております。

ColorSync™2.0とは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタの色の表現は、それぞれのメーカー・モデル毎に異なるため、原画とディスプレイ表示、および印刷結果の色を一致させることは非常に困難でした。
例えば、ディスプレイには赤っぽく表示するディスプレイもあれば、逆に青っぽく表示するディスプレイもあります。これに対してプリンタは、ディスプレイの表示色に合わせて印刷をしているわけではないので、ディスプレイ上に表示される色と、プリンタから印刷される色との間で食い違いが生じてしまうわけです。
これに対応して、機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるための方法の一つがColorSync™と呼ばれるものです。ただし、ColorSync™2.0が正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションがColorSync™2.0に対応している必要があります。

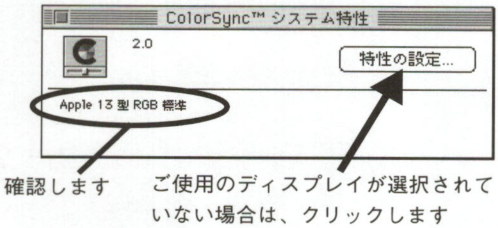
ColorSync™2.0を使用するときの準備作業

ColorSync™ 2.0を使用する場合は、以下の手順により、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

ステップ1 **コントロールパネル内の[ColorSync™システム特性]アイコンをダブルクリックします。**

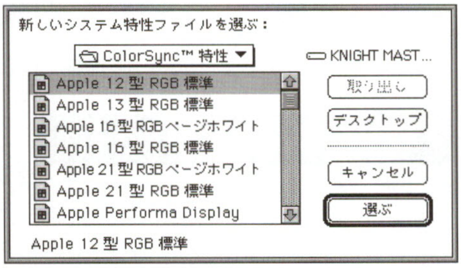


ステップ2 **ご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、[特性の設定...]ボタンをクリックします。**



ステップ **3** **お使いのディスプレイタイプを一覧の中から選択し、選ぶ ボタンをクリックします。**

ディスプレイタイプが一覧の中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合わせください。



以上で準備作業は終了です。

実際にColorSync™2.0のカラーマッチングを使用して印刷をする場合は、プリンタドライバの詳細設定ダイアログで「ColorSync™」を選択して印刷を実行してください。

☞本書「詳細設定ダイアログ」 25ページ

●バックグラウンドプリントについて

本機のプリンタドライバは印刷時にEpson Monitor2を使用し、印刷作業をバックグラウンドで行うことができます。

バックグラウンドプリントとは

プリンタで印刷が行われている間、Macintoshで他の作業ができないのは不便です。このようなとき、印刷データをいったんEpson Monitor2に送ると、Epson Monitor2はソフトウェアの作業とは別に印刷作業を「バックグラウンド」で行い、印刷中でもMacintoshを他の作業に使えるようにします。
このような印刷方法をバックグラウンドプリントといいます。
バックグラウンドプリントの設定は、セレクタで［バックグラウンドプリント］を「入」にします。

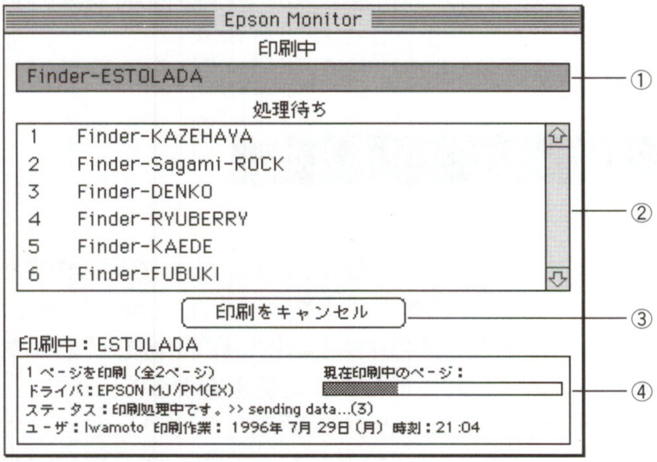
☞はじめにお読みください「Macintosh側で行う印刷の準備」36ページ

バックグラウンドプリントは、印刷しながら他の作業ができる等のメリットがあります。ただし、ご使用のMacintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷されるまでに時間がかかるようになりますので、ご使用の機器に合わせて設定してください。

Epson Monitor2の機能

Epson Monitor2は、バックグラウンドで印刷作業を行う他に、書類を印刷する順番も管理しています。そのため、現在印刷している書類はもちろんのこと、これから印刷される書類を確認したり、印刷を中止することができます。
Epson Monitor2は、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから＜Epson Monitor2＞を選択すると、ウィンドウを開くことができます。
印刷していないときは、機能拡張フォルダにある＜Epson Monitor2＞アイコンをダブルクリックすることで開くことができます。

印刷を開始するとEpson Monitor2が開くようにも設定できます。この設定は、Epson Monitor2の環境設定ダイアログで設定できます。環境設定ダイアログは、Epson Monitor2が開いた状態でファイルメニューから「環境設定」を選択すると開きます。



① 印刷中

印刷中の書類を表示します。

② 処理待ち

印刷待ちをしている書類を表示します。

③ 印刷をキャンセル ボタン

現在の印刷を中止します。処理待ちのボックスで書類を指定しているときは、このボタンは リストから削除 ボタンになり、指定している書類をEpson Monitor2から削除し、印刷を取りやめます。

④ 情報

指定している書類の情報を表示します。

●印刷の中止方法

何らかの理由により、文字化けなどが発生し、印刷を中止する場合の手順について説明します。

バックグラウンドプリント使用時の場合

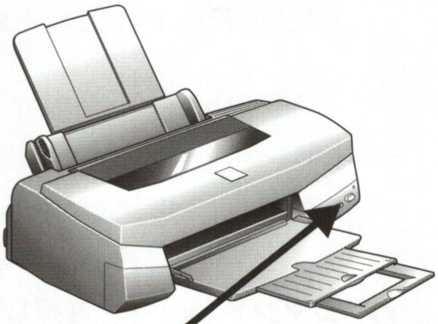
バックグラウンドプリントで印刷作業を行っている場合は、次の手順で中止してください。

本書「バックグランドプリントについて」31 ページ

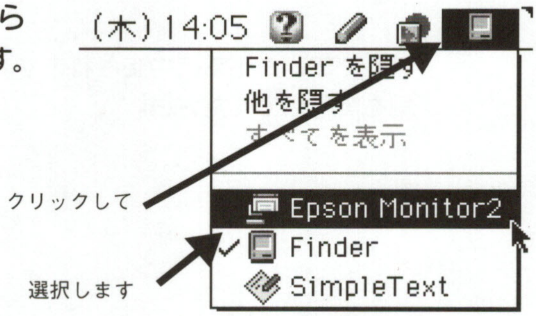
ステップ **1** **プリンタの電源をオフにします。**

印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。

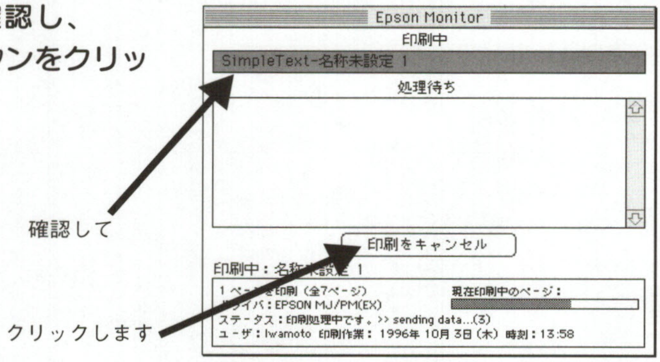
印刷中の用紙は排紙されます。



ステップ **2** **アプリケーションメニューから「EPSON Monitor2」を選択します。**



ステップ **3** **印刷中の印刷文章を確認し、［印刷をキャンセル］ボタンをクリックします。**



これで印刷が正常に中止されます。文字化けなどの原因を解明した後、再度、印刷を実行してください。

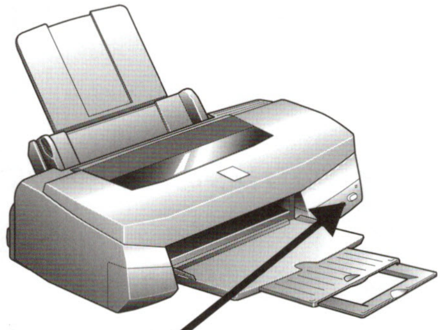
バックグラウンドプリント未使用の場合

バックグラウンドプリントで印刷作業を行っていない場合は、次の手順で中止してください。

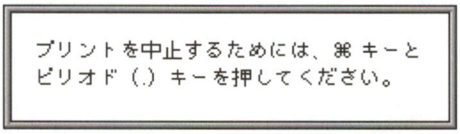
ステップ **1** **プリンタの電源をオフにします。**

印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。

印刷中の用紙は排紙されます。

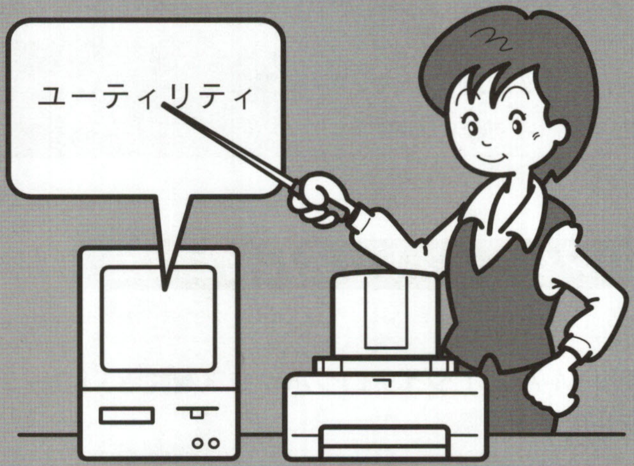

電源スイッチをオフにします。

ステップ **2** **コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押します。**



これで印刷が正常に中止されます。文字化けなどの原因を解明した後、再度、印刷を実行してください。

ユーティリティの使い方



ここでは、

- EPSONプリンタウインドウ（Windows95版）
- EPSONプリンタウインドウ（Macintosh版）
- 目詰まりパターン印刷
- ヘッドクリーニング
- ギャップ調整

について説明しています。

●EPSONプリンタウインドウ(Windows95版)

EPSONプリンタウインドウとは、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージやインク残量などを表示できるユーティリティです。常時起動していれば、プリンタのエラーなどをお使いのコンピュータ上で知ることができます。

ポイント

EPSONプリンタウインドウは次の場合、使用できません。

- **お使いのコンピュータおよびケーブルが双方向通信機能をサポートしていない(プラグアンドプレイに対応していない)場合**

  EPSON PCシリーズ全機種、およびNEC PC-9800シリーズ、各社DOS/V機の一部などは対応していません。

- **プリンタをネットワーク接続している場合**
- **Windows3.1をお使いの場合**

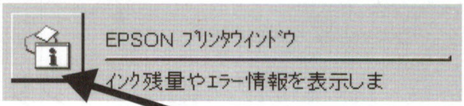
EPSONプリンタウインドウの起動と設定

ステップ **1** **[EPSON PM-700C]ダイアログボックスを開き、「ユーティリティ」タブをクリックします。**

☞本書「設定画面を開きます」7ページ

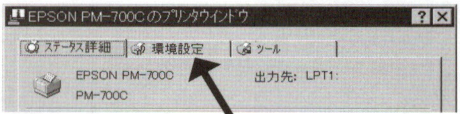
ステップ **2** **EPSONプリンタウインドウ ボタンをクリックします。**

プリンタの接続状況を確認して、EPSONプリンタウインドウ(プリンタ一覧)をアイコン化(*1)で起動します。その後、[EPSON PM-700Cのプリンタウインドウ]ダイアログボックスが表示されます。



クリックします

ステップ **3** **設定の変更を行う場合は、「環境設定」タブをクリックします。**



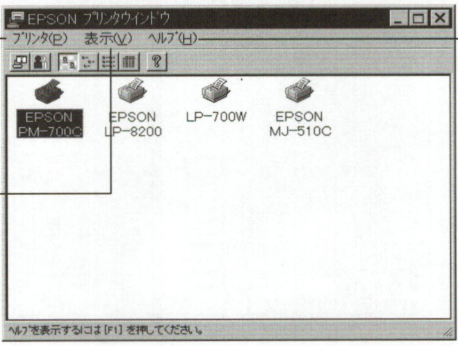
クリックします

*1 アイコン化：Windows95の場合は、ファイル、ウィンドウに対応したアイコンがタスクバーに表示されます。

EPSON プリンタウインドウ (プリンター覧)

ポイント

EPSON プリンタウインドウの本体は、アイコン状態で起動します。



プリンタメニュー

プリンター覧の中の各プリンタの、プリンタ詳細、ジョブ管理を開きます。

表示メニュー

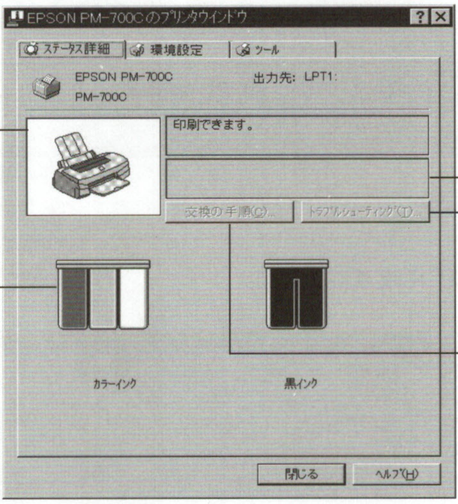
プリンター覧の表示方法やツールバー・ステータスバーの表示・非表示を設定します。

ヘルプメニュー

ヘルプを表示します。EPSON プリンタウインドウに関する詳細は、ヘルプを参照してください。

ステータス詳細

〔プリンタ状態〕、〔インク残量の目安〕などを確認できます。



プリンタ状態

現在のプリンタの状態を、イラスト・文字で表示します。

インク残量

インクカートリッジ（カラー・黒）内のインク残量の目安を表示します。インク交換時の目安としてください。
なお、カラーインクの残量は、一番少ないインクに合わせて３色同じレベルで表示されます。

エラー回避方法

プリンタがエラー状態のときに、エラー回避の方法を表示します。

トラブルシューティグボタン

より詳しい対処方法を知ることができます。

交換の手順ボタン

インクエンドランプが点滅、または点灯している時に有効になります。
クリックすると画面上でインク交換の手順を確認できます。

ポイント

「通信エラー」になってプリンタの状態が確認できないときは、〔このプリンタで双方向通信機能をサポートする〕が選択されているか確認してください。

☞本書「プリンタの接続先の設定」87ページ

環境設定

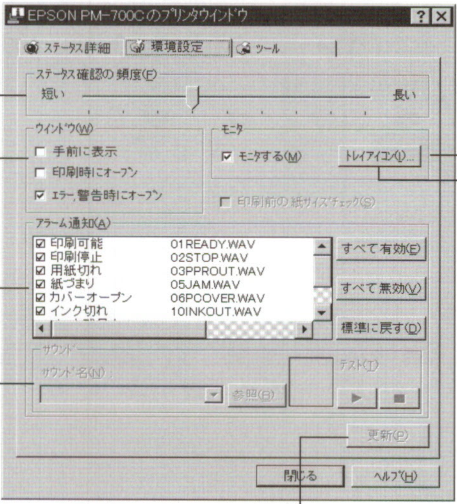
〔プリンタの状態を確認する頻度〕、〔表示するタイミング〕、〔アラーム通知〕、〔サウンド〕などを設定できます。

ステータス確認の頻度
プリンタ状態をモニタする頻度を設定します。

ウインドウ
ウインドウを表示するタイミングを設定します。

アラーム通知
各プリンタ状態の□をクリックしてチェック印をつけると、プリンタ状態を音声ファイル（Wave）にてアナウンスする機能が有効になります。

サウンド
アラーム通知の際に使用する音声ファイル（Waveファイル）を設定します。



モニタ
プリンタ状態をトレイアイコン状態でモニタするかどうかを選択するチェックボックスです。

トレイアイコン
タスクバーの右端のトレイに表示されるプリンタアイコンを変更または追加することができます。このボタンをクリックして「トレイアイコン設定」ダイアログボックスを表示させ、アイコンを選択してください。

更新
環境設定内の項目を変更した場合にクリックします。このボタンをクリックしないと、EPSONプリンタウインドウの設定は変更されません。

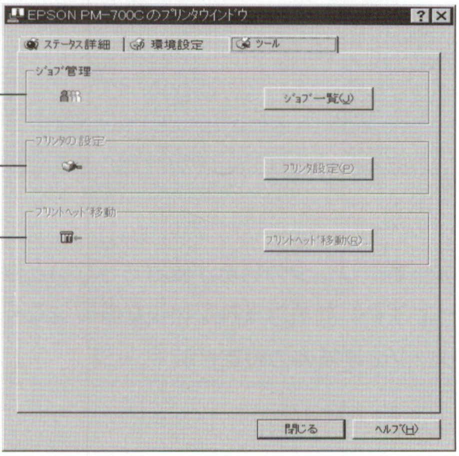
ポイント
お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、アラーム通知・サウンドの機能は使用できません。

ツール

〔ジョブ管理〕が行えます。

ジョブ管理
コンピュータのプリントジョブの状態を確認できます。

本機能は本プリンタでは使用しません。

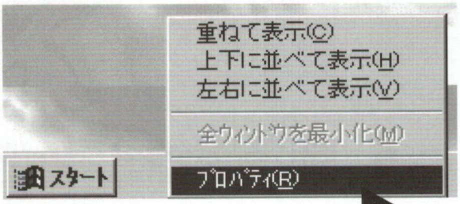


スタートアッププログラムからの削除

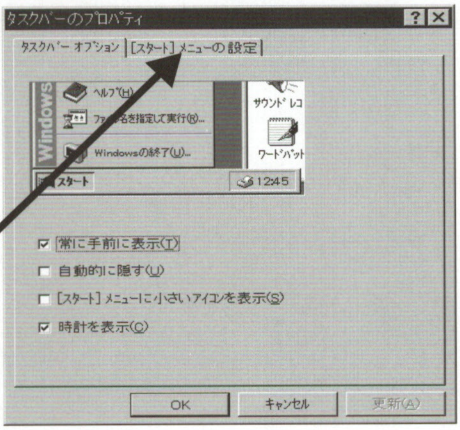
EPSON プリンタウインドウは、スタートアッププログラムに登録され、Windows95 起動時にEPSON プリンタウインドウが自動的に起動します。
自動起動させる必要がない場合は、EPSONプリンタウインドウをスタートアッププログラムから削除してください（スタートアッププログラムから削除しても、EPSONプリンタウインドウ自体は消えません）。削除する手順は次のとおりです。

ステップ **1** **タスクバーの上にマウスカーソルを移動し、右クリックします。表示されたメニュー内の「プロパティ」をクリックします。**

［タスクバーのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

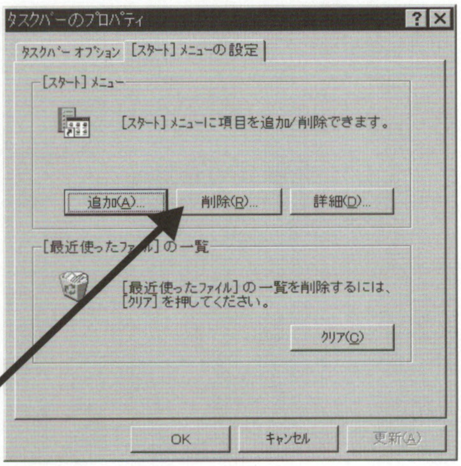


ステップ **2** **「[スタート] メニューの設定」タブをクリックします。**



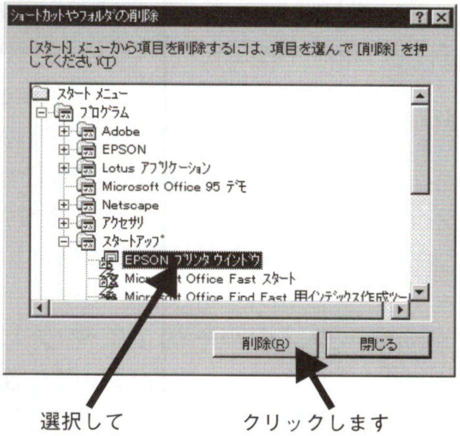
ステップ **3** **削除 ボタンをクリックします。**

［ショートカットやフォルダの削除］ダイアログボックスが表示されます。



ステップ **4** **「スタートアップ」フォルダをダブルクリックし、表示された「EPSONプリンタウインドウ」を選択し、削除 ボタンをクリックします。**

EPSONプリンタウインドウが〔スタート〕メニューから削除されます。



ステップ **5** **閉じる ボタンをクリックします。その後、OK ボタンをクリックします。**

これで削除は終了です。次にコンピュータを起動したときから、EPSONプリンタウインドウは、自動的に起動しなくなります。

●EPSONプリンタウインドウ(Macintosh版)

EPSONプリンタウインドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを表示できるユーティリティです。

ポイント

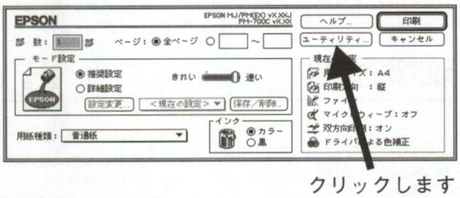
- エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSONプリンタウインドウの画面を開いていなくても表示されます。インク残量を確認するとき以外は、プリンタウインドウの画面を開いている必要はありません。
- 印刷を実行する前にプリンタのエラー状態を確認したい場合は、環境設定ダイアログの中の「印刷前にエラーを確認する」チェックボックスをチェック（×をつける）してください。

EPSON プリンタウインドウの起動と設定

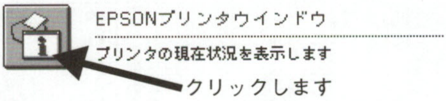
ステップ **1** **プリンタドライバの設定ダイアログを開きます。**

☞本書「Macintosh での印刷手順」21 ページ

ステップ **2** **[ユーティリティ…] ボタンをクリックします。**

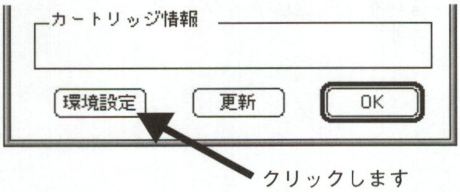


ステップ **3** **[EPSONプリンタウインドウ] ボタンをクリックします。**

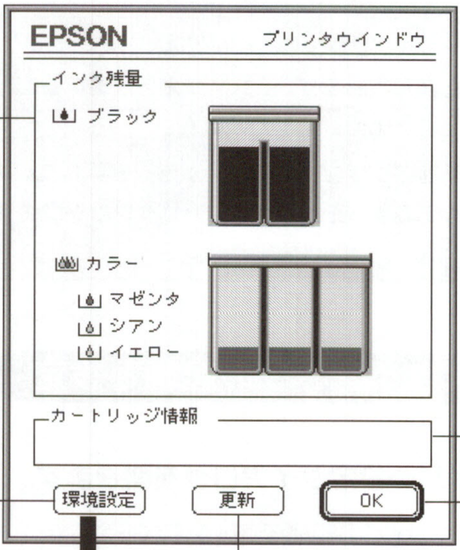


プリンタのエラー状態を確認して、エラーが発生していない場合は、プリンタウインドウのダイアログ（インク残量モニタ）を表示します。

ステップ **4** **エラー表示に関する環境設定をする場合は、[環境設定] ボタンをクリックします。**



EPSON プリンタウインドウ (インク残量モニタ)



インク残量

インクカートリッジ(カラー・黒)内のインク残量の目安を表示します。インク交換時の目安としてください。
なお、カラーインクの残量は、一番少ないインクに合わせて3色同じレベルで表示されます。

環境設定

EPSONプリンタウインドウの環境設定画面を開きます。

更新

最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。

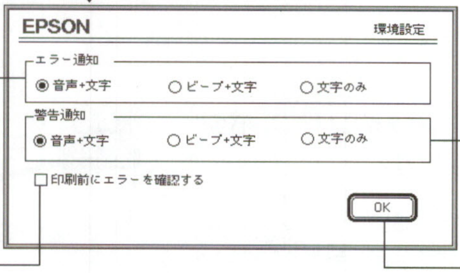
カートリッジ情報

インクカートリッジに関する情報を提供します。
ただし、PM-700Cでは表示されません。

O K

EPSONプリンタウインドウを終了します。

環境設定



エラー通知

プリンタ側で発生しているエラーの通知方法を選択します。

印刷前にエラーを確認する

印刷を実行する前に、プリンタ側でエラーが発生しているか確認するかどうかを選択するチェックボックスです。

警告通知

プリンタ側で発生している警告の通知方法を選択します。

O K

環境設定を保存して終了します。

●目詰まりパターン印刷

目詰まりパターン印刷とは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。目詰まりパターンの印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、ヘッドクリーニングを行ってください。

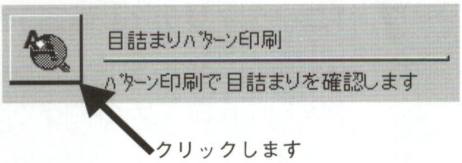
ポイント
目詰まりパターン印刷の手順は、Windows 95、Windows 3.1、Macintoshともに、ほぼ同じ手順でできます。以下の手順説明では、Windows95から実行する場合の画面を使用しています。

ステップ 1 「ユーティリティ」画面/ダイアログを開きます。

Windows :プリンタドライバの設定画面で「ユーティリティ」タブをクリックします。(8ページ)
Macintosh:印刷ダイアログで[ユーティリティ...]ボタンをクリックします。(21､22ページ)

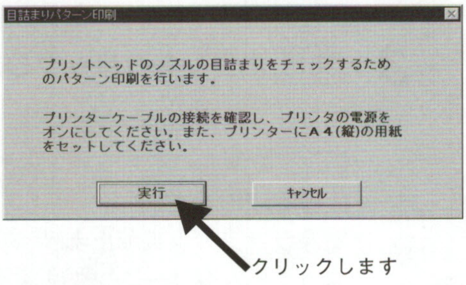
ステップ 2 [目詰まりパターン印刷]ボタンをクリックします。

[目詰まりパターン印刷]ダイアログボックスが表示されます。



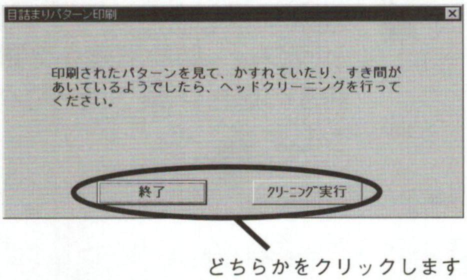
ステップ 3 プリンタの電源スイッチをオンにし、A4(縦)サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。

ステップ 4 [実行]ボタンをクリックします。



ステップ 5 印刷された目詰まりパターンの線がかすれたり消えていないかを確認します。

ステップ 6 問題がない場合は[終了]ボタンを、問題があった場合は[クリーニング実行]ボタンをクリックします。



●ヘッドクリーニング

クリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、次の手順に従ってクリーニングしてください。

クリーニングは、ユーティリティで行うことも本体のパネル操作で行うこともできます。

ユーティリティでのクリーニング方法

ポイント

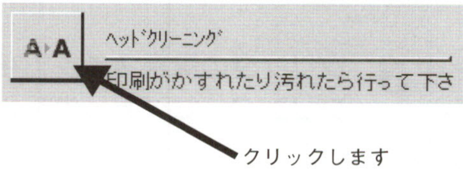
クリーニングの手順は、Windows 95、Windows 3.1、Macintosh ともに、ほぼ同じ手順でできます。以下の手順説明では、Windows95 から実行する場合の画面を使用しています。

ステップ **1** **「ユーティリティ」画面 / ダイアログを開きます。**

Windows :プリンタドライバの設定画面で「ユーティリティ」タブをクリックします。(8ページ)
Macintosh:印刷ダイアログで ユーティリティ... ボタンをクリックします。(21、22ページ)

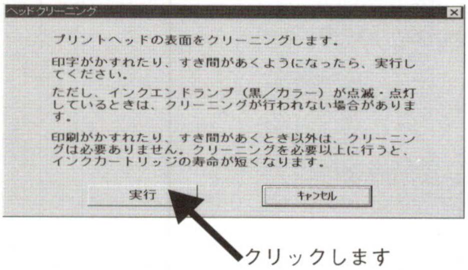
ステップ **2** **ヘッドクリーニング ボタンをクリックします。**

［ヘッドクリーニング］ダイアログボックスが表示されます。

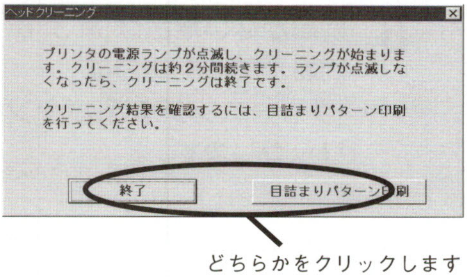


ステップ **3** **実行 ボタンをクリックします。**

プリンタの電源ランプが点滅し、クリーニングが実行されます。クリーニングは1～2分間続きます。
電源ランプの点滅が止まり、音がしなくなったら、クリーニングは終了です。



ステップ **4** **目詰まりパターン印刷 ボタンをクリックし、印刷結果を確認します。終了の場合は 終了 ボタンをクリックします。**



パネル操作でのクリーニング方法

ポイント

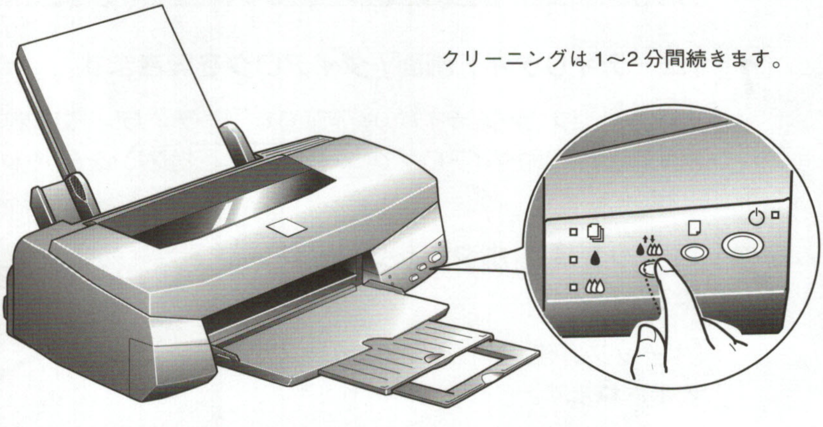
クリーニングは、インクエンドランプ（黒またはカラー）点滅、または点灯時は行えません。そのような場合は、まずインクカートリッジを交換してください。
本書「インクカートリッジの交換」69 ページ

ステップ **1** **インクエンドランプ（黒またはカラー）が点滅、または点灯していないことを確認します。**

インクエンドランプが点滅または点灯している場合は、クリーニングは行えません。インクカートリッジを交換してエラー表示を解除してください。

ステップ **2** **インクメンテナンス（）スイッチを3秒間押したままにします。**

クリーニングが実行されます。クリーニングは 1～2 分間続き、その間、電源ランプが点滅します。電源ランプの点滅が止まり、音がしなくなったら、クリーニングは終了です。



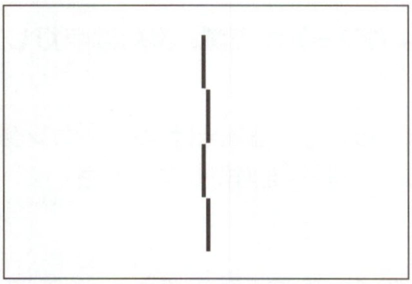
注意

印刷がかすれたりすき間があくとき以外は、クリーニングは必要ありません。必要以上にクリーニングを行うと、インクカートリッジの寿命が短くなります。

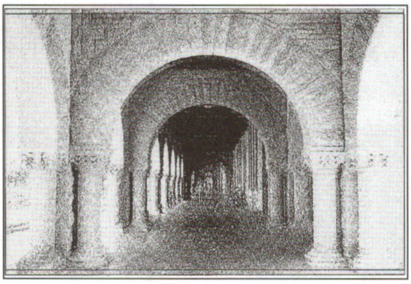
●ギャップ調整

印刷していて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整はギャップ調整ユーティリティを起動して実行します。
ギャップ調整は次のような現象が発生した場合に、調整を行ってください。

モノクロの縦の罫線がずれる



写真などの印刷結果がピントがぼけたようになる



ポイント

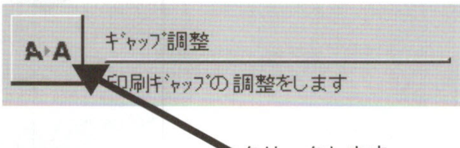
ギャップ調整の手順は、Windows 95、Windows 3.1、Macintosh ともに、ほぼ同じ手順でできます。ステップ3以降の手順説明では、Windows 95 から PM-700C の調整を行う場合の画面を使用しています。

ステップ **1** 「ユーティリティ」画面 / ダイアログを開きます。

Windows :プリンタドライバの設定画面で「ユーティリティ」タブをクリックします。(8ページ)
Macintosh:印刷ダイアログで [ユーティリティ...] ボタンをクリックします。(21、22ページ)

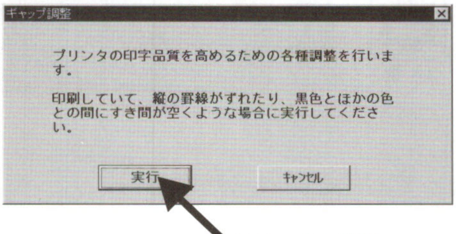
ステップ **2** [ギャップ調整] ボタンをクリックします。

[ギャップ調整] ダイアログボックスが表示されます。



クリックします

ステップ **3** [実行] ボタンをクリックします。

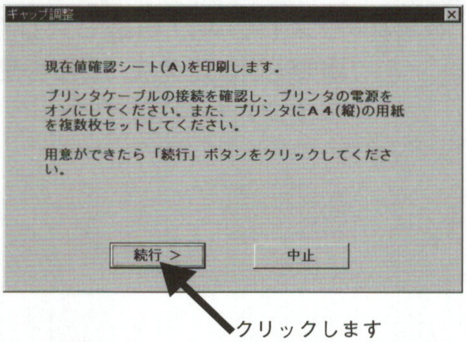


クリックします

ステップ **4** **プリンタの電源スイッチをオンにし、A4（縦）サイズの普通紙を複数枚プリンタにセットします。**

ステップ **5** **[続行>] ボタンをクリックします。**

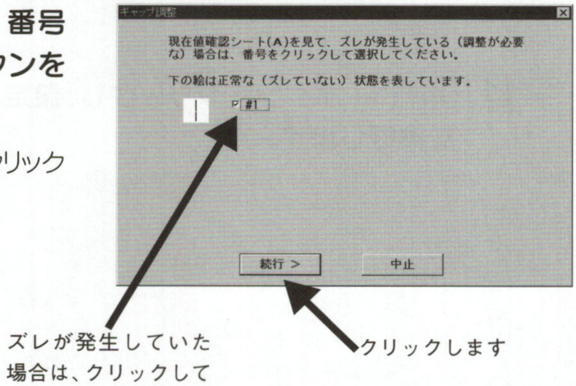
プリンタは、現在値確認シート (A) を印刷します。



ステップ **6** **印刷された現在値確認シート(A)の中から、ズレが発生している線があるかを確認します。**

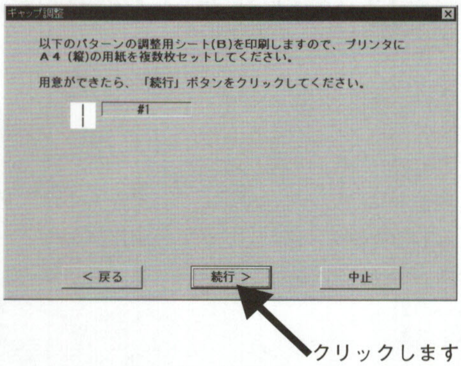
ステップ **7** **ズレが発生していた場合は、番号（# 1）を選択し、[続行>] ボタンをクリックします。**

ズレがない場合は、[中止] ボタンをクリックして終了します。



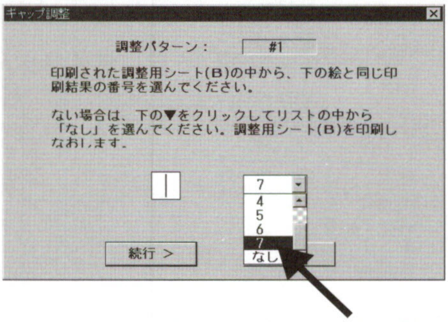
ステップ **8** **選択した項目を確認し、[続行>] ボタンをクリックします。**

プリンタは、調整用シート (B) を印刷します。



ステップ **9** 印刷した調整用シート(B)の中から、最もズレが少なく直線的に見える番号を確認します。

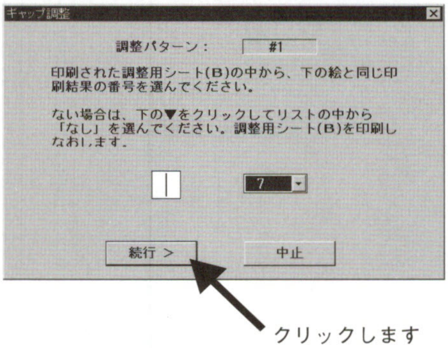
ステップ **10** リストの中から最もズレが少なく直線的に見えた番号を選択（クリック）します。



クリックします（No.7の場合）

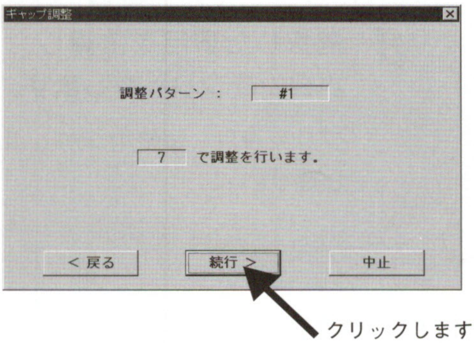
> **ポイント**
> 「ズレが少なく直線的に見える番号」が1つも見当たらない場合は「なし」を選択して画面の指示に従ってください。

ステップ **11** 続行> ボタンをクリックし、設定を実行します。



クリックします

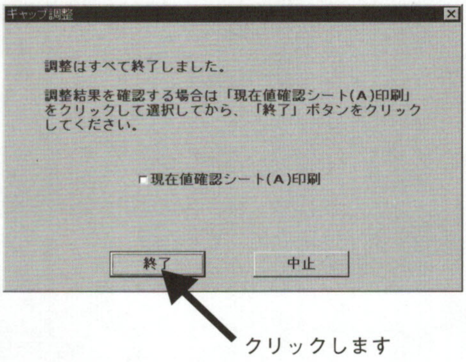
ステップ **12** 続行> ボタンをクリックします。



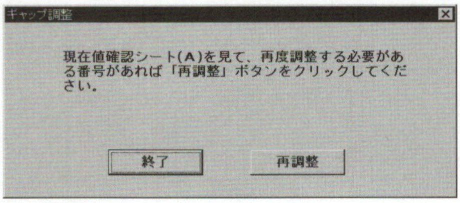
クリックします

ステップ 13 終了 ボタンをクリックします。

調整結果を確認する場合は「現在値確認シート（A）印刷」のチェックボックスをクリックしてから 終了 ボタンをクリックしてください。

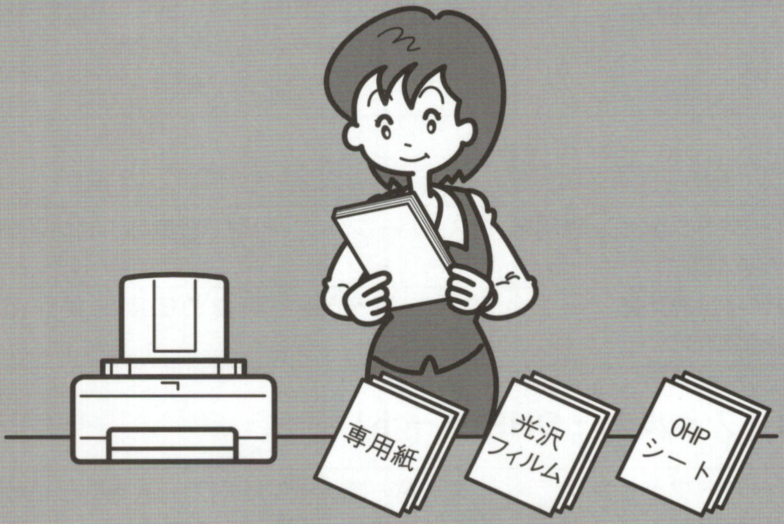


「現在値確認シート（A）印刷」のチェックボックスがチェックされた状態で終了すると、右の画面が表示されます。
シート（A）を見て、再度調整する必要がある場合は 再調整 ボタンをクリックします。



これでギャップ調整は終了です。

普通紙・専用紙への印刷



ここでは、

普通紙・専用紙へ印刷する前に

普通紙・専用紙への印刷

特殊用紙への印刷

について説明しています。

●普通紙・専用紙へ印刷する前に

用紙の種類や品質は印刷品質に大きく影響します。ご使用前に次の説明を必ずお読みいただき、適した用紙をご使用ください。

使用できる用紙の種類

普通紙

事務用普通紙	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙、または再生紙をお使いください。 （坪量：64〜90g/㎡、紙厚：0.08〜0.11mm）

専用紙

スーパーファイン専用紙 （MJA4SP1）	スーパーファイン印刷で最良の印刷結果が得られます。
ファイン専用紙 （MJA4SP2）	ファイン印刷で最良の印刷結果が得られます。

特殊用紙（フィルム・OHPシート）

スーパーファイン 専用光沢紙 （MJA4SP3）	スーパーファイン印刷で光沢をもった仕上がりが得られます。（材質は紙です。）
スーパーファイン 専用光沢フィルム （A4：MJA4SP6/ A6：MJA6CP1）	スーパーファイン印刷で写真のような光沢をもった仕上がりが得られます。（材質はフィルムです。）
専用OHPシート （MJOHPS1N）	特殊加工したOHPシートです。ファイン印刷でお使いください。
スーパーファイン 専用ラベルシート （MJA4SP5）	お好きな場所へ貼りつける事ができるラベルシートです。印刷後にお好きな形に切ってお使いいただくこともできます。スーパーファイン印刷でお使いください。

各専用紙の型番は'96年11月1日現在のものです。最新の型番については、FAXインフォメーションの資料にてご確認ください。（資料番号：3555）
FAXインフォメーションについての詳細は、本書の裏表紙にてご案内しております。

使用時のご注意

普通紙

- 一般の室温環境下（温度15～25°C、湿度40～60%）で使用してください。
- 一度にセットできる普通紙の量は、左側のエッジガイドの▼マークまでです。

専用紙

- 一般の室温環境下（温度15～25°C、湿度40～60%）で使用してください。
- 一度にセットできる専用紙の量は、エッジガイドの▼マークまでです。
- 専用紙には、裏表があります。印刷面（表）は裏面より白いため区別できます。オートシートフィーダには、印刷面（より白い面）を上に向けてセットしてください。
- 用紙の印刷面には触れないように注意してください。手についた水分や油が、印刷品質に影響します。

光沢紙

- 光沢紙は、一般の室温環境下(温度:15～25℃、湿度:40～60%)で印刷してください。
- 一度にセットできる光沢紙の量は、20枚までです
- 光沢紙をセットするときは、必ず一番最後に補助シート（同梱品）を添えてセットしてください。
- 光沢紙の印刷面には触れないように注意してください。手についた水分や油が、印刷品質に影響します。
- 印刷が終了した光沢紙は1枚ずつ取り出して、完全に乾くまで平らな場所に置いてください。

光沢フィルム

- 光沢フィルムは、一般の室温環境下（温度：15～25℃、湿度：40～60%）で印刷してください。
- 光沢フィルムをセットするときは、裏側に1枚普通紙を重ねた状態で、1枚（一組み）ずつセットしてください。複数の光沢フィルムを同時にセットすることはできません。
- 光沢フィルムの印刷面には触れないように注意してください。手についた水分や油が、印刷品質に影響します。
- 印刷が終了した光沢フィルムは1枚ずつ取り出して、完全に乾くまで平らな場所に置いてください。

OHPシート

- 用紙サポートを、背面側（OHP側）に差し変えてください。
- OHPシートは、一般の室温環境下（温度：15～25℃、湿度：40～60%）で印刷してください。
- 最高の印刷結果を得るためには、包装紙を開けてから、6ヵ月以内のものを使用してください。未使用のOHPシートは、もとの包装に戻して保管してください。高温多湿および直射日光が当たる場所は避けてください。
- 一度にセットできるOHPシートの量は、30枚までです。
- OHPシートをセットするときは、必ず一番最後に普通紙を添えてください。
- OHPシートの印刷面には触れないように注意してください。手についた水分や油が、印刷品質に影響します。
- 印刷が終了したOHPシートは1枚ずつ取り出して、完全に乾くまで平らな場所に置いてください。

ラベルシート

- 1枚ずつセットして印刷してください。複数枚同時にセットすると、正しく紙送りされないことがあります。
- EPSONのロゴマークが印刷されていない面がラベル面です。
- シートが反っていると、正しく紙送りされないことがあります。その場合は、反りを修正してからセットしてください。
- ラベル面を上に向けて置いたときに、端面が5mm以上浮き上がらないように修正してください。
- 使用しないラベルシートは袋に入れ、高温・高湿・直射日光をさけて平らな場所に保管してください。

保管時のご注意

- 直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- 開封後の専用紙や特殊用紙は、袋に戻して保管してください。

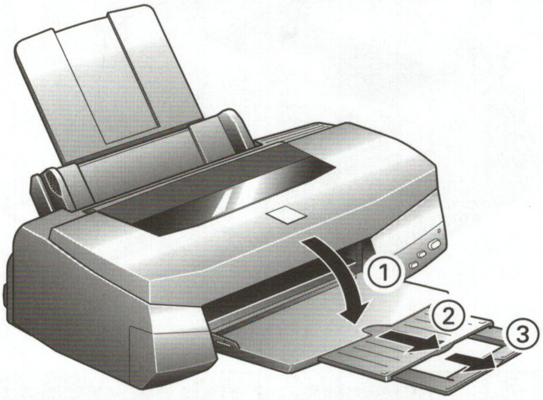
クリーニングシートについて

- 専用紙に同梱されている「クリーニングシート」は、本プリンタでご使用にならないでください。

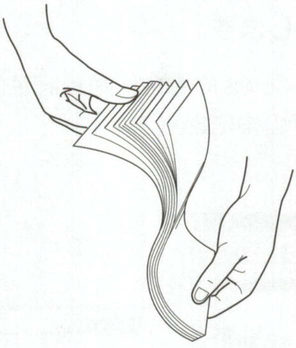
●普通紙・専用紙へ印刷します

ここでは、普通紙・スーパーファイン専用紙・ファイン専用紙への印刷手順を説明します。

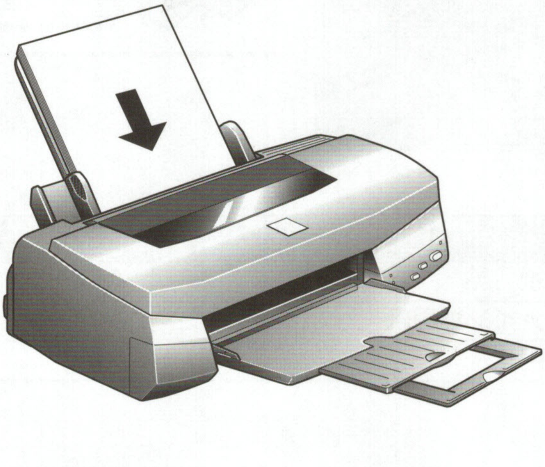
ステップ **1** **排紙トレイを手前に倒し、排紙サポートを引き出します。**



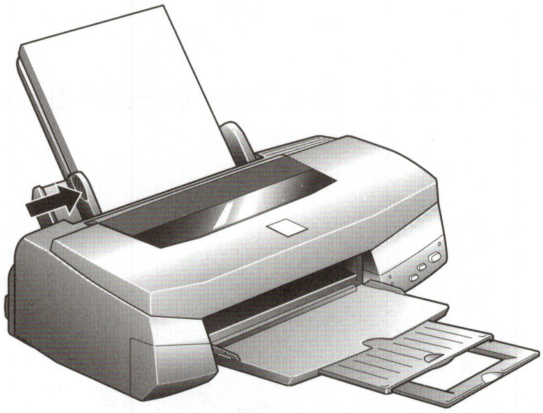
ステップ **2** **用紙を図のように良くさばき、端を揃えます。**



ステップ **3** **印刷する面を手前にして、用紙を右側のエッジガイドに沿わせてセットします。**



ステップ 4 左側のエッジガイドをセットした用紙の側面に合わせます。



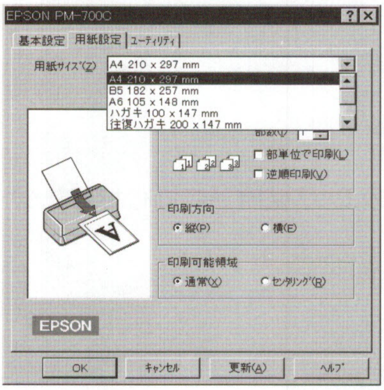
ポイント

左側のエッジガイドは、用紙の側面にすき間なく当ててください。すき間があいていた場合、正常に紙送りされないことがあります。

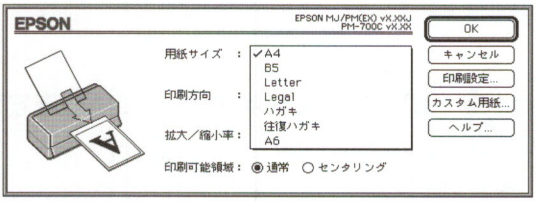
ステップ 5 [用紙サイズ] を選択します。

[用紙サイズ] は、Windows の場合「用紙設定」画面の中に、Macintosh の場合「用紙設定」ダイアログの中にあります。

Windows



Macintosh

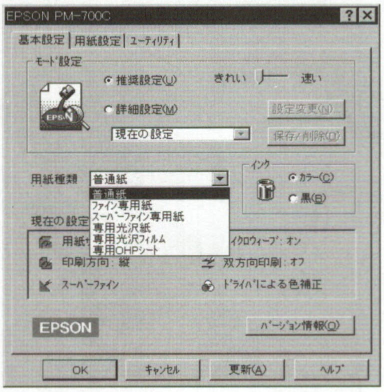


用紙	[用紙サイズ]
事務用普通紙	A4・B5・A6
スーパーファイン専用紙	A4
ファイン専用紙	A4

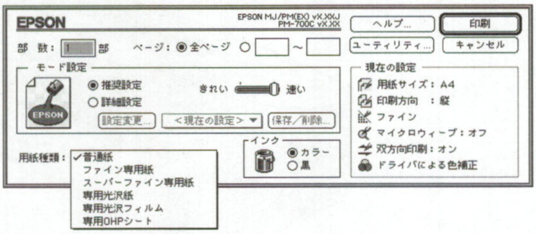
ステップ **6** **[用紙種類] を選択します。**

[用紙種類] は、Windowsの場合「基本設定」画面の中に、Macintoshの場合「印刷」ダイアログの中にあります。

Windows



Macintosh



用紙	[用紙種類]
事務用普通紙	普通紙
スーパーファイン専用紙	スーパーファイン専用紙
ファイン専用紙	ファイン専用紙

ステップ **7** **印刷を実行すると自動的に用紙が給紙されます。**

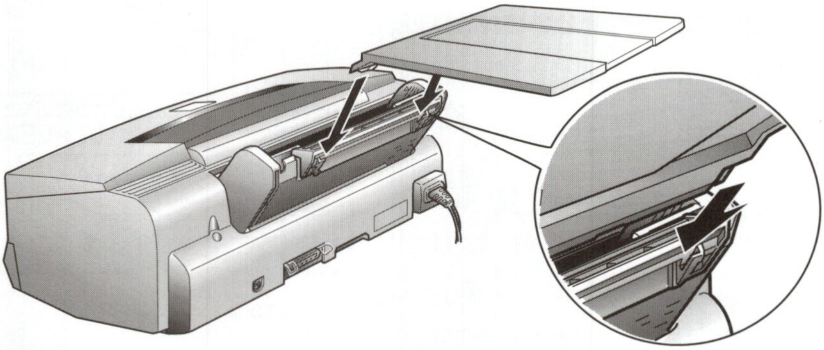
Windowsの場合は、設定画面を閉じて、印刷を実行します。
Macintoshの場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

普通紙・専用紙へ印刷します

●特殊用紙へ印刷します

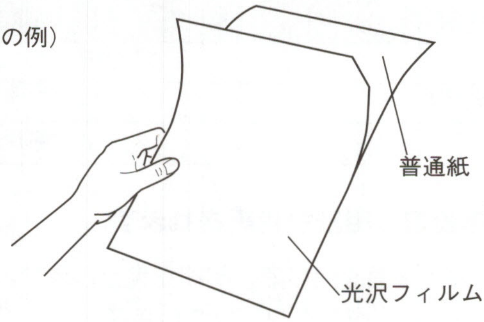
ここでは、特殊用紙（光沢紙・光沢フィルム・OHP シート・ラベルシート）への印刷手順を説明します。

OHP シートに印刷する場合は、用紙をセットする前に、用紙サポートを背面側（OHP 側）に差し替えて、水平な状態にしてください。



ステップ 1 裏面に普通紙または補助シートを添えて重ねます。

（光沢フィルムの例）



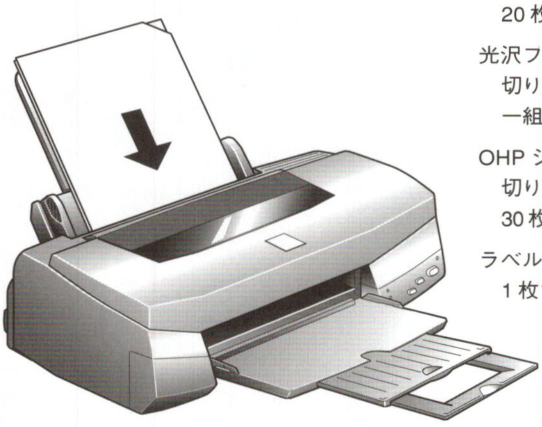
光沢紙
一番最後に補助シートを重ねてください。

光沢フィルム
1 枚ずつ裏側に普通紙（A6 の場合は補助シート）を重ねてください。

OHP シート
一番最後に普通紙を重ねてください。

ラベルシート
裏側に何も重ねる必要はありません。

ステップ 2 印刷する面を手前にして、特殊用紙を右側のエッジガイドに沿わせてセットします。



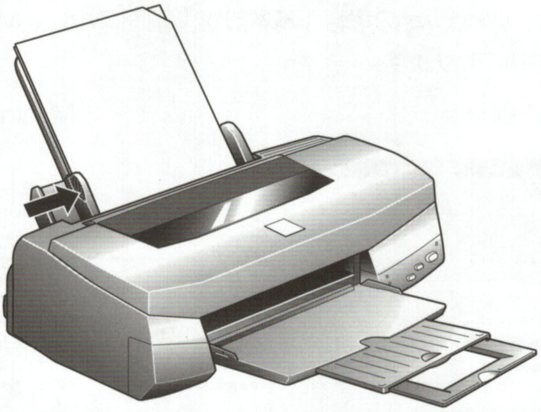
光沢紙
20 枚までセットできます。

光沢フィルム
切り落とされている角を右上にして、一組だけセットしてください。

OHP シート
切り落とされている角を右上にして、30 枚までセットできます。

ラベルシート
1 枚ずつセットしてください。

ステップ **3** **左側のエッジガイドをセットした特殊用紙の側面に合わせます。**



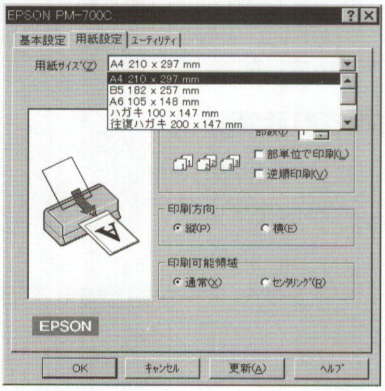
ポイント

> **左側のエッジガイドは、用紙の側面にすき間なく当ててください。すき間があいていた場合、正常に紙送りされないことがあります。**

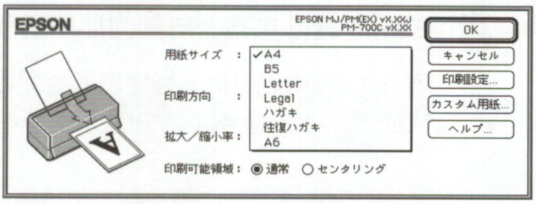
ステップ **4** **［用紙サイズ］を選択します。**

［用紙サイズ］は、Windows の場合「用紙設定」画面の中に、Macintosh の場合「用紙設定」ダイアログの中にあります。

Windows



Macintosh

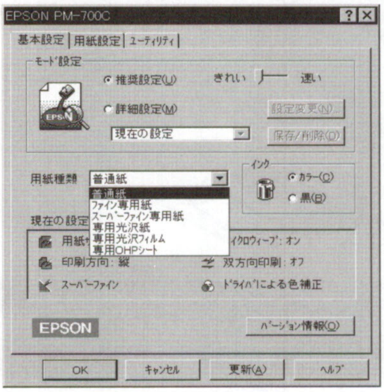


用紙	［用紙サイズ］
スーパーファイン専用光沢紙	A4
スーパーファイン専用光沢フィルム	A4・A6
専用 OHP シート	A4
スーパーファイン専用ラベルシート	A4

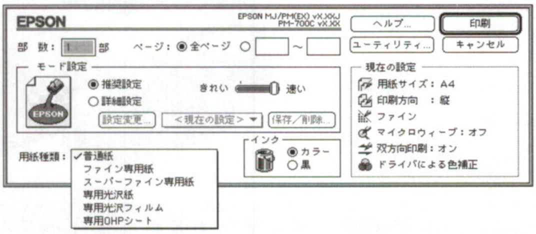
ステップ 5 ［用紙種類］を選択します。

［用紙種類］は、Windowsの場合「基本設定」画面の中に、Macintoshの場合「印刷」ダイアログの中にあります。

Windows



Macintosh



用紙	［用紙種類］
スーパーファイン専用光沢紙	専用光沢紙
スーパーファイン専用光沢フィルム	専用光沢フィルム
専用OHPシート	専用OHPシート
スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン専用紙

ステップ 6 印刷を実行すると自動的に用紙が給紙されます。

Windowsの場合は、設定画面を閉じて、印刷を実行します。
Macintoshの場合は、印刷ボタンをクリックします。

光沢フィルム・ラベルシートの場合は、1ページずつページ指定をして印刷を行ってください。

ステップ 7 印刷が終了した特殊用紙は1枚ずつ取り出して、重ねないように置いておきます。

ポイント

- 印刷後に特殊用紙を保管する場合は、特殊用紙と特殊用紙の間に普通紙をはさんでおいてください。
- OHP側へ用紙サポートを差し込んだ場合は、必ず上側の差し込み口に戻してください。

ハガキへの印刷



ここでは、

ハガキへ印刷する前に

ハガキへの印刷

アジャストレバーの設定

年賀状を印刷してみよう！

について説明しています。

●ハガキへ印刷する前に

ハガキの種類や品質は印刷品質に大きく影響します。ご使用前に次の説明を必ずお読みいただき、適したハガキをご使用ください。

使用できるハガキの種類

官製ハガキ

官製ハガキ	通常の官製ハガキをお使いください。 （サイズ：100mm × 147mm、紙厚：0.23mm 以下）
往復ハガキ	用紙中央に折り目がないものを使用してください。 （サイズ：200mm × 147mm、紙厚：0.23mm 以下）

専用ハガキ

スーパーファイン専用ハガキ（MJSP5）	スーパーファイン印刷で最良の印刷結果が得られます。
スーパーファイン専用光沢ハガキ（MJHSP3）	スーパーファイン印刷で光沢をもった仕上がりが得られます。

プリンタドライバの設定

印刷を行う前に、プリンタドライバの設定で〔用紙種類〕と、〔用紙サイズ〕を変更する必要があります。

ポイント

［用紙種類］は、Windowsの場合「基本設定」画面の中に、Macintoshの場合「印刷」ダイアログの中にあります。

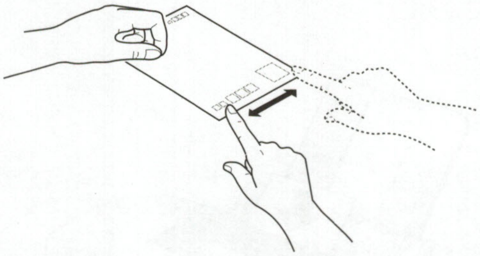
［用紙サイズ］は、Windowsの場合「用紙設定」画面の中に、Macintoshの場合「用紙設定」ダイアログの中にあります。

用紙	[用紙種類]	[用紙サイズ]
官製ハガキ（通信面・宛名面）	普通紙	ハガキ
官製往復ハガキ（通信面・宛名面）	普通紙	往復ハガキ
ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ専用ハガキ（通信面）	ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ専用紙	ハガキ
ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ専用ハガキ（宛名面）	普通紙	ハガキ
ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ専用光沢ハガキ（通信面）	専用光沢紙	ハガキ
ｽｰﾊﾟｰﾌｧｲﾝ専用光沢ハガキ（宛名面）	ファイン専用紙	ハガキ

使用時のご注意

- 一般の室温環境下（温度 15～25° C、湿度 40～60%）で使用してください。
- 一度にセットできるハガキの量は、30 枚まで（専用光沢ハガキは 20 枚）です。
- 光沢ハガキをセットするときは、必ず一番最後に補助シート（プリンタ同梱品またはタイプ B の補助シート）を添えてセットしてください。
- スーパーファイン専用ハガキをセットするときは、必ずハガキのパックに入っている台紙（『補助シート』が入っている場合はそのシート）をハガキの一番最後に重ねて、プリンタにセットしてください。
- ハガキをプリンタの内部に押し込まないでください。正常に給紙できないことがあります。
- 市販の再生紙ハガキなどを使用すると、正常に給紙できないことがあります。官製ハガキ、または専用ハガキを使用してください。
- ハガキは必ず縦方向にセットしてください。横方向にセットすると、給紙不良を起こす場合があります。
- 往復ハガキは、通常のハガキ（縦方向）を横に 2 枚並べた状態（方向）でセットしてください。
- 印刷品質が良くない場合は、アジャストレバーを<+>側へ倒して印刷してください。

  本書「アジャストレバーの設定」67 ページ
- 官製ハガキご使用時に、ハガキの縁にバリ（ハガキを切り分けたときの反り返し）がある場合は、下図のようにハガキ 1 枚ずつの縁を指で押さえてバリを取り除いてからセットしてください。バリが残っていると、正常に給紙できないことがあります



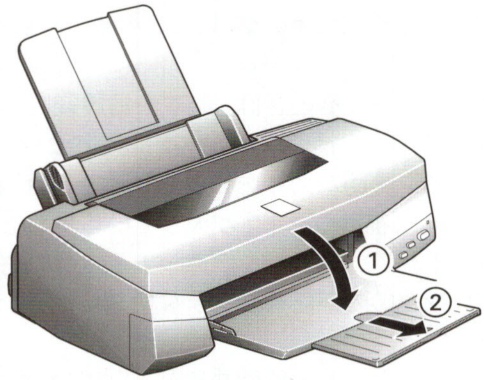
保管時のご注意

- 直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- ハガキを濡らさないでください。
- 使用しない専用ハガキは、袋に戻して保管してください。

●ハガキへ印刷します

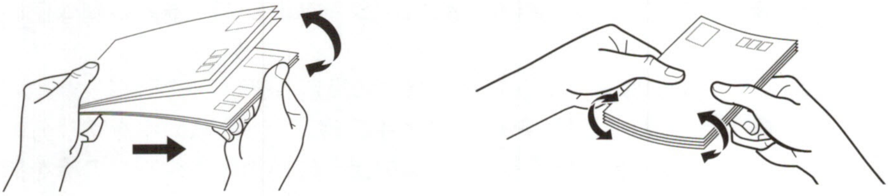
ここでは、ハガキへの印刷手順を説明します。

ステップ **1** **排紙トレイを手前側に倒し、排紙サポートを引き出します。**

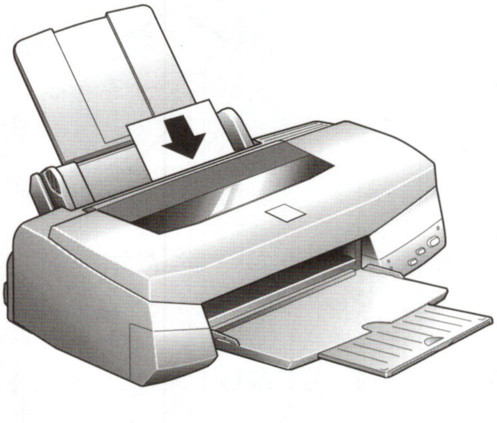


ステップ **2** **ハガキを図のように指で 3~4 回さばいてから、ソリをなくします。**

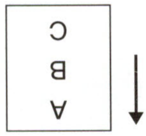
光沢ハガキの場合は、一番最後に補助シート（プリンタ同梱品またはタイプ B の補助シート）を添えてください。
スーパーファイン専用ハガキの場合は、ハガキのパックに入っている台紙（『補助シート』が入っている場合はそのシート）を一番最後に添えてください。



ステップ **3** **印刷する面を手前にして、ハガキを右側のエッジガイドに沿わせてセットします。**

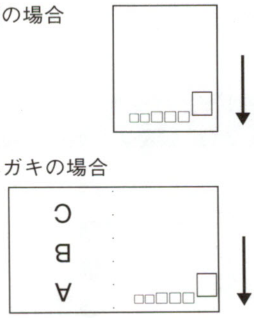


・通信面の場合

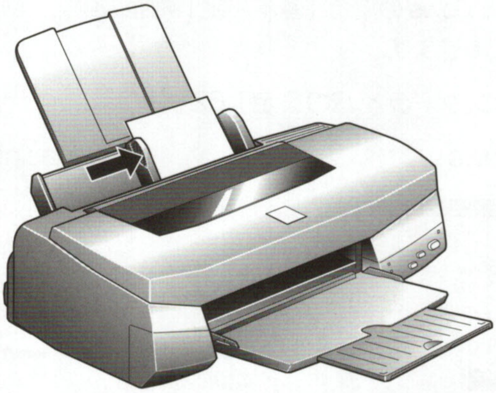


・宛名面の場合

・往復ハガキの場合



ステップ 4 左側のエッジガイドをセットしたハガキの側面に合わせます。



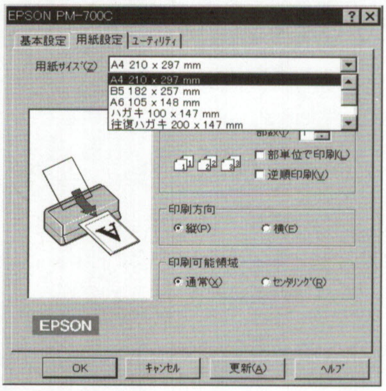
ポイント 左側のエッジガイドは、ハガキの側面にすき間なく当ててください。すき間があいていた場合、正常に紙送りされないことがあります。

ステップ 5 プリンタドライバの［用紙サイズ］の項目で「ハガキ（100 × 147mm）」または「往復ハガキ（200 × 147mm）」を選択します。

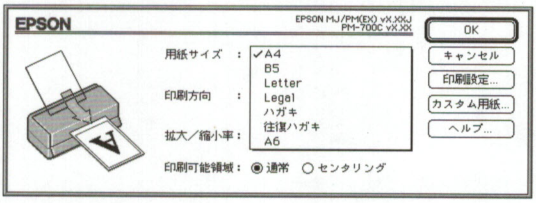
［用紙サイズ］は、Windowsの場合「用紙設定」画面の中に、Macintoshの場合「用紙設定」ダイアログの中にあります。

本書「プリンタドライバの設定」62ページ

Windows



Macintosh



ステップ **6** **[用紙種類] を選択します。**

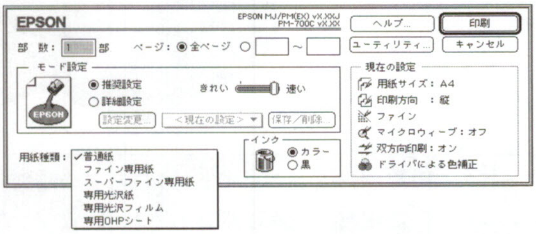
[用紙種類] は、Windowsの場合「基本設定」画面の中に、Macintoshの場合「印刷」ダイアログの中にあります。

☞本書「プリンタドライバの設定」62ページ

Windows



Macintosh



ステップ **7** **印刷を実行すると自動的にハガキが給紙されます。**

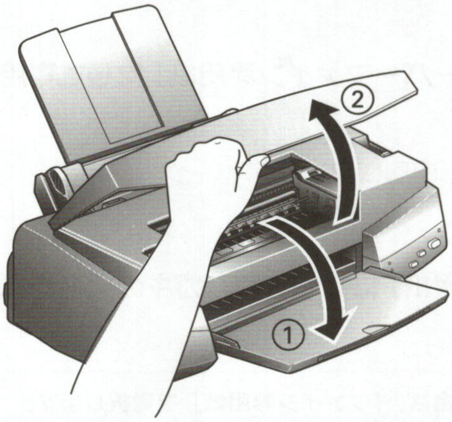
Windowsの場合は、設定画面を閉じて、印刷を実行します。
Macintoshの場合は、[印刷] ボタンをクリックします。

ステップ **8** **印刷が終了したハガキ（スーパーファイン専用光沢ハガキ）は、1枚ずつ取り出して、重ねないようにして乾かします。**

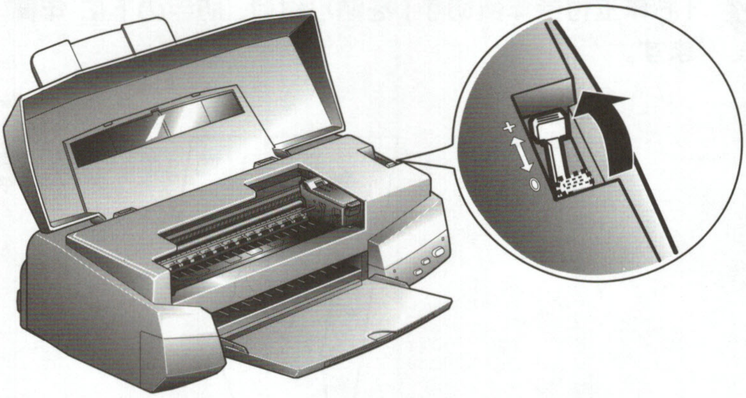
●アジャストレバーの設定

ハガキなどの厚い用紙に印刷するときは、印刷された文字がこすれて汚れる場合があります。このような場合には、アジャストレバーを＜＋＞側に設定してください。

ステップ **1** プリンタカバーを開けます。



ステップ **2** アジャストレバーを＜＋＞位置へ倒します。



ステップ **3** プリンタカバーを閉じます。

厚い用紙への印刷終了後、アジャストレバーの位置は＜0＞の位置へ戻してください。
アジャストレバーを＜＋＞位置のまま普通の厚さの用紙に印刷すると、文字がかすれる場合があります。

●年賀状を印刷してみよう！

通常の年賀状（官製ハガキ）はインクがにじみやすく、印刷品質に限界があります。
そこで、専用ハガキを使って美しい年賀状を作成してみましょう。

ステップ **1** **年賀状作成アプリケーションなどで、印刷するデータを作成します。**

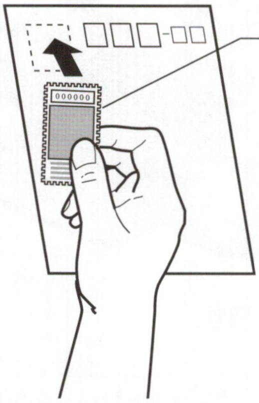
ステップ **2** **［用紙種類］を「スーパーファイン専用紙」にして専用ハガキの通信面に印刷します。**

☞本書「ハガキへ印刷します」64 ページ

ステップ **3** **［用紙種類］を「普通紙」にして専用ハガキの宛名面に送り先の住所を印刷します。**

専用光沢ハガキの場合は、「ファイン専用紙」を選択します。

ステップ **4** **「お年玉付き年賀切手」を貼り付け、切手の下に 年賀 と赤ペンで書き込みます。**



さあこれで、素敵な年賀状のできあがりです。通常の年賀状（官製ハガキ）を使用しなくても、立派な「お年玉付き年賀状」の誕生です！
さあ！郵便ポストへ投函しましょう！

インクカートリッジの交換



ここでは、

インクカートリッジ

インクカートリッジの交換方法

プリントヘッドの保護

について説明しています。

●インクカートリッジについて

インクカートリッジを交換する前に、インクカートリッジ使用上の注意を確認します。

使用上のご注意

- いったんインクカートリッジを取りつけた後は、次に交換するときまで、インクカートリッジ固定カバーを絶対に開けないでください。もし開けた場合、カートリッジにインクが残っていても、印刷できなくなる場合があります。
- インクカートリッジは、取りつけ直前に開封してください。開封した状態で長時間放置すると、印刷がかすれることがあります。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている期限までに使用してください。
- いったんインクカートリッジを取りつけた後は、6ヵ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは印刷品質が悪くなります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- インクが手などについてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入ったときは、直ちに水で洗い流してください。

保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。

交換時のご注意

- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インクカートリッジの交換作業は、速やかに行ってください。
インクカートリッジ固定カバーを開けたまま放置すると、プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。
- インクカートリッジ交換作業中は、プリンタの電源スイッチをオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。プリントヘッドが乾燥して印刷できなくなる場合があります。

●インクカートリッジを交換します

インクエンドランプが点滅したときは、インクカートリッジ内のインクが残り少ないことを示しています。インクが完全に無くなるまで印刷を続けることはできますが、早めに新しいインクカートリッジに交換してください。

注意

・インクカートリッジは、インクエンドランプが点滅または点灯しているとき以外は交換できません。強制的にインクカートリッジを交換したい場合は、「インクカートリッジの強制交換」を参照してください。

☞困ったときにお読みください「インクカートリッジの強制交換」24ページ

・インクカートリッジの当社純正品は、下記のとおりです。

黒　　：MJIC7 （MJIC4/MJIC8は使用できません）

カラー：PMIC1C（MJIC4C/MJIC7C/MJIC8Cは使用できません）

*1本製品に添付のWindows/Macintosh用プリンタドライバは、純正インクカートリッジのご使用を前提に色調整がなされています。

*2純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

・インクカートリッジのインクの補充は、絶対になさらないでください。正常に作動・印刷ができなくなるおそれがあります。

ステップ **1** インクカートリッジを袋から取り出し、黄色いテープをはがします。

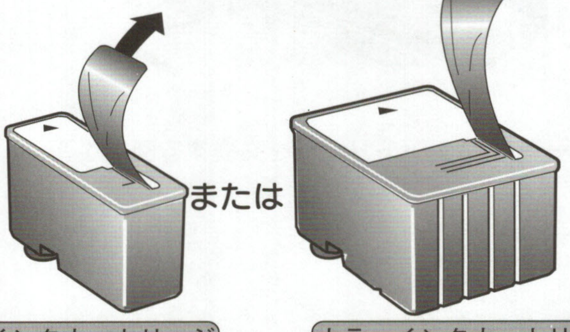
⚠注意

インクカートリッジを取り扱うときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。万一、目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。

注意

・インクカートリッジはプリントヘッドに取りつける直前に袋から出し、黄色いテープを必ずはがしてください。テープをはがさないままセットすると、そのカートリッジは使用できなくなります。

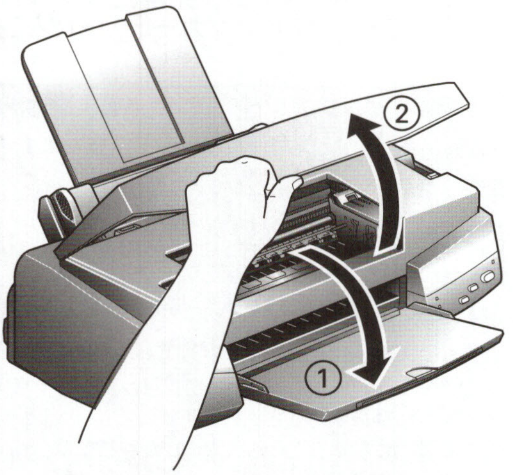
・▲マークの印刷されたラベルは、絶対にはがさないでください。



黒インクカートリッジ　　カラーインクカートリッジ

インクカートリッジを交換します

ステップ **2** **プリンタカバーを開けます。**

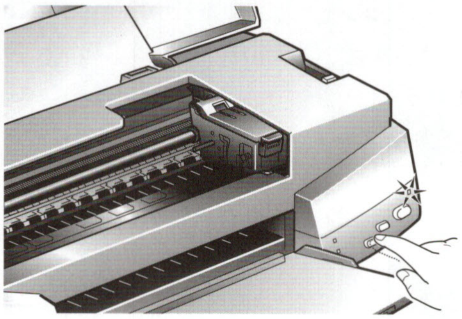


ステップ **3** **約3秒間 インクメンテナンス（ ） スイッチを押したままにします。**

プリントヘッドが、インクカートリッジ交換位置まで移動し、電源ランプが点滅します。

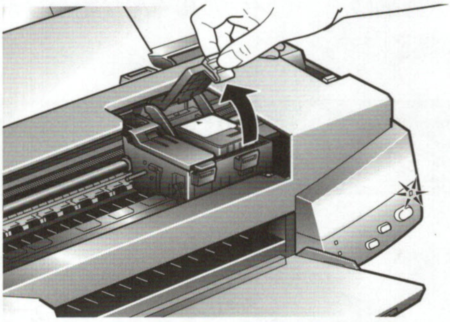
⚠ 注意

プリントヘッドがインクカートリッジ交換位置まで移動してから、約60秒放置すると、プリントヘッドは自動的に元の位置に戻ります。
指などをはさんでけがをしないようご注意ください。



（以降、カラーインクカートリッジを交換する例です。）

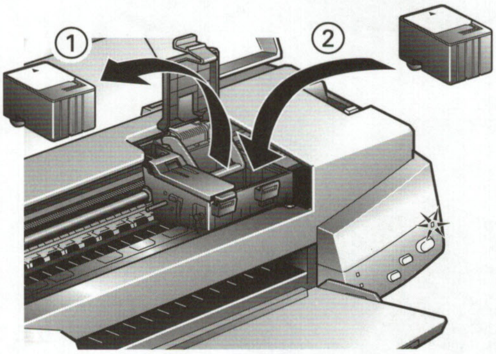
ステップ **4** インクカートリッジを交換する側の固定カバーを引き上げます。



・インクカートリッジを交換する側（インクエンドランプが点滅・点灯しているインク側）の固定カバーのみを開けてください。

ステップ **5** 古いインクカートリッジを取り出し、新しいインクカートリッジをセットします。

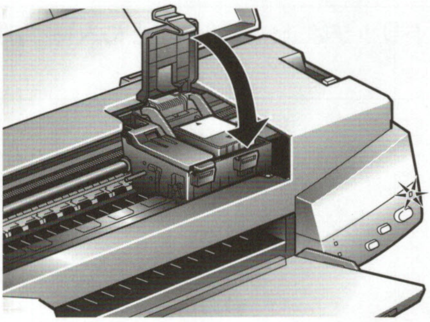
カートリッジの▲マークを固定カバー側に向けて取りつけます。このときはまだカートリッジが浮いていますが、無理に押し込まないでください。



ステップ **6** インクカートリッジが確実にセットされるように、固定カバーを手前に倒します。

注意

インクカートリッジをセットした後は、次に交換するときまで絶対に固定カバーを開けないでください。インクが残っていても印刷できなくなる場合があります。

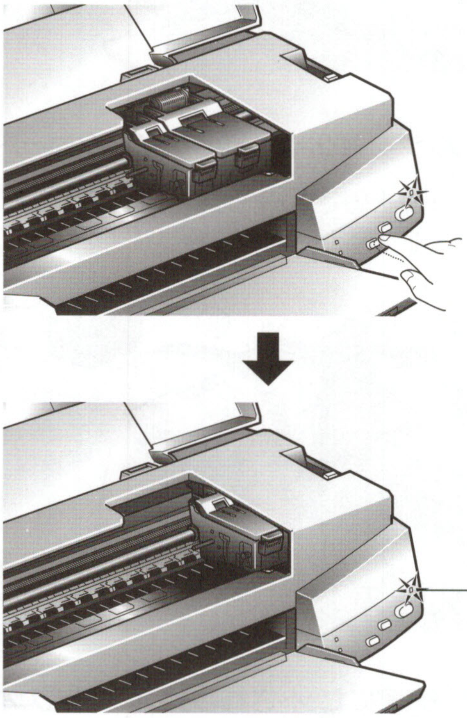


インクカートリッジを交換します

ステップ 7 インクメンテナンス( ) スイッチを押してインクを充てんします。

プリントヘッドが右へ移動して、インクの充てんが始まります。電源ランプの点滅が止まったら充てんは終了です。

注意 電源ランプが点滅中は、電源スイッチをオフにしないでください。充てんが完全に行われず、印刷ができなくなる場合があります。



プリントヘッドが右へ移動して、インクの充てんが始まります。

(インクの充てんには、1～2分かかります。1～2分の間、充てんと休止を繰り返します。)

電源ランプの点滅が止まったら充てんは終了です。

ステップ 8 プリンタカバーを閉じます。

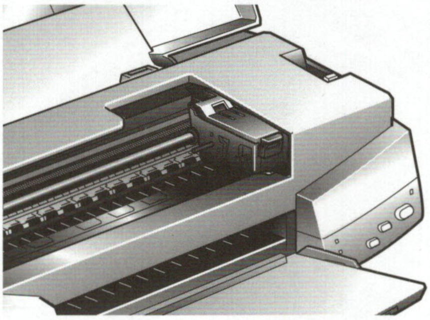
使用済みのインクカートリッジは、ビニール袋などに入れて、地域の条例にしたがって廃棄してください。

●プリントヘッドの保護

本プリンタには、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るために、キャッピングの機能があります。
キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ（フタ）をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

●印刷終了後（印刷データが途絶えて）、数秒経過したとき
●印刷停止状態になったとき

プリントヘッドが図のように右端近くにあれば、キャッピングされています。



インクカートリッジ交換位置より右側になります。

注意

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
- 用紙がつまったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源スイッチをオフにした場合は、再度電源スイッチをオンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源スイッチをオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。

オプションと消耗品について



ここでは、

オプションと消耗品

通信販売

について説明しています。

●オプションと消耗品の紹介

プリンタをより幅広くご活用いただくために、次のオプション（別売品）と消耗品をご用意しています。

インターフェイスケーブル

コンピュータと本プリンタを接続するためのケーブルには種類があります。
コンピュータや目的に応じたケーブルをご使用ください。

パラレルインターフェイスケーブル

	コンピュータ	接続ケーブル	備考
EPSON	PCシリーズ（98互換）	#8238	※1
	NOTEシリーズ（98互換）	市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください。	※1
	オフィスシリーズ/Vividy（DOS/V）	PRCB4	
NEC	PC-9821シリーズ（ハーフピッチ36ピン）	PRCB5N	
	PC-9801シリーズ デスクトップ（14ピン）	#8238	※1※2
	PC-9801シリーズ NOTE（ハーフピッチ20ピン）	市販品（ハーフピッチ20ピン）をご使用ください。	※1※2
東芝	J-3100シリーズ	PRCB4	
IBM	DOS/V仕様、PC XT/AT、PS/2	PRCB4	
各社	DOS/V仕様機	PRCB4	

※1：Windows95の双方向通信機能およびEPSONプリンタウインドウはパソコンの機能制限により対応できません。
※2：ハーフピッチ36ピンのPCにはPRCB5Nをご使用ください。

ポイント

- NEC PC-98LT/DOシリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/Nシリーズは NEC製の専用ケーブルを使用してください。

インクカートリッジ

名称	型番
黒インクカートリッジ	MJIC7
カラーインクカートリッジ	PMIC1C

専用紙

専用紙は、用途に合わせて以下のものを用意しております。ご購入前に、必ず用紙種類、サイズ、型番をご確認ください。

用紙種類	サイズ	型番
スーパーファイン専用紙	A4	MJA4SP1
ファイン専用紙	A4	MJA4SP2
スーパーファイン専用光沢紙	A4	MJA4SP3 ※1
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	MJA4SP5
スーパーファイン専用光沢フィルム	A4	MJA4SP6
	A6	MJA6CP1 ※2
専用 OHP シート	A4	MJOHPS1N
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	MJSP5
スーパーファイン専用光沢ハガキ	ハガキ	MJHSP3

※1：フォト・クオリティ・ペーパー
※2：カラリオ・フォト出力用紙

各専用紙の型番は'96 年 11 月 1 日現在のものです。最新の型番については、FAX インフォメーションの資料にてご確認ください。（資料番号：3555）
FAX インフォメーションについての詳細は、本書の裏表紙にてご案内しております。

●通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品がお近くの販売店で入手困難な場合は、以下の通信販売をご利用ください。

お申し込み方法

次ページの「消耗品FAX注文書」をコピーするか、切り取り、必要事項をご記入のうえご注文ください。また、お電話でのご注文もお受けしております。

エプソンOAサプライ株式会社
〒101 東京都千代田区外神田2-5-12 タカラビル2F
ファックス番号：0120-55-7765（フリーダイヤルFAX）
：03-3258-7690
ご注文電話番号：0120-25-1528（フリーダイヤル）
：03-3255-1528

お届け方法

宅配便の代金引き換えにてお届けしております。

お支払い方法

代金引き換え（商品引き換え払い）でお願いいたします。

※ 一部地域によって代金引き換えが不可能な場合等は、別途ご相談させていただきます。

お得な料金システム

- 商品合計金額が1万円未満の場合・・・商品代金＋送料（1000円）
- 商品合計金額が1万円以上の場合・・・商品代金のみ

※ 送料は代引手数料を含み、全国一律1000円です。
※ 上記金額にそれぞれ別途消費税がかかります。
※ 配送は国内に限らせていただきます。

●消耗品 FAX 注文書

エプソン OA サプライ株式会社行

ファックス番号：0120-55-7765（フリーダイヤルFAX）
：03-3258-7690

発注日　　年　月　日

* 恐れ入りますが、空欄にご希望の商品名、金額等をご記入ください

会社名／お名前
ご住所 〒　　－ 電話番号 TEL：

品名・型番	数量	単価	金額
	商品金額合計		

送　料	
消費税	
お支払い金額合計	

付録

ここでは、

- プリンタを再輸送するときは
- プリンタのお手入れ
- プリンタ接続先の設定
- プリンタドライバの削除
- プリンタドライバのバージョンアップ
- プリンタの仕様
- 用語

について説明しています。

●プリンタを再輸送するときは

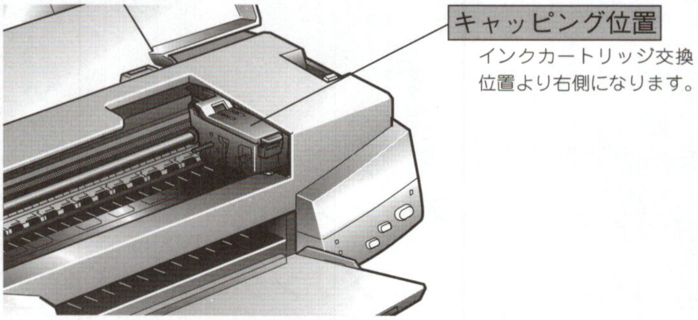
プリンタを再輸送するときは、プリンタを衝撃などから守るために十分に注意して梱包してください。

ステップ **1** **プリンタから用紙を取り除きます。**

用紙がプリンタ内に残っている場合は、給紙/排紙( ) スイッチを押して排出します。オートシートフィーダにセットされている用紙があれば、取り除きます。

ステップ **2** **プリンタカバーを開け、プリントヘッドが右端のキャッピング位置にあることを確認します。**

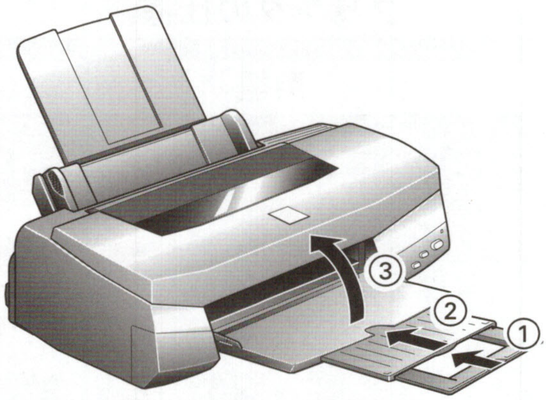
キャッピングされていない状態で電源をオフにしてしまった場合は、いったん電源スイッチをオンにして、プリントヘッドがキャッピング位置に移動したことを確認してから、再度オフにしてください。



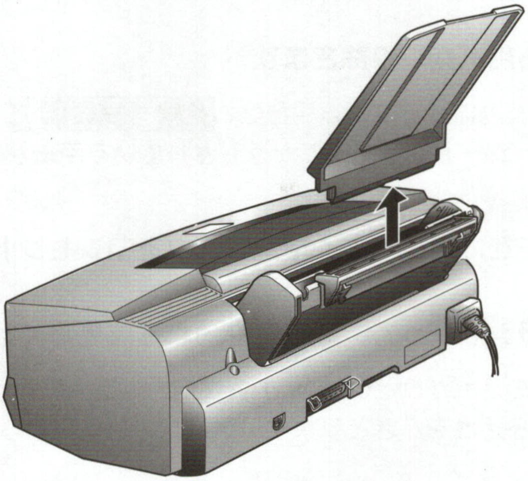
注意

インクカートリッジは、絶対に取りはずさないでください。

ステップ **3** **排紙トレイを収納し、最初の状態に戻します。**



ステップ **4** 用紙サポートを取りはずします。



ステップ **5** 電源プラグをコンセントから抜き、インターフェイスケーブルをプリンタから取りはずします。

ステップ **6** 梱包材を取りつけ、プリンタを水平に梱包箱に入れます。

注意

・輸送の際には、インクカートリッジは絶対に取りはずさないでください。
・プリンタの輸送時には、上下を逆にしないでください。
・プリンタ輸送後に印刷の不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

本書「ヘッドクリーニング」44ページ

●プリンタのお手入れ

プリンタをいつでも良い状態で使用できるように、定期的に（1年に数回は）プリンタのお手入れをしてください。

ステップ **1** **プリンタから用紙を取り除きます。**

用紙がプリンタ内に残っている場合は、給紙/排紙（ ）スイッチを押して排出します。オートシートフィーダにセットされている用紙があれば、取り除きます。

ステップ **2** **電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。**

ステップ **3** **柔らかいブラシを使って、ほこりや汚れを注意深く払います。**

プリンタ外面の汚れがひどい時は、中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に、乾いた柔らかい布で水気をふきとります。

注意

プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉めた状態でふいてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートする恐れがあります。

ステップ **4** **プリンタ内部がインクで汚れた場合は、よく絞った布でふきとります。**

⚠注意

プリンタ内部には、ギザローラーなどの突起物がありますので、けがをしないよう注意してふいてください。

注意

・ベンジン、シンナー、アルコール等の揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形する恐れがあります。
・プリンタメカニズムや電気部品に水がかからないように、注意深く扱ってください。
・硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷つけることがあります。
・プリンタ内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタメカニズムが故障する恐れがあります。潤滑油が必要と思われる場合は、エプソンサービスセンターにご相談ください。
*サービスセンターのご相談先は裏表紙にあります。

●プリンタの接続先の設定

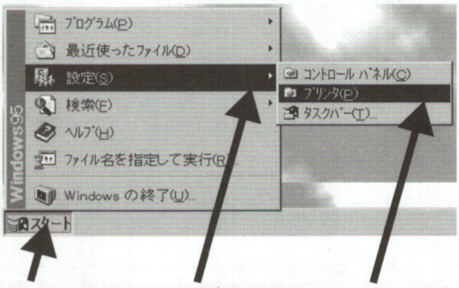
プリンタを接続しているコンピュータ側のポート(*1)の設定を、必要に応じて変更します。コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、組み込んだままの設定で使用できますので変更は不要です。
ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。

ポイント

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。
プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能設定を確認してください。

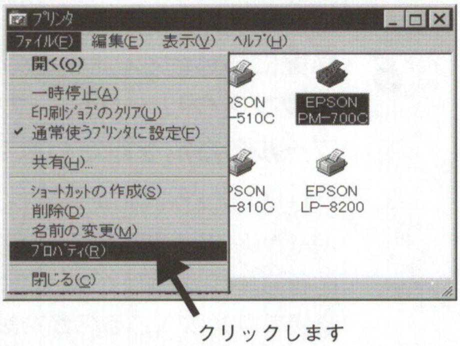
Windows95 での設定手順

ステップ **1** **画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定 (S)」をポイント(*2) します。次に「プリンタ (P)」をクリックします。**



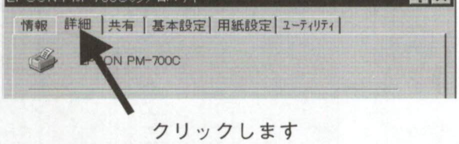
ステップ **2** **EPSON PM-700C のアイコンをクリックし、「ファイル (F)」メニュー内の「プロパティ (R)」をクリックします。**

[EPSON PM-700C のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。ここで「ファイル (F)」メニュー内の「通常使うプリンタに設定 (F)」をクリックするとPM-700C が、通常使うプリンタとなります。



ステップ **3** **「詳細」のタブをクリックします。**

[詳細] メニューが表示されます。

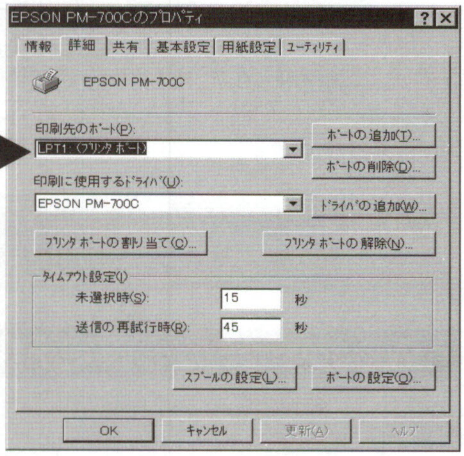


*1 ポート　：プリンタ、モデムなどの周辺機器をコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。
*2 ポイント：マウスカーソルを合わせることで、ボタンを押す必要はありません。

ステップ 4 印刷先のポート (P) を設定します。

印刷先のポート (P) には、プリンタが接続されているポートまたはネットワークプリンタのパスが表示されています。

接続先を変更するには、一覧のポートをクリックするか、ポートの追加ボタンをクリックします。



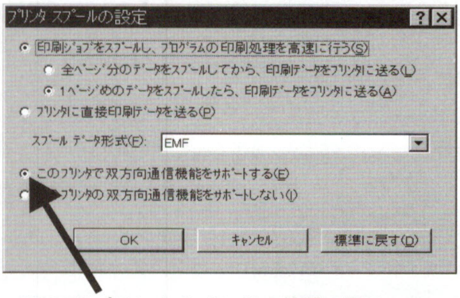
ポイント

[詳細] メニューでは、印刷タイムアウトの設定が行えます。通常は標準設定のままで使用しますが、印刷データが複雑な場合やネットワークなど複数のコンピュータで共有している場合、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト設定 (I)、特に「送信の再試行時 (R)」の時間を長く設定してください。

その他の機能の説明は、画面右上の ? をクリックし、目的の項目をクリックすると、ポップアップウィンドウに表示されます。

ステップ 5 必要に応じて スプールの設定 (L) ボタンをクリックし、プリンタスプールの方法を設定します。

[プリンタスプールの設定] ダイアログボックスには、印刷データのスプールを行って印刷処理を高速に行うのか、直接プリンタへ送るのかを設定する他に、このプリンタで双方向通信機能をサポートするのか、しないのかを設定できます。



EPSONプリンタウインドウ使用の際は、設定します。

ポイント

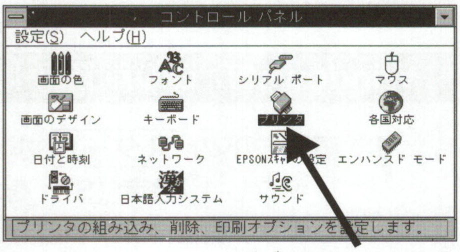
本製品に添付のEPSON プリンタウインドウは、双方向通信機能により動作可能なユーティリティのため、使用する場合は、必ず「このプリンタで双方向通信機能をサポートする (E)」をクリックしてください。

本書「EPSON プリンタウインドウ (Windows95 版)」36 ページ

Windows3.1 での設定手順

ステップ **1** **「コントロールパネル」内の「プリンタ」アイコンをダブルクリックします。**

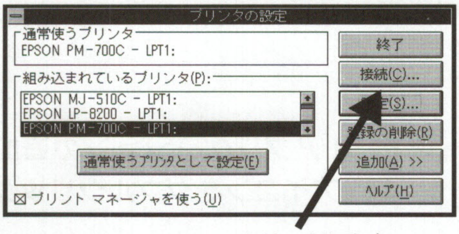
［プリンタの設定］ダイアログボックスが表示されます。



ダブルクリックします

ステップ **2** **EPSON PM-700Cが選択されていることを確認し、接続 (C) ... ボタンをクリックします。**

［プリンタの接続］ダイアログボックスが表示されます。

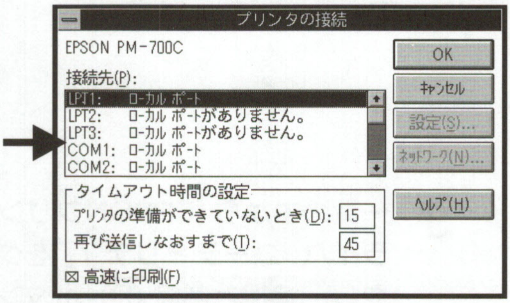


クリックします

ステップ **3** **接続先 (P) のポートを設定します。**

接続先 (P) の一覧には、プリンタが接続されているポートが表示されています。

接続先を変更するには、一覧のポートをクリックします。



ポイント

［プリンタの接続］ダイアログボックスでは、印刷タイムアウト時間の設定が行えます。通常は標準設定のままで使用しますが、印刷データが複雑な場合やネットワークなど複数のコンピュータ共有している場合、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト設定 (I)、特に「再び送信しなおすまで」の時間を長く設定してください。

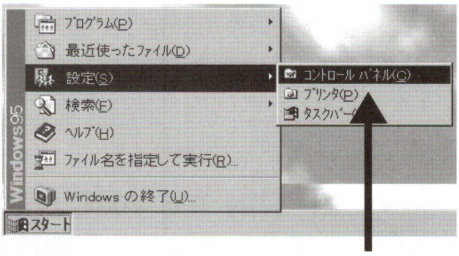
その他の機能の説明は、ヘルプ (H) ボタンをクリックし、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

●プリンタドライバの削除

(Windows3.1は除く)
プリンタドライバのバージョンアップ／再インストールを行う場合は、まず最初に旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。次の手順でプリンタドライバを削除してください。

Windows95での削除手順

ステップ **1** **画面左下の スタート ボタンをクリックし、「設定（S）」をポイントします。次に「コントロールパネル（C）」をクリックします。**



クリックします

ステップ **2** **[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。**

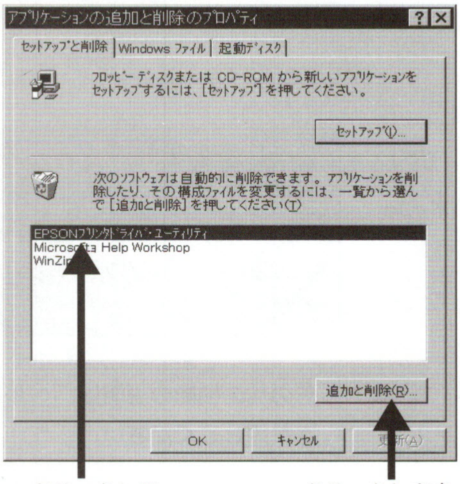
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。



ダブルクリックします

ステップ **3** **一覧の中から [EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ] をクリックし、追加と削除（R） ボタンをクリックします。**

[EPSONプリンタユーティリティアンインストール] ダイアログボックスが表示されます。



クリックして　　クリックします

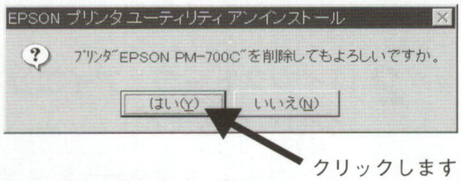
ステップ **4** **EPSON PM-700C のアイコンをクリックし、OK ボタンをクリックします。**



「ユーティリティ」タブをクリックし、削除したいユーティリティにチェック（✔）が付いていることを確認して OK ボタンをクリックします。

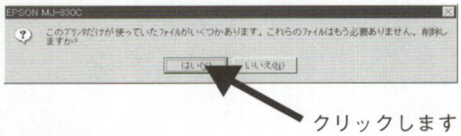
ステップ **5** **はい (Y) をクリックします。**

EPSON PM-700Cプリンタドライバの削除を行います。

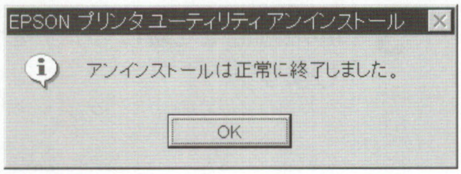


ステップ **6** **はい (Y) をクリックします。**

EPSON PM-700Cに関係するファイルの削除を行います。



ステップ **7** **終了のメッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックします。**



これでプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。

Macintosh での削除手順

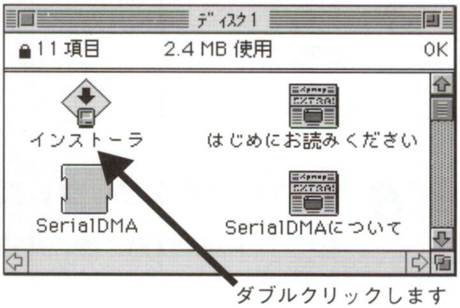
ステップ **1** **Macintoshを起動した後、プリンタユーティリティ CD-ROM をセットします。**

フロッピーを購入されたお客様は、Macintosh 用ディスクをセットします。

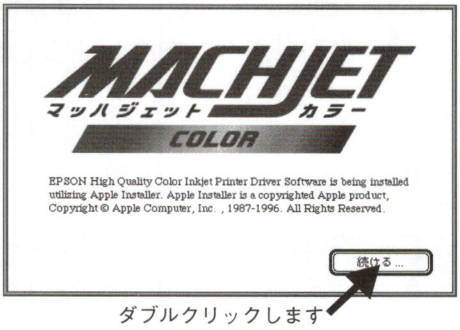


ステップ **2** **「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。**

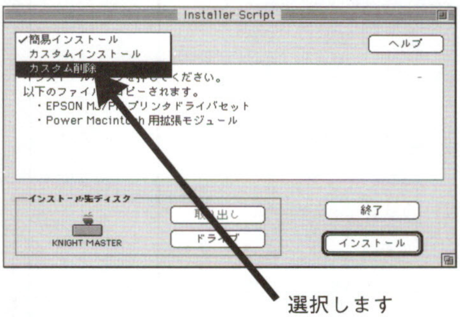
インストーラが起動されます。



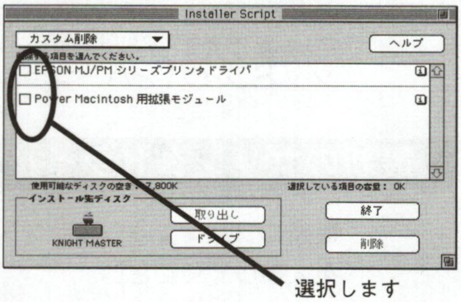
ステップ **3** **開始画面で［続ける...］をクリックします。**



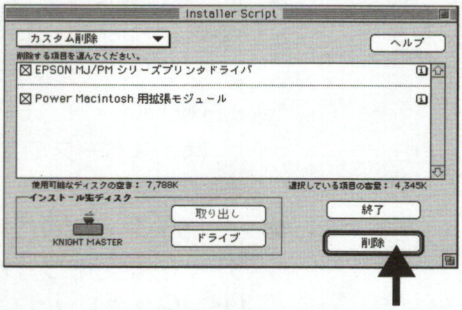
ステップ **4** **ポップアップメニューから［カスタム削除］を選択します。**



ステップ **5** 削除する項目を選択します。



ステップ **6** ［削除］ボタンをクリックします。



選択した項目の削除が実行されます。これでカスタム削除は終了です。

●プリンタドライバのバージョンアップ

通常はプリンタに同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフト等のバージョンアップに伴い、プリンタドライバをバージョンアップすることがあります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバを入手したい場合は、下記の方法で、プリンタドライバを入手してください。

● パソコン通信をご利用の方は、下記BBSよりダウンロード(*1)が可能です。

・NIFTY-Serve	：EPSON Information Forum	（コマンド GO_FEPSONI）
・PC-VAN	：EPSON 情報コーナー	（コマンド J_EPSON）
・日経 MIX	：EPSON	（コマンド j_epson）

_は、スペースです。

● インターネットをご利用いただく場合は、セイコーエプソン（株）のWWWサーバーにてドライバのダウンロードサービスを行っております。

【サービス名】ソフトウェアダウンロードサービス

【媒体】 SEIKO EPSON WWW SERVER （http://www.epson.co.jp）

● フロッピーディスクでの郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で承っております。

【方法】郵便局へ実費をお振り込み頂き、郵送にてお送りいたします。

＊ 申込方法の詳細はEPSON FAX インフォメーションでご確認ください。なお、併せて各種ドライバの最新バージョンを確認することもできます。

☞「エプソンFAXインフォメーション」本書巻末の一覧表をご覧ください。

*1 ダウンロード：ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

Windows でのインストール手順

ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮(*1)ファイルとなっていますので、そのままではご使用になれません。次の手順でファイルを解凍(*2) してからインストールしてください。

ポイント

Windows95 ご使用の場合は、インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

☞本書「プリンタドライバの削除」90 ページ

ステップ **1** **パソコン通信で、ドライバをハードディスク内のディレクトリにダウンロードします。**

ステップ **2** **ダウンロードしたファイルを解凍します。**

（自己解凍ファイルですので、ダウンロードしたファイル名（ ******.EXE ）を実行すると、自動的に解凍されます）

ステップ **3** **解凍してできたファイルを空のフロッピーにコピーします。**

ステップ **4** **コピーしたフロッピーの一覧を表示します。**

Windows95 の場合 ：マイコンピュータ内のフロッピーディスクアイコンをダブルクリックします。

Windows3.1 の場合：ファイルマネージャを起動し、フロッピーディスクアイコンをクリックします。

ステップ **5** **「SETUP.EXE」をダブルクリックします。**

ステップ **6** **インストールする機種名を選択し、OK ボタンをクリックします。**

この後は、画面の指示に従ってインストールを実施してください。

*1 圧縮　：一つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。
*2 解凍　：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

Macintosh でのインストール手順

ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮ファイルとなっていますので、そのままではご使用になれません。次の手順でファイルを解凍してからインストールしてください。

ステップ **1** **パソコン通信で、ドライバをハードディスク内のディレクトリへダウンロードします。**

ステップ **2** **ダウンロードしたファイルが「HEX フォーマット」かどうかを確認します。「HEX フォーマット」でない場合は、フォーマットを変更します。**

フォーマット変更には「Stuff It」や「Compact Pro」などの変換ツールが別途必要です。

ステップ **3** **「HEX フォーマット」に変更したファイルを解凍します。**

解凍には「MacLHA 2.13 以降」が必要です。

ステップ **4** **解凍してできたファイル内のドキュメントファイルを参考にしてインストールを実行します。**

●プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載しています。

基本仕様

- 印字方式　インクジェット
- ノズル配列　黒インク：32ノズル　カラー：160ノズル
- 印字方向　双方向最短距離印刷（ロジックシーキングつき、初期値は自動）
- 印字桁数／印字速度

グラフィックス

印字モード（DPI）	印字領域（inch）	印刷可能ドット数	印字速度（IPS）
180 × 180	8.26	1488	20
360 × 360		2976	
720 × 720		5952	

- 解像度　720dpi × 720dpi（最大）
- コントロールコード　ESC/P ラスター
- 紙送り方式　オートシートフィーダ
- 改行間隔　初期設定値 4.23mm｛1/6 インチ｝（コントロールコードでは 0.07mm｛1/360 インチ｝単位に設定可能。最小送りは 0.04mm｛1/720 インチ｝。）
- 改行速度　66.6ms/ 行（行間隔 4.23mm｛1/6 インチ｝）76.2mm/ 秒｛3 インチ / 秒｝
- 入力データバッファ　約 64KByte

インク仕様

● 形態	専用インクカートリッジ
● 型番	黒インクカートリッジ　：　MJIC7 カラーインクカートリッジ　：　PMIC1C
● 有効期間	製造時より２年間（常温） 開封から6ヵ月以内
● 保存温度	保存時　：　－30℃～40℃（40℃の場合1ヵ月以内） 輸送時　：　－30℃～60℃（60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヵ月以内）
● カートリッジ外形寸法	黒インクカートリッジ： 幅19.8mm×奥行き52.7mm×高さ38.5mm カラーインクカートリッジ： 幅51.4mm×奥行き52.7mm×高さ38.5mm
● 寿命	黒インクカートリッジ： 540ページ（A4, テキスト印刷時） カラーインクカートリッジ： 190ページ（A4, 各色紙面占有率5%で印刷時） 各インクカートリッジの寿命は、プリントヘッドのクリーニング回数によって変わります。

注意

- インクは－4℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25℃）で3時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

用紙仕様

● 単票用紙

品質：専用紙（スーパーファイン専用紙；A4）
（ファイン専用紙；A4）
（スーパーファイン専用紙光沢紙; A4）
（スーパーファイン専用光沢フィルム; A4）
（スーパーファイン専用光沢フィルム; A6）
普通紙（複写機等に使用される事務用普通紙）
再生紙（紙質によってはにじむことがありますので試し印刷をしてから購入することをおすすめします。）

定型用紙サイズ：B5、A4、A6、レター、リーガル
用紙厚：0.08mm〜0.11mm
用紙重量：$64g/m^2$〜$90g/m^2$（55kg〜78kg紙）

注意
丸まっていたり、しわ、毛羽立ち、破れ等がある用紙は使用しないでください。

● ハガキ

品質：官製ハガキ
スーパーファイン専用ハガキ
スーパーファイン専用光沢ハガキ
サイズ：100mm × 147mm（通常ハガキ）
200mm × 147mm（往復ハガキ）
用紙厚：0.23mm 以下

注意
・一般の室温環境下（温度15〜25℃、湿度40〜60%）で使用してください。
・折り曲げたり、丸めたりしたハガキは使用しないでください。
・ハガキは、必ず縦方向にセットしてください。
・往復ハガキは、通常ハガキ（縦置き）を横に2枚並べた状態（方向）でセットしてください。
・宛名面に印刷する際には、プリンタドライバの「用紙種類」の項目で、スーパーファイン専用ハガキの場合は「普通紙」に設定し、光沢ハガキの場合は「ファイン専用紙」に設定のうえ印刷してください。

● シート

品質：専用OHPシート
スーパーファイン専用ラベルシート
サイズ：A4（210mm × 297mm）

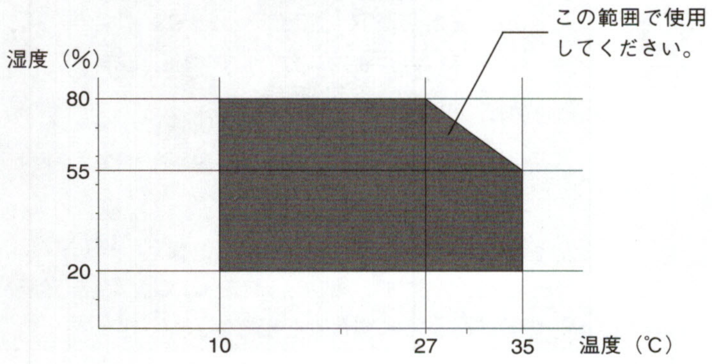
注意
・一般の室温環境下（温度15〜25℃、湿度40〜60%）で使用してください。
・折れ曲がり、丸まり、しわ、破れ等があるOHPシートは使用しないでください。

電気関係仕様

- 定格電圧　AC100V
- 入力電圧範囲　AC90～110V
- 定格周波数　50～60Hz
- 入力周波数範囲　49.5～60.5Hz
- 定格電流　0.4A（最大0.5A）
- 消費電力　15W（ISO/IEC10561レターパターン印刷時）
- 絶縁抵抗　10MΩ以上（DC500VにてACラインとシャーシ間）
- 絶縁耐力　AC1.0kVrms 1分またはAC1.2kVrms 1秒（ACラインとシャーシ間）
- 漏洩電流　0.25mA以下［社会法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合］

総合仕様

- プリントヘッド寿命　20億ドット（1ノズルあたり）
- 温度
  - 動作時：10℃～35℃
  - 保存時：－20℃～40℃（40℃の場合1ヵ月以内）
  - 輸送時：－20℃～60℃（60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヵ月以内）
- 湿度
  - 動作時：20～80%（非結露）
  - 保存時：20～85%（非結露）
  - 輸送時：5～85%（非結露）



- プリンタ重量　約5.2kg（インクカートリッジを除く）
- プリンタ外形寸法　幅429mm×奥行き234mm×高さ162mm

☞はじめにお読みください
「設置スペースの確保」9ページ

パラレルインターフェイス仕様

- データ転送方式　8ビットパラレル
- 同期方式　外部供給STROBEパルス信号
- ハンドシェイク　ACKNLGおよびBUSY信号
- ロジックレベル　入力データおよびコントロール信号はTTLレベルコンパチブル
- 適合コネクタ　57-30360（アンフェノール）の36ピンプラグまたは同等品（インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）
- 入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号の説明）

フォワードチャンネル

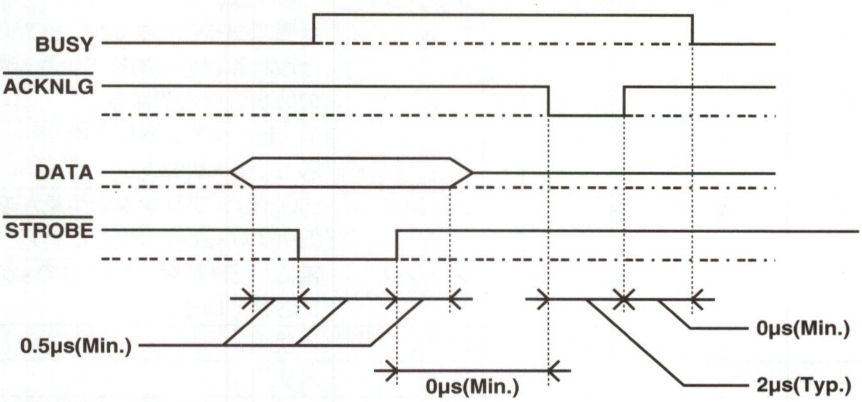
ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	$\overline{\text{STROBE}}$	コンピュータ	データを読み込むためのストローブパルス。パルス幅は0.5μs以上必要。定常状態はHIGHであり、LOWになった後にデータを読み込む。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	コンピュータ	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表す。HIGHはデータ1であり、LOWはデータが0であることを示す。
10	28	$\overline{\text{ACKNLG}}$	プリンタ	LOWは、プリンタがデータを受け取る準備ができていることを表すパルス信号。パルス幅は約2μs。
11	29	BUSY	プリンタ	HIGHは、プリンタがデータを受け取れない状態であることを示す。LOWは、データを受け取れる状態であることを示す。HIGHになるのは次の場合である。 1）データエントリー中 2）エラー状態
12	28	PE	プリンタ	HIGHは、プリンタに用紙がないことを示す。(ERROR=Lowの場合に有効)
13	28	SLCT	プリンタ	常にHIGH状態。1.0kΩで+5Vにレベルアップされている。
14	30	$\overline{\text{AUTO FEED XT}}$	コンピュータ	未使用
15	—	—	—	未使用
16	—	GND	—	ツイストペアリターン用グランド

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
17	−	Chassis	−	プリンタシャーシのグランド
18	−	Logic H	プリンタ	3.9kΩで+5Vにプルアップされている。
19〜30	−	GND	−	ツイストペアリターン用グランド
31	16	$\overline{\text{INIT}}$	コンピュータ	パルス幅50μs以上のLOWパルスの入力でプリンタは初期状態にセットされる。
32	29	$\overline{\text{ERROR}}$	プリンタ	LOWはプリンタがエラー状態であることを示す。
33	−	GND	−	ツイストペアリターン用グランド
34	−	−	−	未使用
35	−	+5V	−	常にHIGH状態。1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
36	30	$\overline{\text{SLIN}}$	コンピュータ	未使用

注意

- リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側も必ず結線します。更にこのケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのそれぞれシャーシグランドに接続することがノイズ対策上有利になります。
- インターフェイス条件はすべてTTLレベルを基準とします。各信号の立ち上がり、立ち下がり時間を0.2μs以下とします。
- 各信号のタイミングの詳細は、タイミングチャートを参照してください。
- ACKNLGまたはBUSY信号を無視してデータ転送を行わないでください（プリンタへのデータ転送はACKNLGを確認するか、またはBUSYがLOW状態のときに行う必要があります）。
- LOWアクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

● タイミングチャート



● リバースチャンネル転送方式　IEEE-1284 ニブルモード
● 入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号の説明）

リバースチャンネル

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	コンピュータ	ホスト側のクロック信号
2	20	DATA1	コンピュータ	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から 8 ビット目までの情報を表す。HIGHはデータ 1 であり、LOWはデータが0であることを示す。
3	21	DATA2	〃	
4	22	DATA3	〃	
5	23	DATA4	〃	
6	24	DATA5	〃	
7	25	DATA6	〃	
8	26	DATA7	〃	
9	27	DATA8	〃	
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy	プリンタ	プリンタ側のBUSY 信号およびリバースチャネルでのデータビット 3 またはデータビット 7。
12	28	AckDataReq	プリンタ	Acknowledgeデータ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット 2 またはデータビット6。
13	28	Xflag	プリンタ	X-flag 信号およびリバースチャネルでのデータビット 1 またはデータビット 5。
14	30	HostBusy	コンピュータ	ホスト側のBUSY 信号
15	ー	NC	ー	未使用
16	ー	GND	ー	ツイストペアリターン用グランド
17	ー	Chassis	ー	プリンタシャーシのグランド
18	ー	Logic H	プリンタ	"HIGH"はプリンタが出力するすべての信号が有効であることを示す。
19〜30	ー	GND	ー	ツイストペアリターン用グランド
31	16	$\overline{\text{INIT}}$	コンピュータ	未使用
32	29	$\overline{\text{Data Avail}}$	プリンタ	Data available信号およびリバースチャネルでのデータビット 0 またはデータビット 4。
33	ー	GND	ー	ツイストペアリターン用グランド
34	ー	NC	ー	未使用
35	ー	+5V	プリンタ	常時〆HIGHモレベル 1.0k Ωで +5V にプルアップされている。
36	30	1284-Active	コンピュータ	1284 active 信号

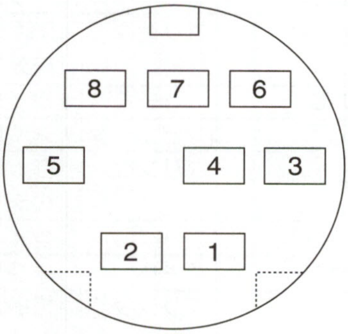
プリンタの仕様

シリアルインターフェイス仕様

シリアルインターフェイスは、RS-423 に準拠しています。

- 通信プロトコル　データ長　：　8 ビット
  　パリティ　：　なし
  　スタートビット　：　1 ビット
  　ストップビット　：　1 ビット
- 同期方式　同期
- ビットレート　最大約 900KBPS
- ハンドシェイク　DTR および XON/XOFF 制御
- 適合コネクタ　Mini Din 8pin コネクタ
- 推奨ケーブル　Apple 社製 Mini Din 8pin システムペリフェラル -8 ケーブル（型式：M0197LL/B）
- 入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン	信号名	発信元	機能
1	SCLK	プリンタ	同期クロック
2	CTS	コンピュータ	クリアトゥーセンド
3	TxD-	プリンタ	データ送信
4	S.G.	コンピュータ	信号グランド
5	RxD-	コンピュータ	受信データ
6	TxD+	プリンタ	データ送信／バランスト
7	DTR	プリンタ	データターミナルレディ
8	RxD+	コンピュータ	受信データ／バランスト



- DTR および XON/XOFF　ハンドシェイクのタイミング

状態	入力バッファ空き領域	DTR	XON/XOFF
ビジー	3072 バイト以下	オフ	XOFF 出力
レディ	5120 バイト以上	オン	XON 出力

インターフェイス選択

パラレルインターフェイス、シリアルインターフェイスは自動選択機能により、切換えを行います。

● インターフェイス自動選択機能
電源投入後、最初にデータを受信したインターフェイスを選択します。その後、データ受信が途絶えてから、一定時間（10秒）を経過するとアイドル状態（どのインターフェイスも選択されていない状態）となり、次にデータを受信したインターフェイスを選択します。

初期化

プリンタは次の３つの方法で、初期化（イニシャライズ）されます。

● ハードウェアでの初期化
電源を再投入時の初期化です。
プリンタのメカニズムやソフトウェア設定をすべて初期化し、入力データバッファをクリアします。

● ソフトウェアでの初期化
ソフトウェアにより、ESC @（プリンタ初期化）コマンドが送られたときの初期化です。
コントロールコードにより選択された機能や設定された値を、電源投入時と同じ状態にします。プリンタのメカニズムは初期化しないで、入力データバッファもクリアしません。

● パネル操作での初期化
電源スイッチを切断してから10秒以内に再投入したとき、またはプリンタがINIT信号を受信したときの初期化です。
プリントヘッドをキャッピング後に用紙を排紙します。さらに、入力データバッファをクリアします。プリンタのメカニズムは初期化しません。

●用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

Ⓐ **AppleTalk（アップルトーク）**
Macintosh専用の、ネットワーク用通信規約、またそのソフトウェア。

A4 210mm（横）×297mm（縦）の用紙サイズ。

A6 105mm（横）×148mm（縦）の用紙サイズ。

Ⓑ **Bit（ビット）** コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位で「2進数（BInary digiT）」の略。実数を二つの数字0または1で表す。

Byte（バイト） コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8 Bit（ビット）で構成され、1Byteで英数カナ文字の1文字を表現できる。漢字は種類が多いため、1文字を表現するのに2Byteを必要とする。

B5 182mm（横）×257mm（縦）の用紙サイズ。

Ⓒ **ColorSync™ （カラーシンク）**
アップルコンピュータ社が提供する、Macintosh用のカラーマネジメント機能のうちの一つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSyncの機能を100%発揮させるためには、入力機器（スキャナなど）、印刷データ、ディスプレイ、出力機器（プリンタ）の全てが、ColorSyncに対応している必要がある。

CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）
25.4mm｛1インチ｝の範囲に印字できる文字数を表す単位。文字ピッチを示す単位として使う。

CPL（Characters Per Line/シーピーエル）
1行に印字できる文字数を表す単位。

CPS（Characters Per Second/シーピーエス）
1秒間に印字できる文字数を表す単位。

Ⓓ **DPI（Dot Per Inch/ディーピーアイ）**
25.4mm｛1インチ｝幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示す。

Ⓔ **ESC（Escape/エスケープ）**
拡張用の制御コード。次に続くコードと組み合わせて一つの機能を実現する。コードの27（<1B> H）。

ESC/P（ESPON Standard Code for Printer/イーエスシーピー）
セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。これにより、プリンタのコントロールを行う。

EtherTalk（イーサトーク）
Macintosh をEthernet（イーサネット）に接続するための、AppleTalk の通信規約。LocalTalk でネットワーク接続した場合よりも、データの通信速度が速い。

Ⓕ **FG 線**
プリンタとコンピュータとの間の電位差を無くし、動作を安定させるために接続するコード。通常、インターフェイスケーブルのプリンタ側端子の横にケーブルから出ているが、インターフェイスケーブルによっては、FG 線が無いものもある。

Ⓙ **JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）**
日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードや漢字コード等の規格。

Ⓚ **KByte（Kilo Byte/キロバイト）**
データ量の単位。1KByte=1024 Byte。

Ⓛ **Legal（リーガル）** 216mm（横）× 356mm（縦）の用紙サイズ。

Letter（レター） 216mm（横）× 279mm（縦）の用紙サイズ。

LocalTalk（ローカルトーク）
Macintoshに標準で装備されている、AppleTalk ネットワークシステムのうちの一つ。データの通信速度は、EtherTalk に比べて遅い。

Ⓜ **MByte（Mega Byte/メガバイト）**
データ量の単位。1MByte=1024 KByte=1024 × 1024 Byte。

Ⓞ **OHP シート** オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

Ⓡ **RAM（Random Access Memory/ ラム）**

データなどを読み書きできるメモリ。

ROM （Read Only Memory/ ロム）

データなどの読み出し専用のメモリ。

RS-423（アールエス 423）

シリアルインターフェイスの規格の 1 つ。

Ⓥ **VGA（ヴイジーエー）**

もともと、IBM PS/2のグラフィックス制御用チップの名称で、解像度・色数などのディスプレイへの表示能力を示す。VGA を拡張したSVGA という規格もあり、通常は下記の表示能力を持つ。

VGA	：	640 × 480 ドット	16 色
SVGA	：	800 × 600 ドット	256 色
		または	
		1024 × 768 ドット	256 色

* 使用しているコンピュータによっては、搭載されるグラフィックアクセラレータの機能に応じて、更に高解像度・多色表示が可能となる。

数字

16 進数

16進法で用いる英数字。一般的には、0〜9 まではそのままの数字で、10〜15 は A〜F で表す。

アイウエオ

Ⓐ **アイコン**

コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類，フォルダなどを象徴する図柄。マウスでこの図柄をクリックなどすることにより、様々な命令をコンピュータに指示する。

圧縮（データ圧縮）

一つ、または複数のファイルを一つにまとめて、データ容量を小さくすること。プリンタドライバなどをダウンロードした場合、データが圧縮されていることが多い。圧縮されたデータを使用するには、圧縮されたデータを展開して、元のデータに戻す必要がある。（これを「解凍」と言う。）

アプリケーションソフトウェア
コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

イ **インクカートリッジ**
印刷用のインクが入った容器。

インクジェットプリンタ
プリントヘッドのノズル部分からインクを用紙に吹きつけて印刷するプリンタ。

インストーラ CD-ROMやフロッピーディスクで供給されるされるデータやソフトなどを自分のコンピュータのハードディスクにコピーし、更に、使用できる状態に環境を自動的に整えるソフト。

印刷可能領域 印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2ページにまたがって印刷される。

インターフェイス プリンタとコンピュータのように機能や条件の違うもの同士が接する接点（境界面）。また、それらの機器間でデータなどをやりとりするためのハードウェアやソフトウェア、接続仕様。

インターフェイスカード
プリンタに標準装備されているインターフェイス（本機の場合は『パラレル』と『Macintosh用シリアル』）以外に、更にインターフェイスを増やしたい場合にプリンタに取りつけるカード。目的に合わせて、様々なカードが用意されている。

インターフェイスケーブル
プリンタとコンピュータを接続するケーブル。接続するコンピュータの種類によって、使用するケーブルが異なる。

インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

インチ 長さの単位で、1インチは約25.4mm。

カ **改行** 印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度 画質の細かさを表す指標で、一般にdpi（dot per inch；25.4mm {1インチ} あたりのドット数）の単位で表わす。解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、コンピュータで処理しなければならないデータの容量も多くなり、印刷に時間がかかるようになる。

	解凍	圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。
	改頁	印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。
	カラーマッチング	原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。
キ	**キャッピング**	プリントヘッドの乾燥を防ぐためにプリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。
	ギャップ調整	黒/カラーインクの吐出位置を調整する機能。この機能を実行することにより、双方向印刷時の縦罫線のズレや、黒インクとカラーインクの印刷位置のズレを補正する。
	キャリッジ	プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。
	給紙	オートシートフィーダにセットされている用紙を、ページ先頭位置まで紙送りすること。
ク	**クリック**	マウスのボタンを“カチッ”と1回押すこと。コンピュータのディスプレイ上に表示されたアイコンやボタンを選択する際に行う操作。なお、マウスのボタンを2回続けて“カチカチッ!”と押すことを、「ダブルクリック」と言う。
	クリーニング	プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。
コ	**誤差拡散**	印刷時に中間色、階調などを表現するための手法の一つ。写真などの印刷時に、最も自然な感じに印刷できる。
	コントロールコード	プリンタの機能を制御するためにコンピュータからプリンタ側へ送られるコード（命令符号）。
シ	**充てん**	プリントヘッドノズル（インク吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。
	初期設定値	電源スイッチをオンしたときに選択される設定。
	初期動作	電源スイッチをオンにしたときに行われる、プリンタのウォーミングアップ。プリントヘッドが左右に動き、インクエンドなどのエラー状態を検査する。
	シリアルインターフェイス	データを1ビットずつ転送するインターフェイス。本機に標準装備されているシリアルインターフェイスは、Macintosh専用のインターフェイスである。

ス スーパーファイン印刷
: スーパーファイン専用紙などに、720dpiの解像度で印刷する機能。

セ セルフテスト
: コンピュータに接続しない状態でプリンタの動作や印刷機能に問題が無いかを確認するテスト。目詰まりチェックパターンも印刷するので、ノズルが詰まっていないかどうかも確認できる。

タ ダウンロード
: ホストコンピュータに登録されたデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

ダブルクリック
: マウスのボタンを、速い操作で2回連続して“カチカチッ!”と押すこと。コンピュータの画面上のフォルダアイコンを開いたり、アプリケーションソフトをアイコンから起動したりする際に行う操作。

チ チェックボックス
: ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、項目（機能）の有効/無効を指定するための四角いマーク。マウスでクリックすることにより、有効⇔無効を切り替えることができる。有効になっている状態は、四角の中に×や✔が表示され、無効になっている状態は四角の中が空白になっている。

ノ ノズル
: インクの吐出孔。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。

ハ 排紙
: 用紙をプリンタから排出すること。

バッファ
: コンピュータから送られてきた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

パラレルインターフェイス
: データ転送を8ビットずつ行う転送方式のインターフェイス。通常、DOS/V仕様機や、EPSON PCシリーズ/NEC PC-98シリーズでは、このインターフェイスを使ってプリンタと接続する。

フ **ファイン印刷** 360dpiの解像度で印刷する機能。

フォント（書体） 字体のこと。明朝体・ゴシック体などがある。

プラグアンドプレイ
Windows95で提供される、コンピュータにハードウェア（プリンタなど）を接続するだけで自動的に動作環境が設定されてすぐに使用可能状態になる機能。

プリンタドライバ アプリケーションソフトウェアの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。

プリントヘッド 用紙にインクを吹きつけて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。

ヘ **ページ先頭位置** 用紙の一番初めに印刷される位置。

ホ **ポイント** Windows95上で使用される用語。マウスカーソルをメニューの項目に合わせせることで、クリックをしなくてもその先の階層メニューが自動的に表示される。

ポート プリンタやモデムなどの周辺機器をコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。通常、コンピュータの背面側にある。

マ **マージン** 余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域を言う。

マイクロウィーブ機能
行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

メ **目詰まりチェックパターン**
プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。セルフテストを行うと最初に印刷される。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

メモリ 情報（データ）を保存する部分。プログラムのような固定された情報を保持するROM（Read Only Memory－読み出し専用メモリ）や、一時的に情報を格納するRAM（Random Access Memory－読み書き可能メモリ）などがある。

ラ ラジオボタン

ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、複数の選択肢の中から1つを選択するための丸いボタン。選択されていない状態は○、選択されて有効になっている状態は◉で表示される。

リ リセット

バッファをクリアし、各設定値を初期設定値に戻すこと。

索引

●索引

参照ページがHxxとなっているものは、「はじめにお読みください」の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。

索引

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

電波障害自主規制について

この装置は,第二種情報処理装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報処理装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。
しかし,本装置をラジオ,テレビジョン受信機に近接してご使用になると,受信障害の原因となることがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合,VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので,必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は,落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては,交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は,社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については,将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については,万全を期して作成いたしましたが,万一ご不審な点や誤り,記載もれなど,お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については,(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり,本書の内容に従わずに取り扱われたり,またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては,責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および,エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し,それが原因でトラブルが発生した場合には,保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合,修理等は有償で行います。

EPSON

カラーで発想、エプソンです。

● **FAX** インフォメーション

EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。最新ドライバ情報、Q&A集など製品のご使用に際しても有効な情報が24時間いつでも取り出せます。
ファクシミリ付属の電話機(プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種)から電話をおかけになり、音声案内に従って操作ください。

札幌(011)221-7911　東京(0424)99-7100　名古屋(052)202-9532
大阪(06)397-4359　福岡(092)452-3305 にお電話ください。

ご要望の情報は、情報番号[0][0]のメニューでご確認ください。

●エプソン販売のホームページ「I LOVE EPSON」

エプソンではこのたび、ホームページ「I LOVE EPSON」を開設しました。各種製品情報をはじめ、最新のイベント&フェア、サポート案内など、エプソンのさまざまな情報を満載した、楽しいホームページです。どうぞお気軽に、ご覧ください。(http://www.i-love-epson.co.jp)

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンのFDを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

エプソンインフォメーションセンター

札幌(011)222-7931　仙台(022)214-7624　東京(0424)99-7133
名古屋(052)202-9531　大阪(06)399-1115　広島(082)240-0430
福岡(092)452-3942

【受付時間】9:00～17:30　月曜日～金曜日(祝日を除く)
※電話のかけまちがいが増えておりますので、番号をよくお確めの上おかけください。

●パソコンスクールに関するお問い合わせ・お申し込みは、

(03)5295-4169 にお電話ください。

【受付時間】9:30～12:00/13:00～17:00　月曜日～金曜日(祝日を除く)

●ショールーム

東京　〒101 東京都千代田区外神田3-13-7 〔受付時間〕10:00～18:00 ※土・日・祝日もオープン
大阪　〒556 大阪市浪速区日本橋5-4-20 〔受付時間〕10:00～18:00 ※土・日・祝日もオープン(水曜休館)

●製品の修理に関するお問い合わせは、下記サービスセンター(SC)・フィールドセンター(FC)までお願いします。

拠点名	電話番号	住　所	管轄地域
札幌SC	(011)222-7590	〒060 札幌市中央区北一条西二丁目札幌時計台ビル6階	北海道全域
仙台SC	(022)214-7625	〒980 仙台市青葉区一番町4-1-1仙台セントラルビル4階	青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島
松本SC	(0263)36-7082	〒390 松本市中央2-1-27松本本町第一生命ビル8階	長野
東京FC (出張修理依頼)	(0424)80-2891	〒182 東京都調布市布田1-29-2ビルディング川口	東京都内・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・新潟
東京SC (持込修理依頼)	(0424)80-4811	〒182 東京都調布市布田1-29-2ビルディング川口	東京都内・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・新潟
横浜FC	(045)451-2604	〒221 横浜市神奈川区栄町1-1アーバンスクェア横浜10階	神奈川
名古屋SC	(052)202-9510	〒460 名古屋市中区丸の内1丁目16-15名古屋フコク生命ビル4F	愛知・岐阜・三重
静岡FC	(054)251-1360	〒420 静岡市黒金町11-7三井生命静岡駅前ビル8階	静岡
金沢SC	(0762)24-7084	〒920 金沢市広岡1-1-35金沢第二ビル8階	石川・富山・福井
大阪SC	(06) 397-0930	〒532 大阪市淀川区宮原3-5-24新大阪第一生命ビル6階	大阪・京都・滋賀・兵庫・奈良・和歌山
広島SC	(082)240-0725	〒730 広島市中区三川町7-1セイコー広島ビル5階	山口・広島
岡山FC	(086)223-3331	〒700 岡山市柳町1-12-1三井海上岡山ビル2F	鳥取・島根・岡山・広島(福山)
四国FC	(0878)51-6728	〒760 高松市寿町2-3-11高松丸田ビル6F	香川・愛媛・高知・徳島
福岡SC	(092)622-8626	〒812 福岡市博多区吉塚8-4-48初村ビル4階	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・沖縄
鹿児島FC	(0992)54-5913	〒890 鹿児島市中央町9-1西鹿児島第一生命ビル3階	鹿児島・宮崎

【受付時間】9:00～17:30　月曜日～金曜日(祝日を除く)

●消耗品は、お近くのEPSON商品取扱店及び
エプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル(0120)251-528 でお買い求めください。

エプソン販売株式会社　〒163-08 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル11階
セイコーエプソン株式会社　〒392 長野県諏訪市大和3-3-5

97.3.1

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

Printed in Japan 98.01-20